

ACAD-DENKI

2017

(32bit / 64bit)

インストールガイド

ACAD-DENKI をインストールする前に必ずお読みください。

本インストールガイドでは、下記の製品のインストールについて説明しています。

ACAD-DENKI インストールメディアからインストールできる製品

- ・ ACAD-DENKI
- ・ 電キャビ
- ・ データコンバータ(E) : 32bit 版のみ
- ・ 図面 DENKI 化ツール

ライセンス管理サービス インストールメディアからインストールできる製品

- ・ FlexNet ライセンス管理サービス



アルファテック株式会社

本インストールガイドについて

- このインストールガイドは ACAD-DENKI 含むアルファテック製品(以下、本ソフト)のインストールについて説明するものです。
- 本ソフトは ベース CAD となる AutoCAD の各バージョン(以下、AutoCAD) または、BricsCAD で使用するためのアドオンソフトです。AutoCAD、BricsCAD は別途、ご購入ください。
- 本ソフトを使用する前に、Windows や AutoCAD、BricsCAD、ネットワーク環境などが正しく動作することを、あらかじめご確認ください。
- このインストールガイド中の画面ダンプは一例です。実際の画面とは異なる場合もあります。

ご注意

- 本書の内容の全部または一部を無断で記載することを禁止します。
- 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- 運用した結果の影響につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

Autodesk、Autodesk ロゴ、および AutoCAD は米国 Autodesk 社の登録商標です。
Autodesk, the Autodesk logo, and AutoCAD are registered trademarks of Autodesk, Inc.

BricsCAD やそのロゴは Bricsys nv の商標または登録商標です。

<<このページは白紙です>>

目次

I. 概要	1
1. 各製品の動作環境.....	2
1. ACAD-DENKI.....	2
2. 電キャビ.....	2
3. データコンバータ(E).....	2
4. 図面 DENKI 化ツール.....	3
5. 対応 CAD・OS (共通).....	3
2. 製品構成.....	4
1. ACAD-DENKI.....	4
2. 電キャビ.....	5
3. データコンバータ(E).....	6
4. 図面 DENKI 化ツール.....	6
II. インストール	7
1. インストールの前に.....	8
1. インストールの前に.....	8
2. インストールする製品の選択.....	8
3. ネットワークでの一元管理を行う場合.....	8
2. インストール.....	9
1. インストールする製品の選択.....	9
2. ACAD-DENKI のインストール.....	10
3. 電キャビ のインストール.....	15
4. データコンバータ(E) のインストール.....	19
5. 図面 DENKI 化ツールのインストール.....	22
3. ACAD-DENKI とオプションの起動.....	25
1. ACAD-DENKI の起動.....	25
2. ACAD-Net の起動.....	26
3. ACAD-Parts の起動.....	27
4. ACAD-IO の起動.....	28
5. EL オプションの起動.....	29
6. ホットマーカーリンクの起動.....	29
7. BJ-CRS_Net の起動.....	29

4.	電キャビの起動	30
5.	データコンバータ(E)の起動	31
6.	図面 DENKI 化ツールの起動	32
7.	Windows 10、8/8.1 での起動方法	33
8.	6.x/7.x からのバージョンアップの注意点	34
1.	ACAD-DENKI について	34
2.	電キャビについて	34
3.	ACAD-Parts について	35
4.	ACAD-Net について	35
9.	図面奉行をご利用の場合の注意点	36
<hr/>		
III.	ネットワークでの一元管理	37
1.	一元管理の概要	38
2.	一元管理の構築手順	40
1.	共有フォルダの作成	40
2.	親機へのインストール	41
3.	場所の変更と構成の書き出し	41
4.	子機へのインストール	46
5.	共有データベースの作成	48
<hr/>		
IV.	スタンドアロンライセンス (アクティベート)	51
1.	概要	52
2.	ライセンス形式の設定 (クライアント)	53
1.	ライセンスをアクティベート	53
2.	ライセンス更新	56
3.	アクティベート解除	58
<hr/>		
V.	フローティングライセンス (FlexNet ライセンス管理サービス)	61
1.	インストール(サーバー)	62
1.	動作環境	62
2.	FlexNet ライセンス管理サービスのインストール	63
2.	ライセンスサービスの起動(サーバー)	67
1.	ライセンスファイルのコピー	67
2.	LMTOOLS の実行	67
3.	LMTOOLS の設定開始	67
4.	Config Services の設定	67
5.	サービスの設定値の保存	68

6.	サービスの開始	69
7.	動作確認.....	69
3.	Windows ファイアウォールの設定(サーバー)	70
1.	ポート番号の確認	70
2.	Windows ファイアウォールへの例外登録	71
4.	ライセンス形式の設定(クライアント)	77
1.	フローティングライセンスの設定	77
2.	ライセンスモニタによる確認	79
3.	ライセンスの自動回収について.....	80
5.	ライセンスの借用・返却(クライアント)	82
1.	概要.....	82
2.	ライセンス借用の手順	82
3.	借用期限前にライセンスを返却.....	86
6.	その他	88
1.	FlexNet オプションファイル.....	88
2.	ライセンスログ解析ツール.....	90
<hr/>		
VI.	付録.....	99
1.	インストールメディアの内容について.....	100
2.	ディレクトリ構成	101
1.	製品プログラムディレクトリ構成.....	101
2.	提供サンプルディレクトリ構成	102
3.	電キャビにおける仕様制限.....	103
1.	電キャビデータベースエンジンの特徴.....	103
2.	電キャビのオブジェクト名について	103
3.	検索結果表示について.....	103
4.	オンラインマニュアル	105
1.	ACAD-DENKI のヘルプ	105
2.	電キャビのヘルプ	106
3.	データコンバータ(E)	106
4.	図面 DENKI 化ツール.....	106
5.	提供シンボル	107
1.	インストールされるシンボル.....	107
2.	その他のシンボル	107
3.	シンボル一覧表.....	107
6.	管理者ツール.....	109

1. 管理者ツールについて	109
2. 「管理者ツール」を ACAD-DENKI と同時にインストールする場合	109
3. 「管理者ツール」の追加インストール	110

I. 概要

1. 各製品の動作環境

本インストーラは、32bit 版と 64bit 版の両方が含まれています。

32bitOS の場合は 32bit 版のインストーラを起動、64bitOS の場合は 64bit 版のインストーラを起動します。

64bitOS 上に 32bit 版の BricsCAD をインストールして、お使いになる場合は 32bit 版のインストーラ ” Setup32. exe” を手動で実行してください。

(ご注意)

32bitOS 上に 64bit 版の製品をインストールすることはできません。

1. ACAD-DENKI

「ACAD-DENKI」は ベース CAD となる AutoCAD、または BricsCAD に対応したアドオンソフトです。

従って、ベース CAD が快適に動作する環境が必要です。

詳細は、ベース CAD の推奨動作環境をご確認ください。

AutoCAD、BricsCAD、他製品は別途、ご購入ください。

ACAD-DENKI 対応 CAD :

- 5. 対応 CAD ・ OS (共通) をご参照ください。

対応 OS :

- 5. 対応 CAD ・ OS (共通) をご参照ください。

本ソフトをインストールするために必要なディスクの空き容量は以下のとおりです。

ディスク空き容量 : 500MB 以上 (システムディスクは 300MB 以上)

2. 電キャビ

「電キャビ」は ACAD-DENKI などで作成する図面を管理するソフトです。

ACAD-DENKI と併せてご利用ください。

本ソフトをインストールするために必要なディスクの空き容量は以下のとおりです。

ディスク空き容量 : 300MB 以上 (システムディスクは 200MB 以上)

3. データコンバータ(E)

データコンバータ (E) は 32bit 版の AutoCAD のアドオンソフトです。

従って、AutoCAD が快適に動作する環境が必要です。

詳細は、AutoCAD の推奨動作環境をご確認ください。AutoCAD は別途、ご購入ください。

データコンバータ (E) 対応 CAD :

- 5. 対応 CAD ・ OS (共通) をご参照ください。

(注) 対応 CAD は 32bit 版の AutoCAD のみです。

対応 OS :

- 5. 対応 CAD ・ OS (共通) をご参照ください。

(注)本ソフトをインストールするために必要なディスクの空き容量は以下の通りです。
ディスク空き容量：200MB 以上（システムディスクは 100MB 以上）

4. 図面 DENKI 化ツール

図面 DENKI 化ツールは BricsCAD のアドオンソフトです。
従って、BricsCAD が快適に動作する環境が必要です。
詳細は、BricsCAD の推奨動作環境をご確認ください。

図面 DENKI 化ツール対応 CAD：

5. 対応 CAD・OS（共通） をご参照ください。

(注) 対応 CAD は BricsCAD のみです。

対応 OS：

5. 対応 CAD・OS（共通） をご参照ください。

(注)本ソフトをインストールするために必要なディスクの空き容量は以下の通りです。
ディスク空き容量：200MB 以上（システムディスクは 100MB 以上）

5. 対応 CAD・OS(共通)

対応 AutoCAD (32bit/64bit)：

AutoCAD 2013/2014/2015/2016/2017

(注) AutoCAD LT シリーズは、オートデスク社の方針により対応しておりません。

対応 BricsCAD (32bit/64bit)：

BricsCAD V15、V16

(注) BricsCAD の詳細な対応バージョンは弊社ホームページ、またはサポートにご確認ください。

対応 OS：

各製品が使用するベース CAD が動作保証している OS に限ります。

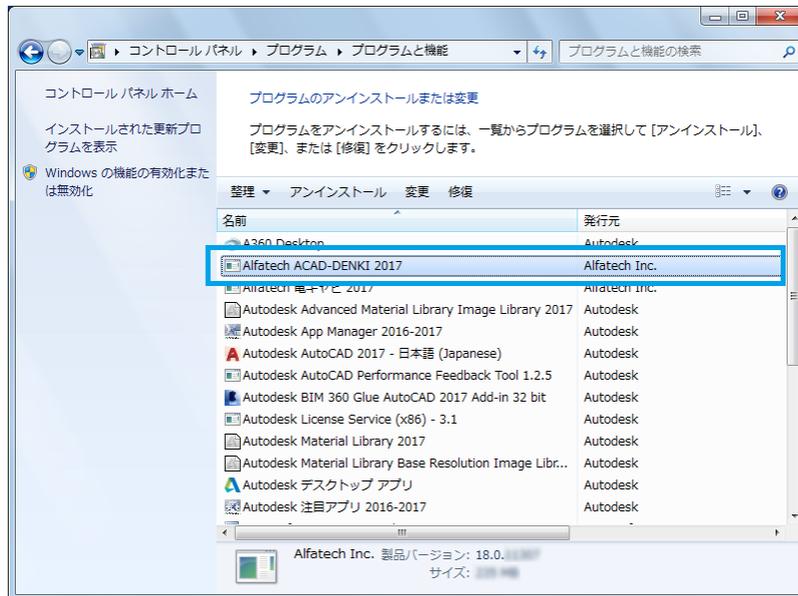
32bit 版：Windows 10、Windows 8/8.1、Windows 7 SP1

(注) Windows Vista、Windows XP は除きます。

64bit 版：Windows 10、Windows 8/8.1、Windows 7 SP1

2. 製品構成

1. ACAD-DENKI



プログラムの名前は以下のとおりです。

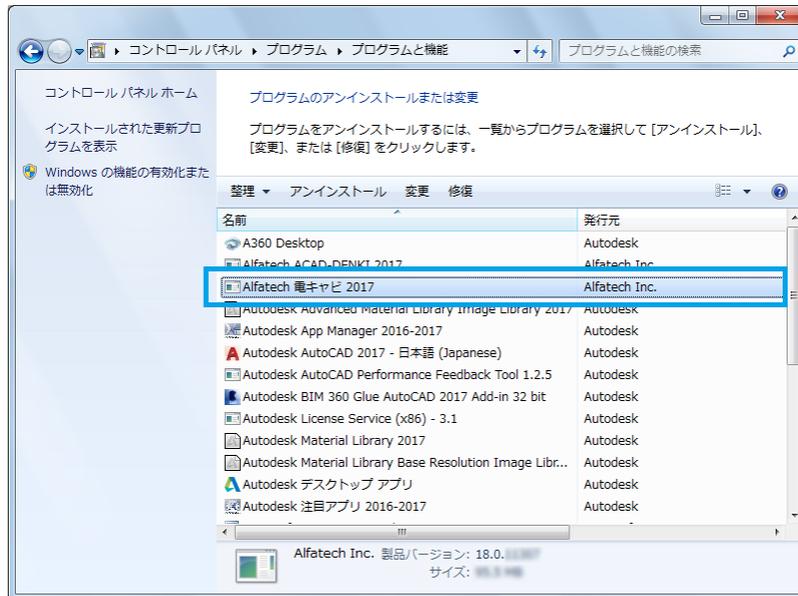
32bit 版: Alfatech ACAD-DENKI 2017

64bit 版: Alfatech ACAD-DENKI 2017 (x64)

「ACAD-DENKI」には、以下の製品をオプションとしてインストール時に含めることができます。

- ACAD-Parts … 部品処理
- ACAD-HMLINK … ホットマーカークリンク
- ACAD-IO … IO 自動作図
- ACAD-ELOP … EL オプション(電子回路オプション)
- BJ-CRS_Net … CRS リスト

2. 電キャビ



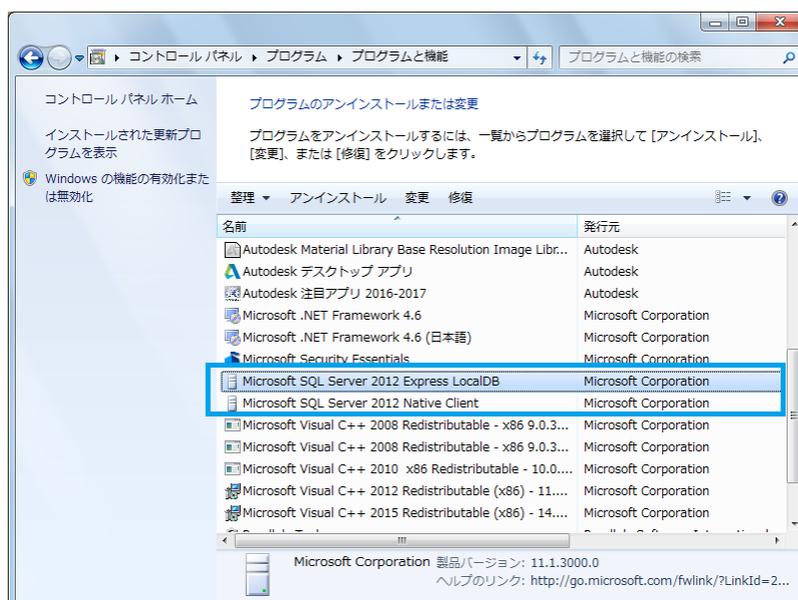
プログラムの名前は以下のとおりです。

32bit 版: Alfatech 電キャビ 2017

64bit 版: Alfatech 電キャビ 2017 (x64)

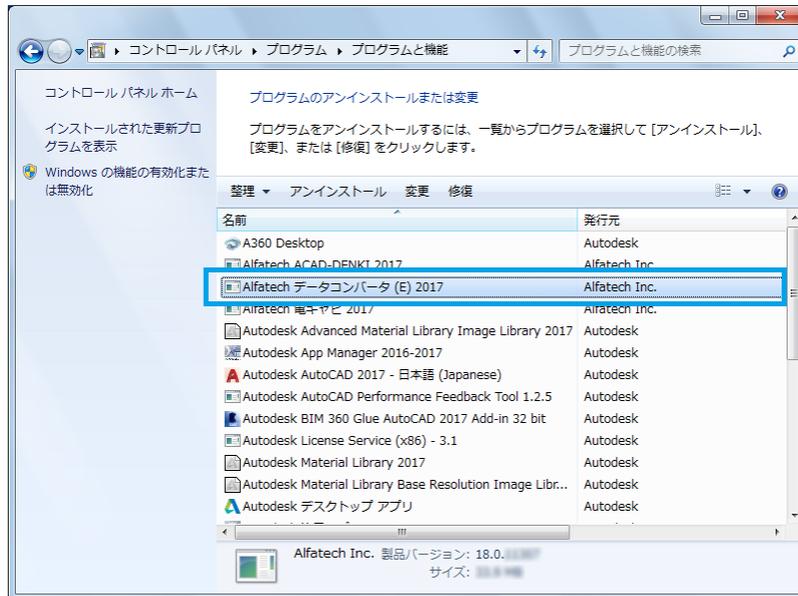
電キャビのマイデータベースをインストールした場合、以下の 2 つのプログラムが登録されます。

「Microsoft SQL Server 2012 Express LocalDB」、「Microsoft SQL Server 2012 Native Client」、
マイデータベースをアンインストールする場合、「Microsoft SQL Server 2012 Express LocalDB」、
「Microsoft SQL Server 2012 Native Client」のそれぞれをアンインストールしてください。



※ マイデータベースのインスタンス名は ”ALFATECH2” です。

3. データコンバータ(E)

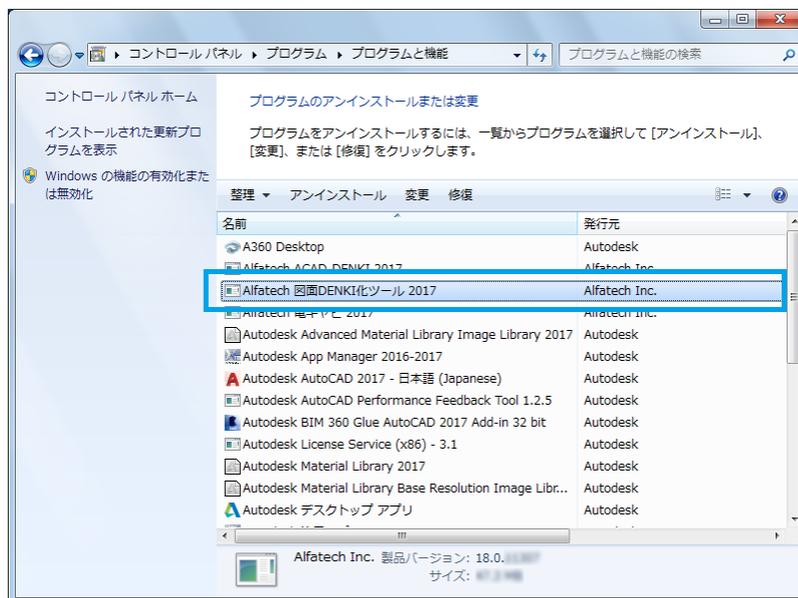


プログラムの名前は以下のとおりです。

32bit 版: Alfatech データコンバータ(E) 2017

※ 32bit 版の AutoCAD 専用です。

4. 図面 DENKI 化ツール



プログラムの名前は以下のとおりです。

32bit 版: Alfatech 図面 DENKI 化ツール 2017

64bit 版: Alfatech 図面 DENKI 化ツール 2017 (x64)

※ BricsCAD 専用です。

II. インストール

インストールについて説明します。

1. インストールの前に

1. インストールの前に

Administrator または管理者権限のあるユーザーでログオンしてください。

本ソフトをインストールする前に、使用中のアプリケーションをすべて終了させてください。また、ウイルス チェック プログラムなどの常駐プログラムが稼働している場合は、必ず終了させてから本ソフトのインストールを行ってください。

☞ インストーラを実行する前に、すべてのプログラムを必ず終了してください。

2. インストールする製品の選択

インストールメディアである DVD には、32bit 版と 64bit 版の両方が含まれています。

インストールメディアを DVD ドライブに挿入すると、OS が 32bit か 64bit かを確認し、自動的に該当インストーラを起動し、製品の選択画面を表示します。

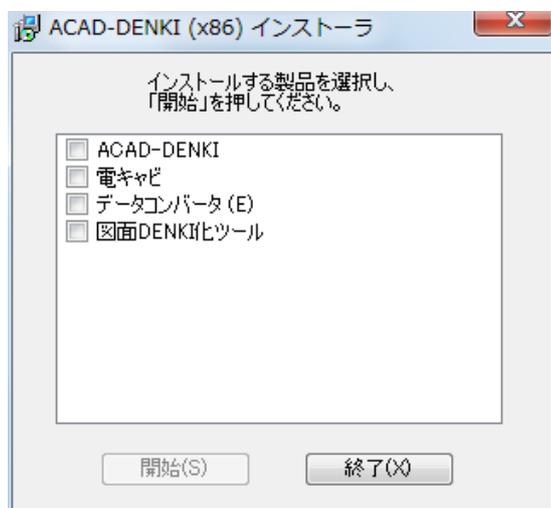
自動的に起動しないときは、エクスプローラ等で DVD 内の Setup.exe をダブルクリックして起動してください。

また、64bitOS 上で使用するベース CAD が 32bit の場合、32bit 版のインストーラを実行していただく必要があります。

その場合、起動したインストーラを終了し、DVD 内の Setup32.exe をダブルクリックして起動してください。

本 DVD でインストールできる製品は以下の通りです。

※下図は 32bit 版です。64bit 版には“データコンバータ (E)” は含まれていません。



ご購入いただいた製品を確認の上、インストールする製品にチェックを入力してください。

ご購入製品以外のものをインストールしても、ライセンスが無ければご利用できません。

インストール手順は「2. インストール」からの該当製品をご参考になしてください。

3. ネットワークでの一元管理を行う場合

ネットワークでの一元管理を行う場合、2 台目以降の端末では本インストール作業は不要です。

次章(III ネットワークでの一元管理)をご参照ください。

2. インストール

以下の説明にしたがって本ソフトをインストールしてください。

1. インストールする製品の選択

インストールメディアをDVDドライブに挿入すると、自動的にインストーラが起動し、製品の選択画面を表示します。

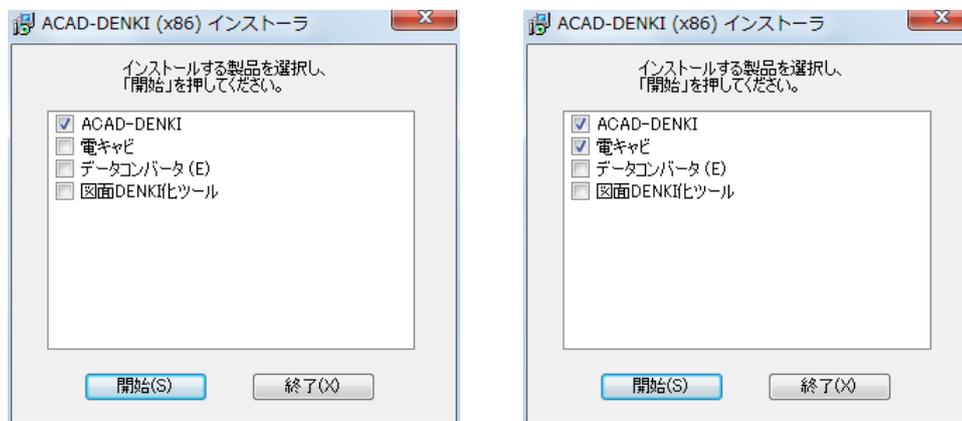
自動的に起動しないときは、エクスプローラ等でDVD内のSetup.exeをダブルクリックして起動してください。

購入された製品名にチェックを入れ、【開始(S)】ボタンをクリックしインストールを行います。

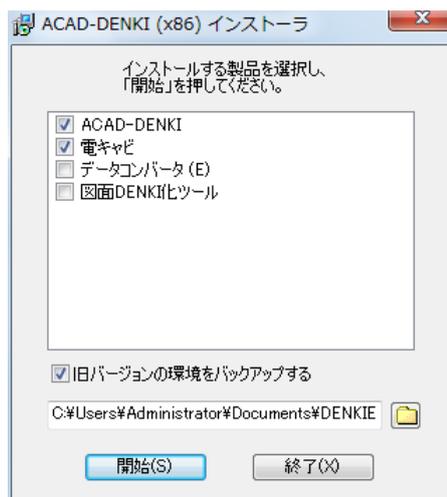
チェックを入力した製品のインストーラが上から順番に実行されます。

ACAD-DENKI 作図パックを購入された場合

ACAD-DENKI 標準パック、フルパックを購入された場合



バージョンアップの場合、インストール済み製品にチェックが入り、既存の設定環境のバックアップを行います。



環境のバックアップの復元については、DVD内の¥MISC¥DENKIEBK以下のツールをご利用ください。

2. ACAD-DENKI のインストール

1. インストールする製品の選択で、ACAD-DENKI にチェックを入力していない場合は、本項をスキップしてください。

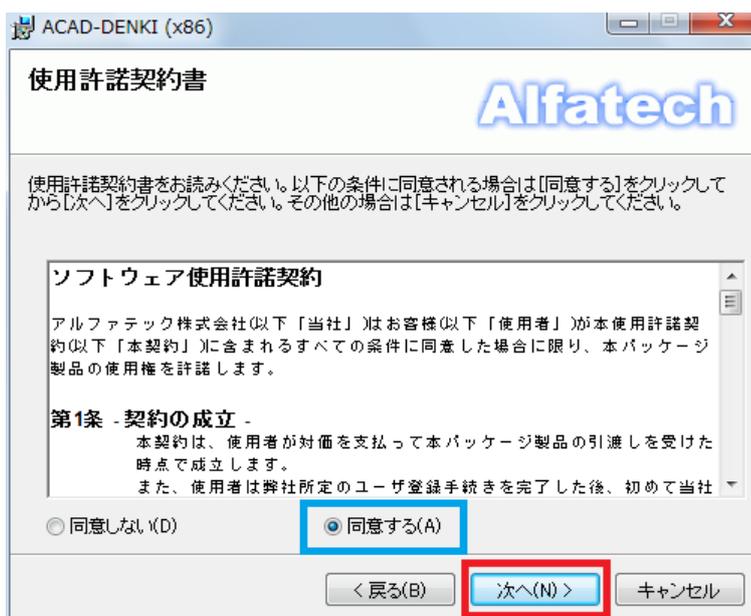
1) インストーラの起動

ACAD-DENKI のインストーラが起動すると以下のウィンドウが表示されますので、**[次へ(N) >]** ボタンをクリックします



2) 使用許諾契約

本ソフトをご使用いただくためには、ソフトウェア使用許諾契約のすべての条項に同意していただく必要があります。ソフトウェア使用許諾契約を注意深くお読みください。

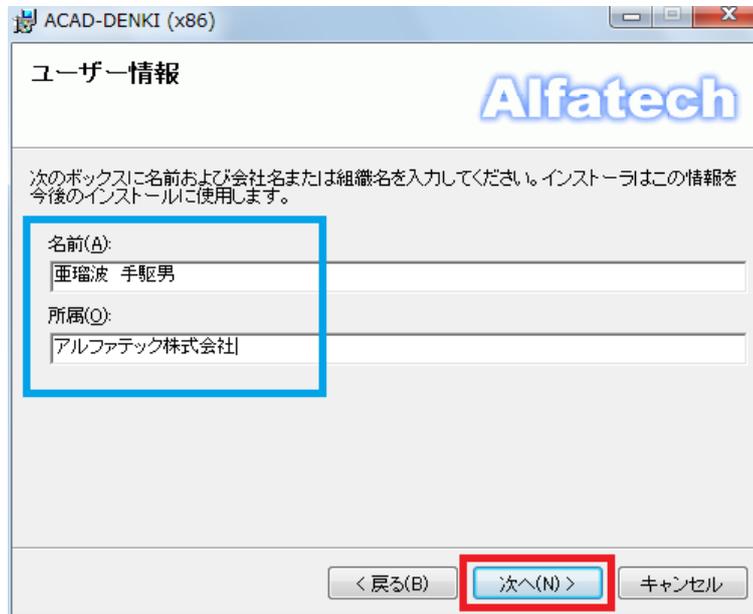


すべての条項に同意いただける場合は**[同意する (A)]** を選択し、**[次へ (N) >]** ボタンをクリックします。

(注) バージョンアップの場合、[7]. デスクトップのアイコン] 以降をご参照ください。

3) ユーザー情報の入力

ユーザー情報を入力してください。



すべて正しく入力したら、**[次へ (N) >]** ボタンをクリックします。

4) インストールするフォルダの選択

Alfatech 製品をインストールするフォルダを選択してください。



インストールするフォルダを選択し、**[次へ (N) >]** ボタンをクリックします。

5) インストールする製品の選択

インストールする「ACAD-DENKI」のオプション製品を選択してください。



同梱の「使用者契約同意書(ユーザ登録書)」にある製品名の欄に記入されているチェックマークをご確認いただき、それに対応するものを選択してください。

それ以外のものをインストールしても、ライセンスが無ければご利用いただけません。

インストールする製品を選択したら[次へ(N) >]ボタンをクリックします。

(補足)

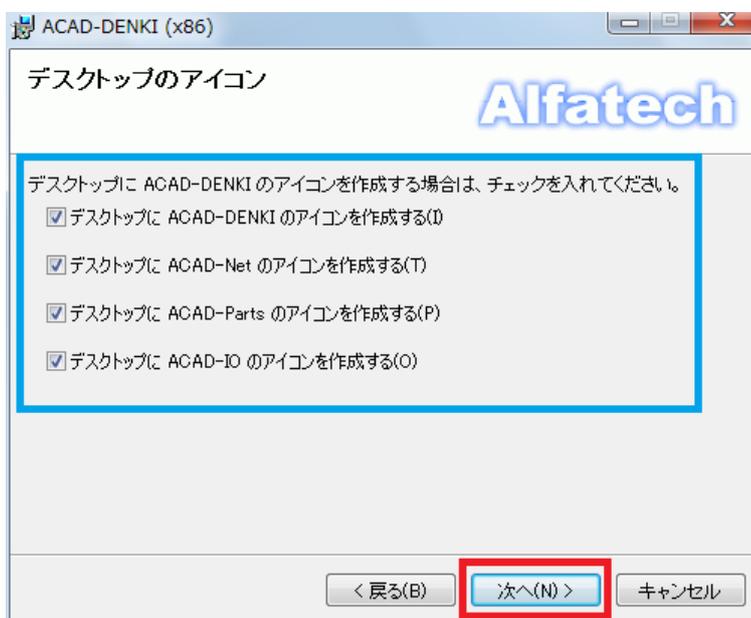
- ACAD-Parts … 部品処理
- ACAD-HMLINK … ホットマーカールink
- ACAD-IO … IO 自動作図
- ACAD-ELOP … EL オプション(電子回路オプション)
- BJ-CRS_Net … CRS リスト

6) 追加機能の選択



追加インストールする機能を確認の上、**【次へ(N) >】** ボタンをクリックします。
管理者ツールについては、「VI.6. 管理者ツール」をご参照ください。

7) デスクトップのアイコン



デスクトップにアイコンを作成するかを確認の上、**【次へ(N) >】** ボタンをクリックします。
(注) インストールしない製品のアイコンは作成されません。

8) インストールの確認



[次へ (N) >] ボタンをクリックすると、インストールが始まります。

9) インストールの完了



ACAD-DENKI のインストールは完了です。

[閉じる (C)] ボタンをクリックし、インストーラを終了します。

3. 電キャビ のインストール

1. インストールする製品の選択で、電キャビにチェックを入力していない場合は、本項をスキップしてください。

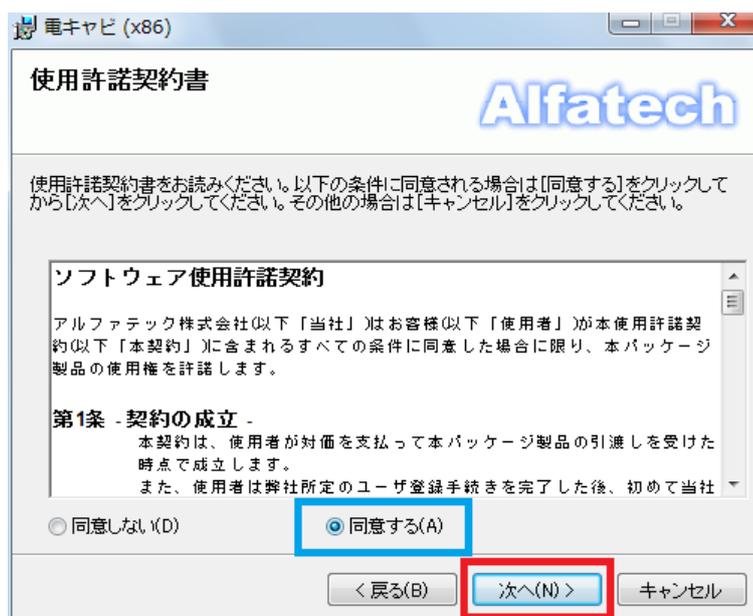
1) インストーラの起動

電キャビのインストーラが起動すると以下のウィンドウが表示されますので、**[次へ(N) >]** ボタンをクリックします。



2) 使用許諾契約

本ソフトをご使用いただくためには、ソフトウェア使用許諾契約のすべての条項に同意していただく必要があります。ソフトウェア使用許諾契約を注意深くお読みください。



すべての条項に同意いただける場合は**[同意する (A)]** を選択し、**[次へ(N)]** ボタンをクリックします。

(注) バージョンアップの場合、[5] デスクトップのアイコン] 以降をご参照ください。

3) インストールするフォルダの選択

Alfatech 製品をインストールするフォルダを選択してください。

(注)先に ACAD-DENKI などの Alfatech 製品をインストールされた場合は、「インストール フォルダの選択」は表示されません。[4] 追加機能の選択] 以降をご参照ください。



インストールするフォルダを選択し、[次へ (N) >] ボタンをクリックします。

4) 追加機能の選択



追加インストールする機能を確認の上、[次へ (N) >] ボタンをクリックします。

5) デスクトップのアイコン



デスクトップにアイコンを作成するかを確認の上、**[次へ(N) >]** ボタンをクリックします。

6) インストールの確認



[次へ(N) >] ボタンをクリックすると、インストールが始まります。

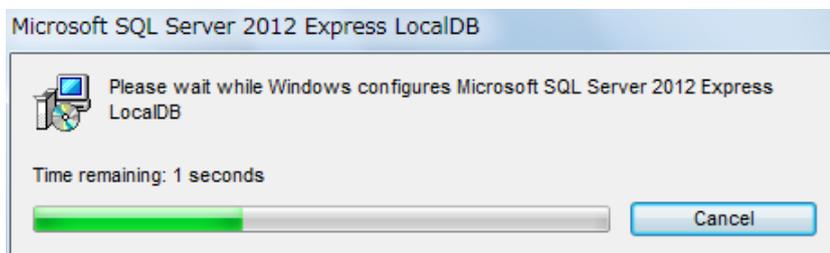
7) インストールの完了



電キャビのインストールは完了です。

[閉じる (C)] ボタンをクリックし、電キャビのインストーラを終了します。

[4] 追加機能の選択] で 「マイデータベースをインストールする」 にチェックを付けた場合、マイデータベース用ソフトのインストーラが起動します。



(注) マイデータベースとして以下をインストールします。
SQL Server 2012 Express Edition(LocalDB)

なお、コンピュータの状態によっては再起動を促す画面が表示されることがあります。このときは必ず OS を再起動してください。

4. データコンバータ(E) のインストール

1. インストールする製品の選択で、「データコンバータ(E)」 にチェックを付けていない場合は、以降の作業は必要ありません。

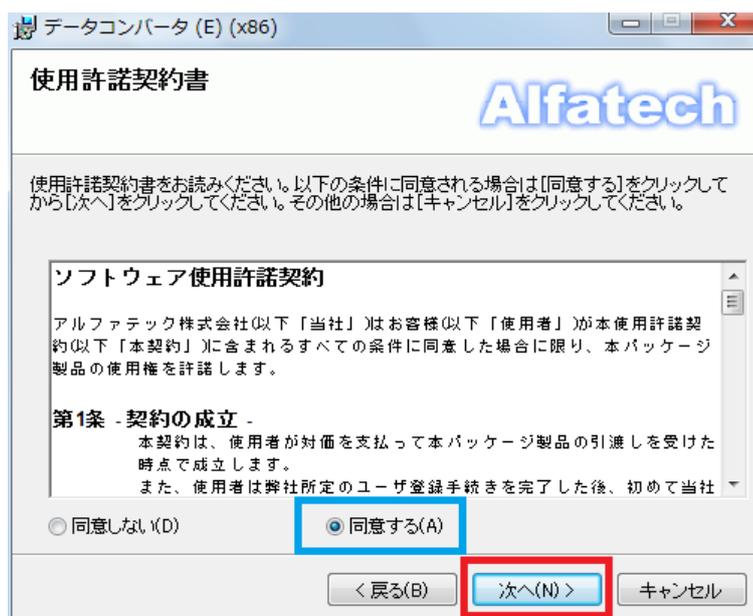
1) インストーラの起動

データコンバータ(E)のインストーラが起動すると以下のウィンドウが表示されますので、**[次へ(N)>]** ボタンをクリックします。



2) データコンバータ(E) 使用許諾契約

本ソフトをご使用いただくためには、ソフトウェア使用許諾契約のすべての条項に同意していただく必要があります。ソフトウェア使用許諾契約を注意深くお読みください。



すべての条項に同意いただける場合は**[同意する (A)]** を選択し、**[次へ (N) >]** ボタンをクリックします。

(注) バージョンアップの場合、[5] デスクトップのアイコン] 以降をご参照ください。

3) インストールするフォルダの選択

Alfatech 製品をインストールするフォルダを選択してください。

(注)先に ACAD-DENKI などの Alfatech 製品をインストールされた場合は、「インストール フォルダの選択」は表示されません。[4) デスクトップのアイコン] 以降をご参照ください。



インストールするフォルダを選択し、[次へ (N) >] ボタンをクリックします。

4) デスクトップのアイコン



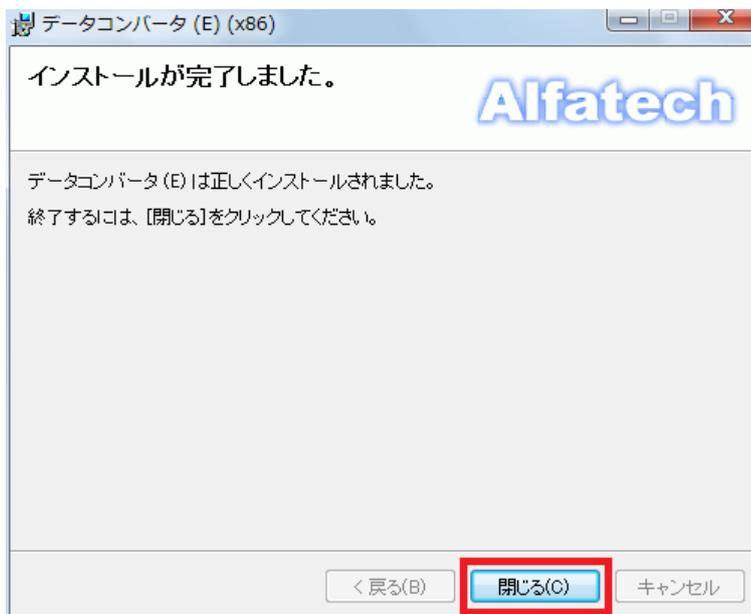
デスクトップにアイコンを作成するかを確認の上、[次へ (N) >] ボタンをクリックします。

5) インストールの確認



[次へ (N) >] ボタンをクリックすると、インストールが始まります。

6) インストールの完了



データコンバータ(E)のインストールは完了です。

[閉じる (C)] ボタンをクリックし、インストーラを終了します。これでインストール作業は終了です。

5. 図面 DENKI 化ツールのインストール

1. インストールする製品の選択で、「図面 DENKI 化ツール」にチェックを付けていない場合は、以降の作業は必要ありません。

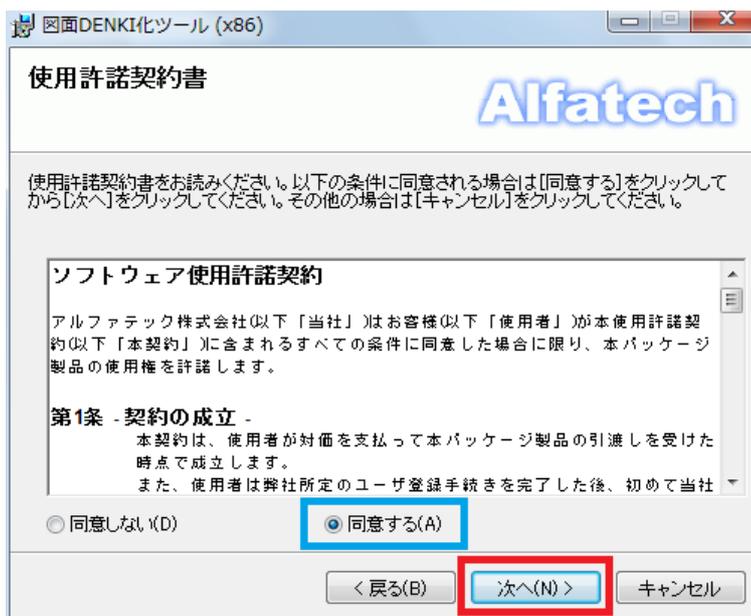
1) インストーラの起動

図面 DENKI 化ツールのインストーラが起動すると以下のウィンドウが表示されますので、**[次へ(N)>]** ボタンをクリックします。



2) 図面 DENKI 化ツール 使用許諾契約

本ソフトをご使用いただくためには、ソフトウェア使用許諾契約のすべての条項に同意していただく必要があります。ソフトウェア使用許諾契約を注意深くお読みください。



すべての条項に同意いただける場合は**[同意する (A)]**を選択し、**[次へ (N)>]** ボタンをクリックします。

(注) バージョンアップの場合、[4] インストールの確認] 以降をご参照ください。

3) インストールするフォルダの選択

Alfatech 製品をインストールするフォルダを選択してください。

(注)先に ACAD-DENKI などの Alfatech 製品をインストールされた場合は、「インストール フォルダの選択」は表示されません。[4] インストールの確認]以降をご参照ください。



インストールするフォルダを選択し、[次へ (N) >] ボタンをクリックします。

4) インストールの確認



[次へ (N) >] ボタンをクリックすると、インストールが始まります。

5) インストールの完了



図面 DENKI 化ツールのインストールは完了です。

[閉じる (C)] ボタンをクリックし、インストーラを終了します。

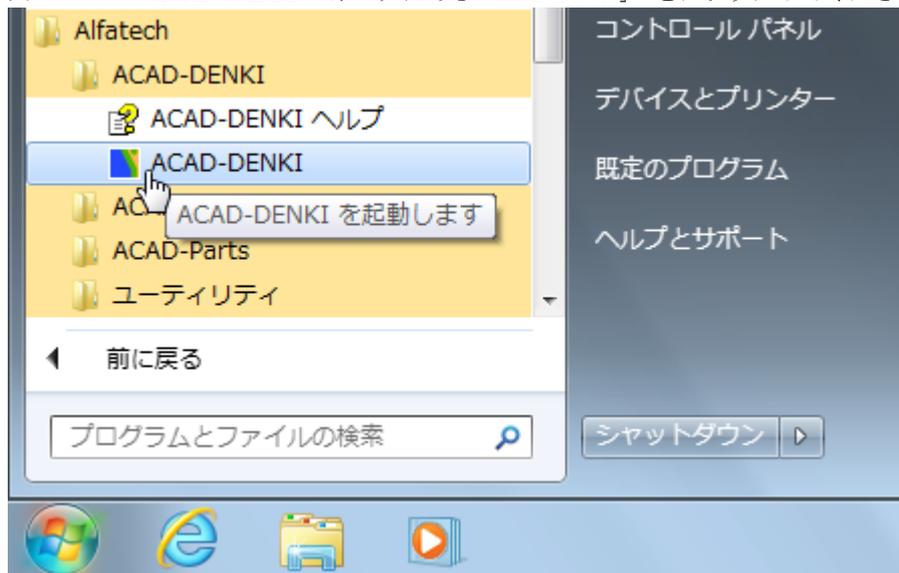
これでインストール作業は終了です。

3. ACAD-DENKI とオプションの起動

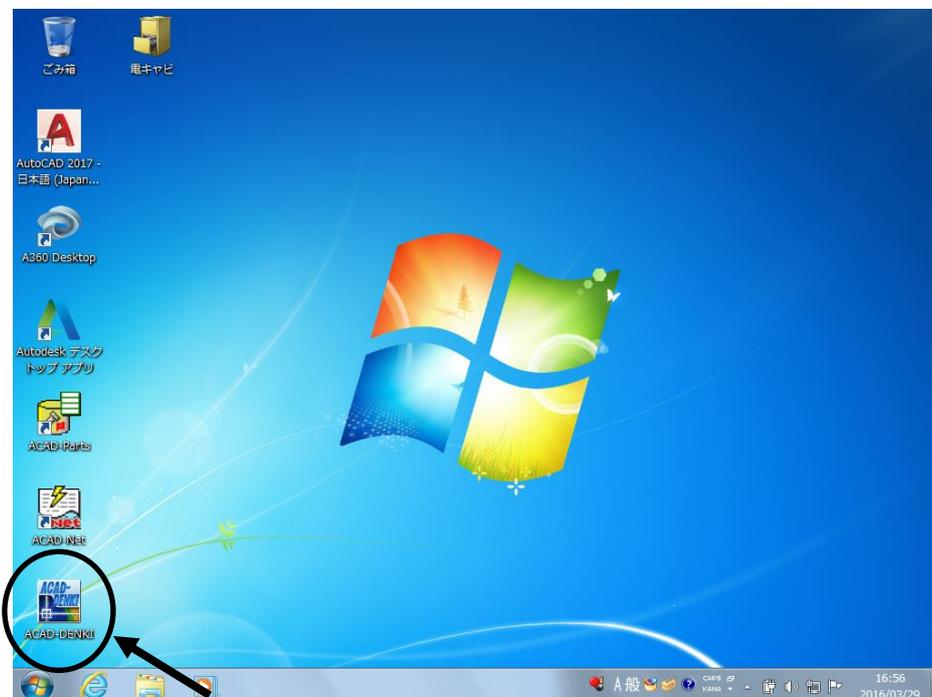
1. ACAD-DENKI の起動

電キャビをご購入の場合は、次の「電キャビの起動」での運用をお勧めします。

スタートメニューの ACAD-DENKI フォルダにある「ACAD-DENKI」 をクリックしてください。

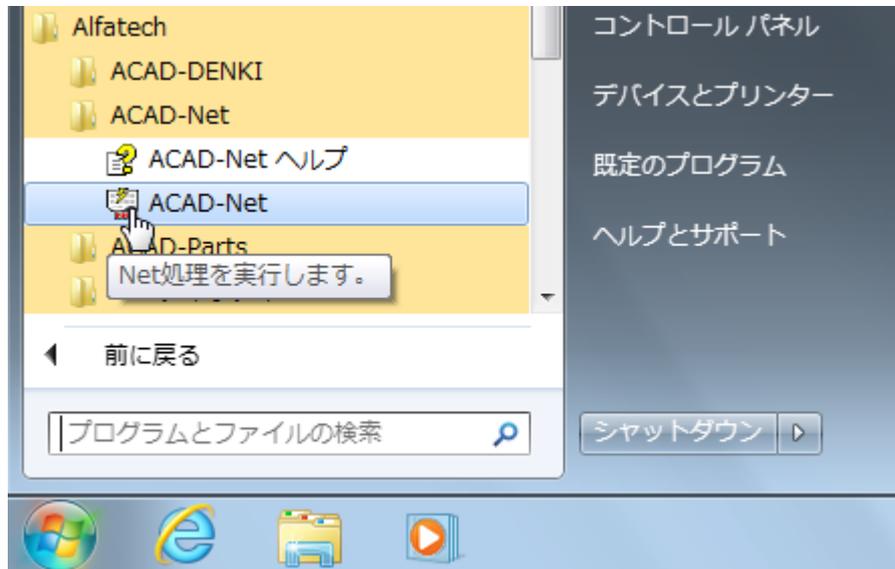


インストール時に「デスクトップにアイコンを作成する」を選んだときは下のようなアイコンが作成されますので、「ACAD-DENKI」アイコンをダブルクリックしても起動することができます。

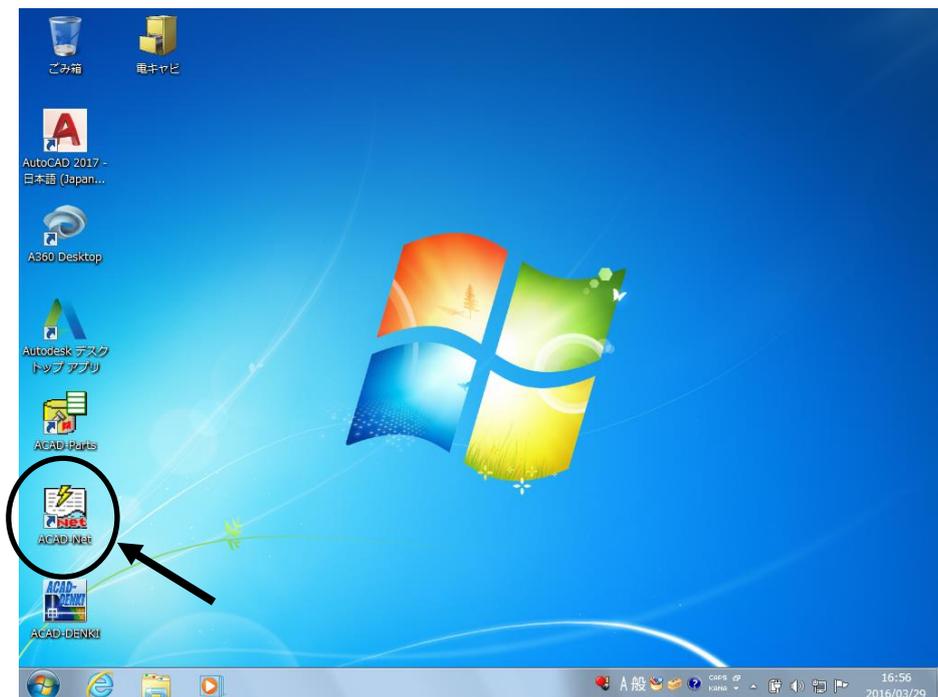


2. ACAD-Net の起動

「ACAD-DENKI」の [配線] 内のメニューコマンドをご使用ください。
または、スタートメニューの **ACAD-Net** フォルダにある「ACAD-Net」をクリックしてください。

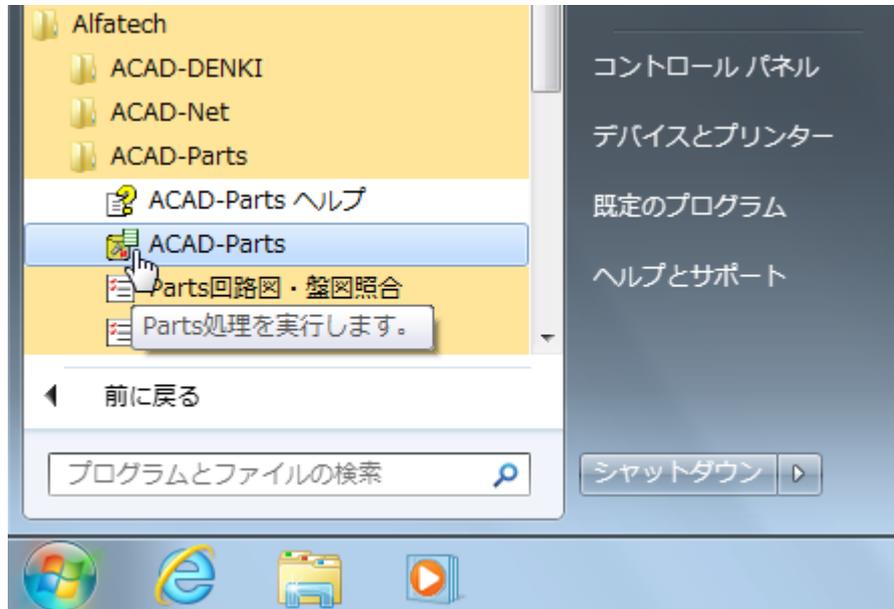


インストール時に「デスクトップにアイコンを作成する」を選んだときは下のようなアイコンが作成されますので、「ACAD-Net」アイコンをダブルクリックしても、起動することができます。

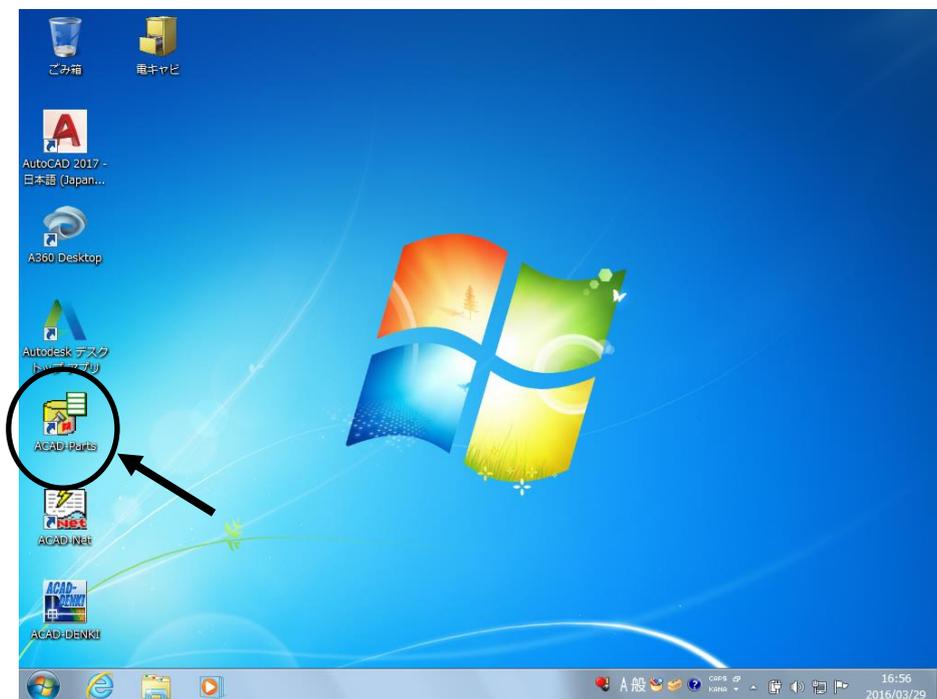


3. ACAD-Parts の起動

「ACAD-DENKI」の「ACAD-Parts」メニューコマンドをご使用ください。
または、スタートメニューの ACAD-Parts フォルダにある「ACAD-Parts」をクリックしてください。

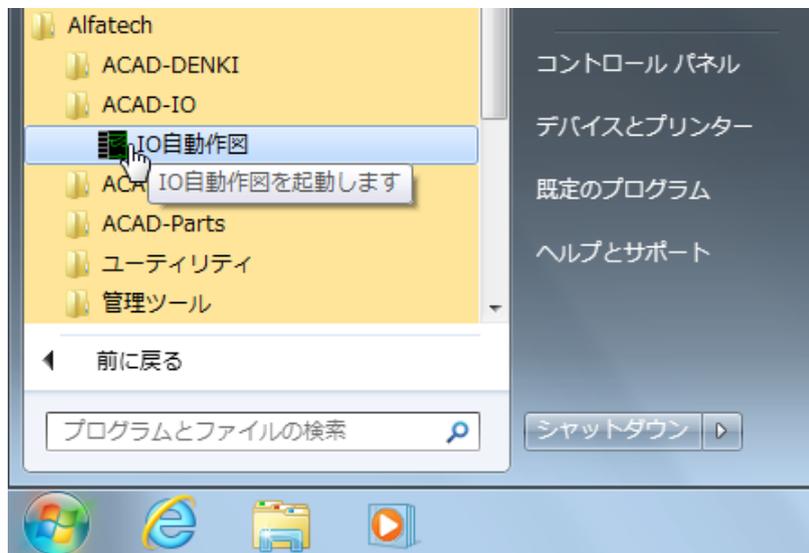


インストール時に「デスクトップにアイコンを作成する」を選んだときは下のようなアイコンが作成されますので、「ACAD-Parts」アイコンをダブルクリックしても、起動することができます。

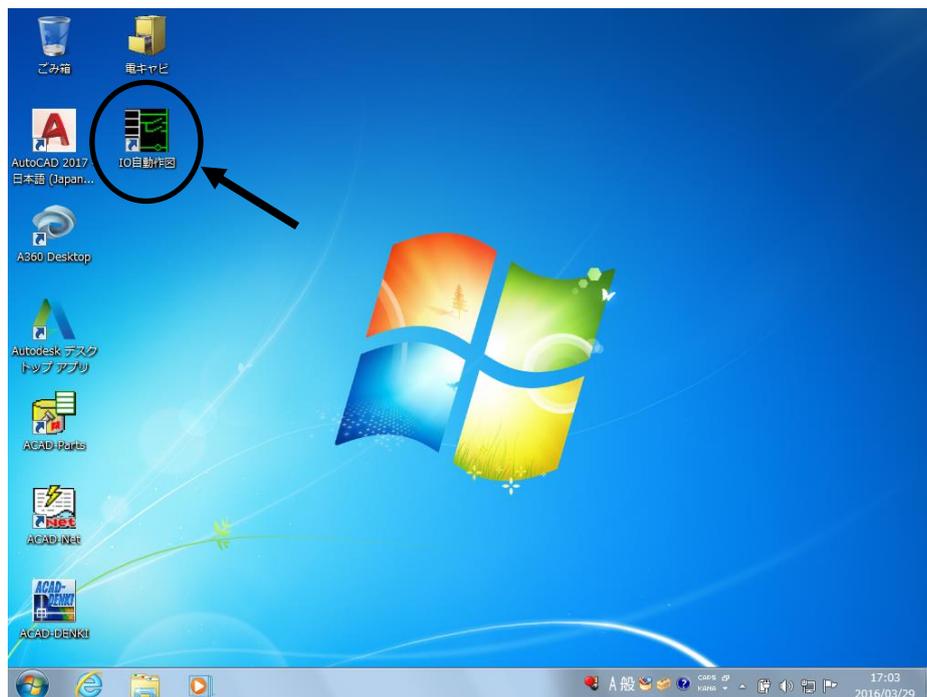


4. ACAD-IO の起動

スタートメニューの **ACAD-IO** フォルダにある「**IO 自動作図**」をクリックしてください。



インストール時に「デスクトップにアイコンを作成する」を選んだときは下のようなアイコンが作成されますので、「IO 自動作図」アイコンをダブルクリックしても、起動することができます。



5. EL オプションの起動

「ACAD-DENKI」の電子回路メニューのコマンドをご使用ください。
コマンドの詳細は、ACAD-DENKI コマンドヘルプ内の「電子回路オプション」をご参照ください。

6. ホットマーカールinkの起動

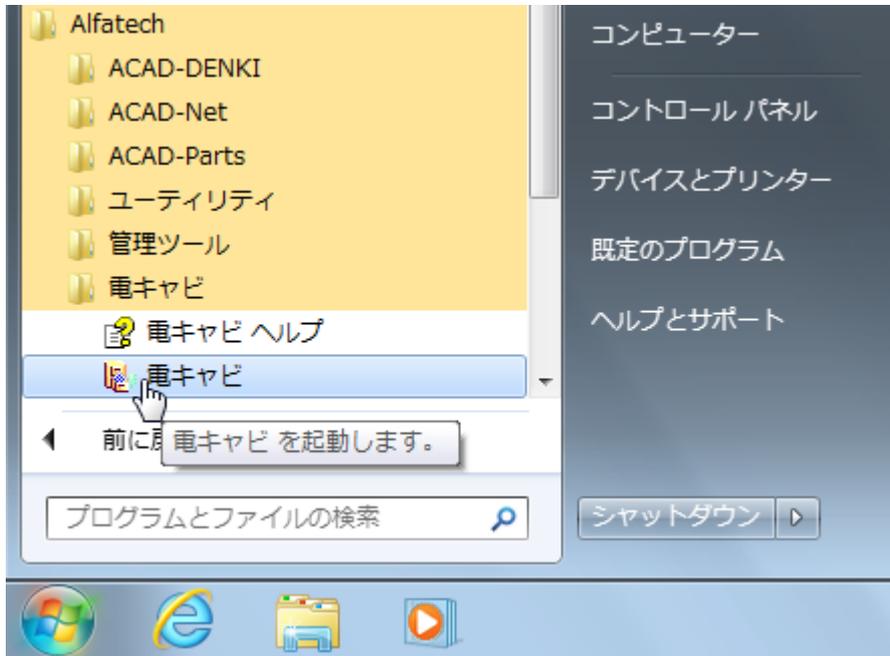
ACAD-Net を起動し、ネット処理ダイアログ内の処理選択リストボックスから「**CTK ホットマーカ作成**」を実行してください。
または、「ACAD-DENKI」の「**ACAD-Net**」から「**CTK ホットマーカ作成**」を選択実行することもできます。

7. BJ-CRS_Net の起動

ACAD-Net を起動し、ネット処理ダイアログ内の処理選択リストボックスから「**CRS リスト**」を実行してください。
または、「ACAD-DENKI」の「**ACAD-Net**」から「**CRS リスト**」を選択実行することもできます。

4. 電キャビの起動

スタートメニューの 電キャビフォルダにある「電キャビ」をクリックしてください。

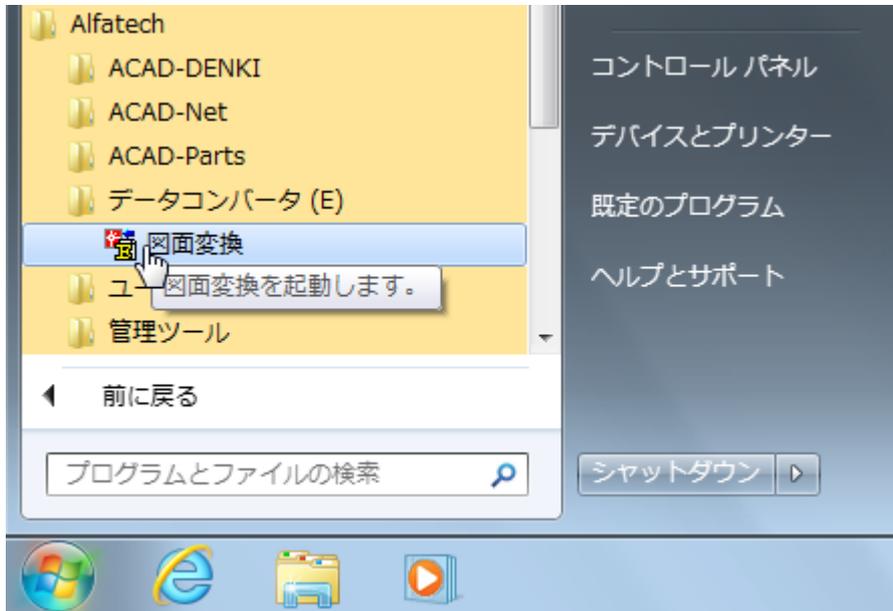


インストール時に「デスクトップにアイコンを作成する」を選んだときは下のようなアイコンが作成されますので、「電キャビ」アイコンをダブルクリックしても、起動することができます。



5. データコンバータ(E)の起動

スタートメニューの データコンバータ(E)フォルダにある「図面変換」をクリックしてください。

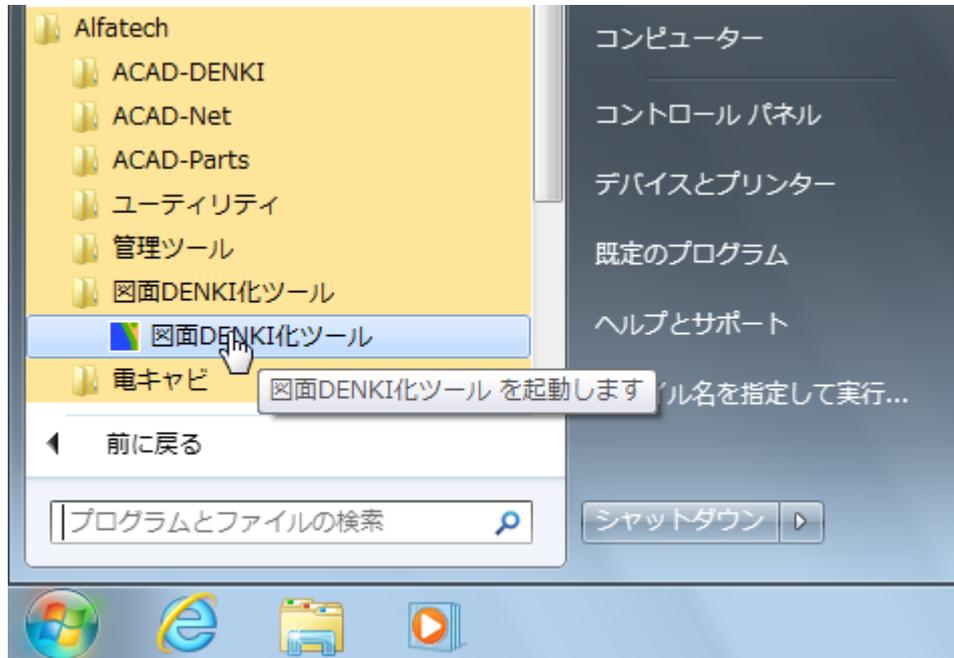


インストール時に「デスクトップにアイコンを作成する」を選んだときは下のようなアイコンが作成されますので、「図面変換」アイコンをダブルクリックしても起動することができます。



6. 図面 DENKI 化ツールの起動

スタートメニューの 図面 DENKI 化ツールフォルダにある「図面 DENKI 化ツール」をクリックしてください。



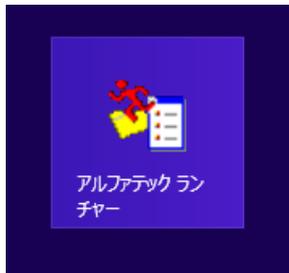
デスクトップにアイコンが作成されますので、「図面 DENKI 化ツール」アイコンをダブルクリックしても起動することができます。



7. Windows 10、8/8.1 での起動方法

Windows 10、8/8.1 のデスクトップには、Windows 7 までの スタートボタンがありません。

よって、従来のスタートメニューからの操作を行うことができませんので、スタート画面に新しく「アルファテック ランチャー」という起動アイコンを追加しました。



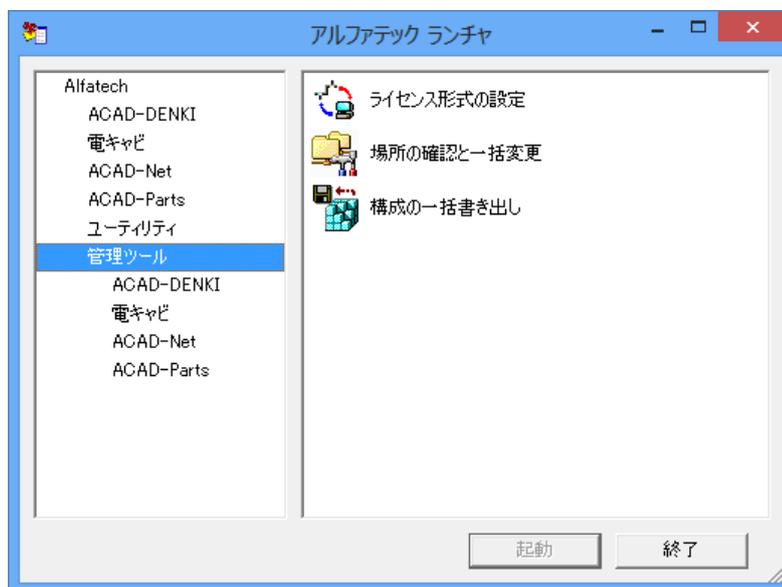
(ご注意)

スタート画面への自動登録は、インストールユーザーのみです。別のユーザーでお使いになる場合は、「検索」などから「アプリ」画面を表示し、[Alfatech]-[アルファテック ランチャー]を選択してください。

スタート画面に登録したい場合は、「アルファテック ランチャー」をマウス右クリックし、「スタート画面にピン留めする」を選択してください。

こちらを実行すると、従来のスタートメニューと同じ構成のメニューウィンドウが表示されます。

※ フルパック構成の表示例です。



起動方法は、アイコンをダブルクリックするか、選択後に [起動] ボタンをクリックします。

また、よく使うアイコンのショートカットをデスクトップに作成したい場合、アイコンを選択し、マウス右クリックメニューの「デスクトップにショートカットを作成」を実行してください。

尚、インストール時にデスクトップにアイコンを作成するが有効な場合、従来と同じくデスクトップに起動用のアイコンを作成します(デスクトップにアルファテック ランチャーのショートカットは自動作成しません)。

8. 6.x/7.x からのバージョンアップの注意点

ACAD-DENKI をお使いのユーザー様のみお読みください。

1. ACAD-DENKI について

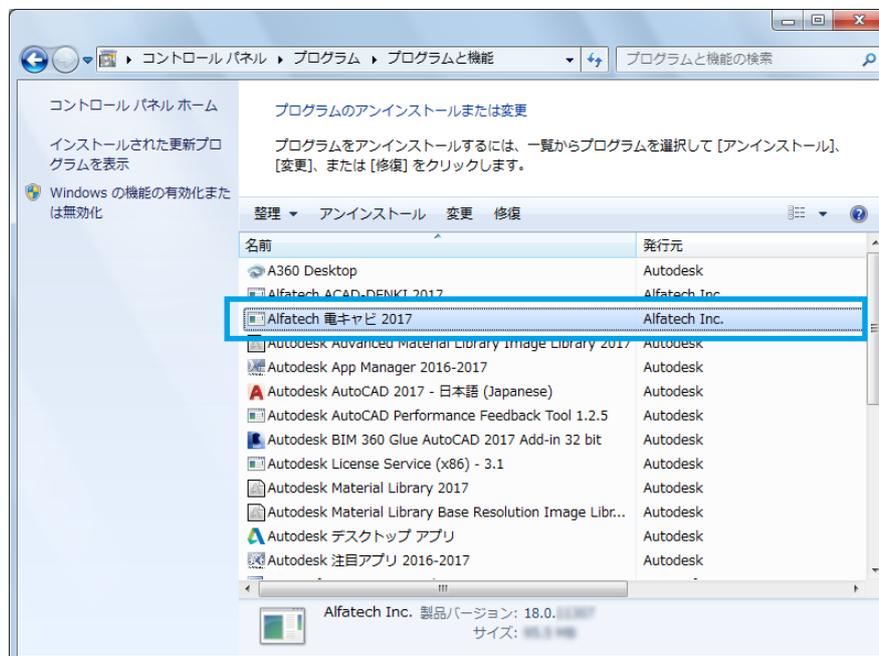
別のメディアからインストールしていたオプションソフトのいくつかが、ACAD-DENKI のメディアからインストールできるように変更されました。

本メディアに含まれる製品については、バージョンアップ時に自動的にインストールされます。

ライセンスについては、従来どおり製品ごとに必要となります。

2. 電キャビについて

単体のアプリケーションとしてインストールされるように変更されました。



電キャビのデータベース情報を複数端末で共有してご使用される場合、共有データベースを準備していただく必要があります。

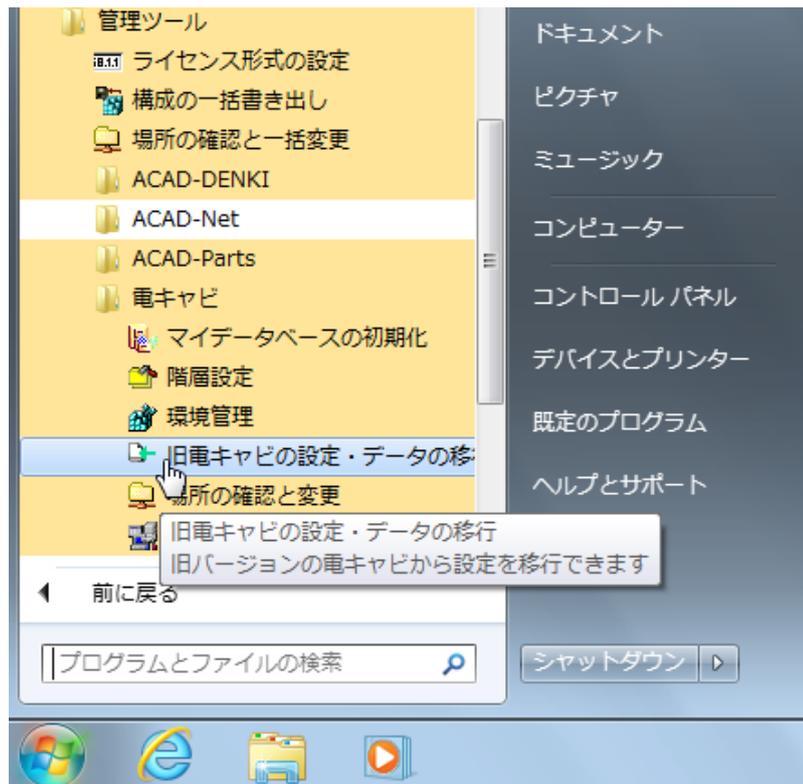
共有データベースの構築、接続設定につきましては、別冊の「データベース 接続設定 マニュアル」をご参照の上、準備願います。

データベースの内部構造が変更されたため、既存環境の電キャビに関する設定やデータベース情報をそのまま使うことができません。

必ず、管理ツールに含まれる「旧電キャビの設定・データの移行」を実行してください。

また、電キャビのデータベース情報を複数端末で共有してご使用されていた場合は、必ず共有データベースを準備し、共有データベースへの接続設定を行ってから「旧電キャビの設定・データの移行」を実行してください。

共有データベースを設定しなかった場合、マイデータベースへ電キャビのデータベース情報が登録され、再登録の作業が発生しますので、ご注意ください。



3. ACAD-Parts について

ACAD-DENKI 7.1 以降より、部品マスタデータベースのスキーマが拡張されました。

Ver. 6. x および 7. 0 からバージョンアップされる場合は、DVD 内の「部品マスタデータベースの更新ツール」を実行してください。

ツールは、DVD 内の ¥MISC¥ACAD-Parts 以下にあります。

4. ACAD-Net について

ACAD-DENKI の標準機能としてインストールされます。

9. 図面奉行をご利用の場合の注意点

2017 から提供する図面奉行は「比較奉行」のみに変更されました。

恐れ入りますが、図面奉行(比較奉行、検索奉行)をお使いの場合は、本メディアの以下の msi インストーラを実行して、図面奉行(比較奉行)のインストールを行ってください。

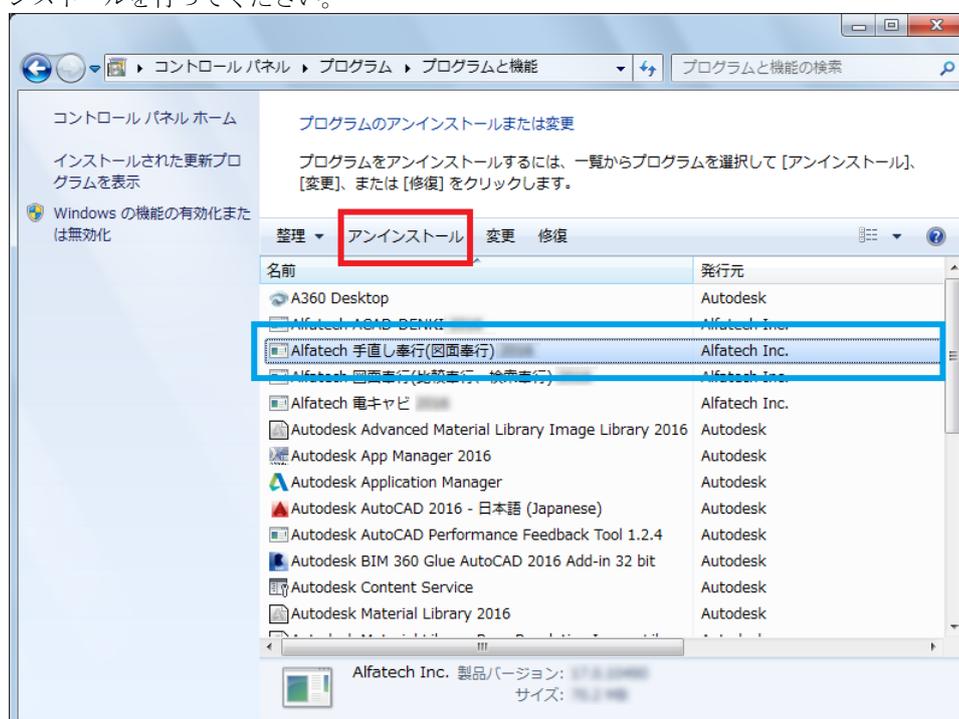
(32bit 版)

Installer¥ACAD-ZB_1041.msi : 図面奉行(比較奉行)

(64bit 版)

Installer64¥ACAD-ZB64_1041.msi : 図面奉行(比較奉行)

また、手直し奉行(図面奉行)もインストールされている場合は、「コントロールパネル」からアンインストールを行ってください。

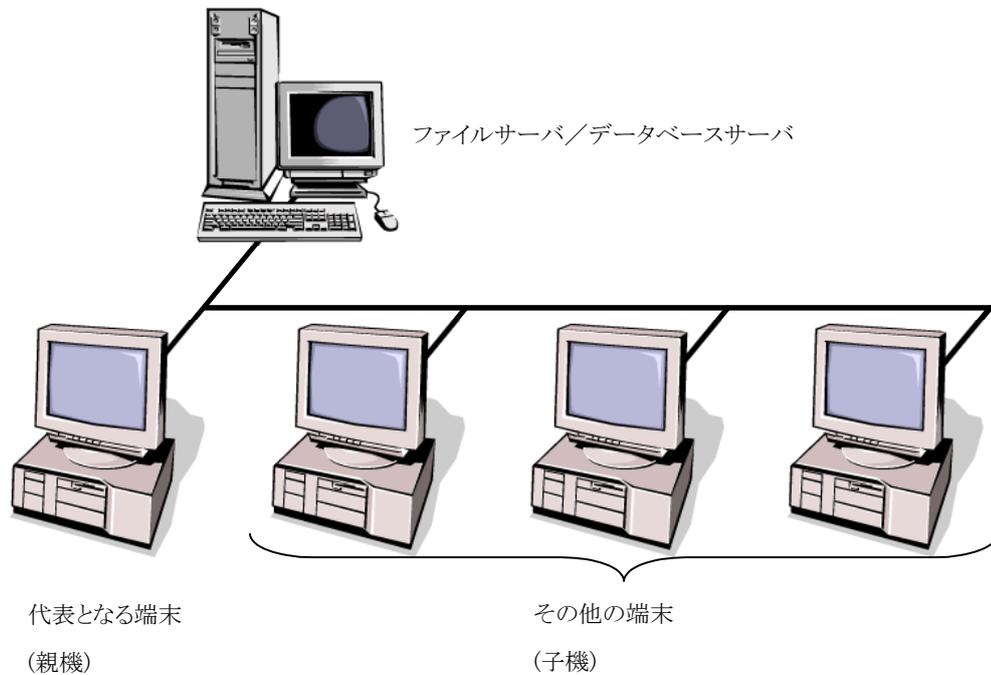


「手直し奉行」は ACAD-DENKI にも含まれていますので、そちらをご利用ください。

III. ネットワークでの一元管理

1. 一元管理の概要

本ソフトはネットワーク上の共有フォルダに各種ファイルを保管することにより、データを一元管理することができます。



ファイルサーバ/データベースサーバの動作環境
OS

Windows 7 SP1 ^(※2)
 Windows Server 2008 (R2 を含む) ^{(※2) (※4)}
 Windows 8/8.1 ^(※3)
 Windows 10 ^(※4)
 Windows Server 2012 (R2 を含む) ^{(※3) (※4)}

ネットワーク インターフェース カード (NIC) 必須
 プロトコル TCP/IP^(※1)

- (※1) OS が Server Edition でない場合はネットワークの接続数が制限されています。のサーバーにアクセスするコンピュータの数が多い場合はご注意ください。なお、Server Edition の OS にはこの制限はありません。
- (※2) 対応する SQL Server は、SQL Server 2005 SP3 以上となります。
- (※3) 対応する SQL Server は、SQL Server 2008 SP3 以上となります。
- (※4) 対応する SQL Server は、SQL Server 2012、2014、2016 となります。
 (注: 対応 OS のサービスパックは別途、ご確認ください)

一元管理を行うための手順は以下のとおりです。

1) 共有フォルダの作成

ファイルサーバーに共有フォルダを作成します。

2) 親機へのインストール

代表となる端末(親機)に本ソフト(オプションソフトも含む)をインストールします。

フローティングライセンスを利用する場合はライセンス形式の設定を行ってください。

ライセンス形式の設定については、[V.4. ライセンス形式の設定(クライアント)] をご参照ください。

(注)管理者ツールを使用する場合、親機に管理者ツールをインストールし、設定まで行ってください。

管理者ツールについては、別冊の「管理者向けマニュアル」をご参照ください。

3) 場所の変更と構成の書き出し

代表となる端末(親機)で場所の一括変更と構成の一括書き出しを行います。

書き出し操作でネットワークインストーラが作成されます。

4) 子機へのインストール

その他の端末(子機)でネットワークインストーラを実行し、本ソフト一式をインストールします。

ネットワークインストーラは親機が書き出した構成をもとに本ソフトのインストーラを実行し、自動的に親機の構成と同じ内容(インストール先情報も含む)で子機に本ソフトをインストールします。

5) 共有データベースの作成

電キャビをご使用の場合、電キャビの共有データベースを準備する必要があります。

また、ACAD-Parts の部品マスタデータベースとして使用することもできます。

共有データベースの構築、接続設定につきましては、別冊の「データベース接続設定マニュアル」をご参照ください。

2. 一元管理の構築手順

1. 共有フォルダの作成

ここでは図のような構成でファイルサーバーのコンピュータ名が「Server」、その共有フォルダを「Share」とし、各端末は「[¥¥Server¥Share](#)」を Z: ドライブに割付を行い運用するものとしてご説明します。

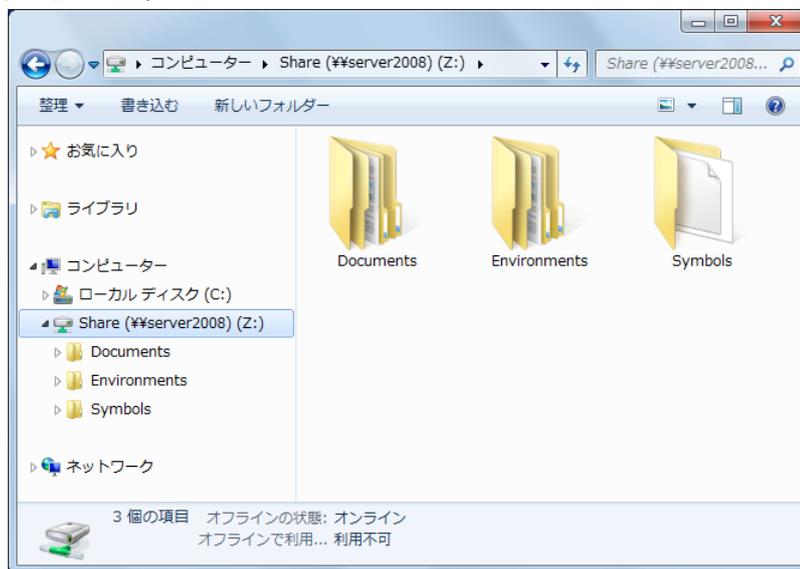
本ソフトでは以下を共有することができます。

- 設定環境の作成先
- シンボル庫
- スクリプトテンプレートの作成先
- 図面庫

本管理例ではそれぞれを

- 設定環境の作成先 → Z:¥Environments
- シンボル庫 → Z:¥Symbols
- スクリプトテンプレートの作成先 → Z:¥Documents
- 図面庫 → Z:¥Drawings

として、共有します。



(ご注意)

下記のように、同一場所を指定すると不具合を生じる恐れがあります。

[悪い例]

- 設定環境の作成先 → Z:¥
- シンボル庫 → Z:¥
- スクリプトテンプレートの作成先 → Z:¥

(注) Z:¥ と Z:¥Symbols のように各フォルダが親子関係になることも避けてください。
図面庫は任意の場所に指定できます。

2. 親機へのインストール

一元管理を行う場合、代表となる端末(親機)に本ソフト(オプションソフトも含む)をインストールします。
フローティングライセンスを利用する場合は、ライセンス形式の設定まで行ってください。

1) インストール

本ソフト(オプションソフトも含む)をインストールします。本ソフトのインストールに関しては
前章[II インストール) をご参照ください。

2) ライセンス形式の設定

フローティングライセンスを利用する場合はライセンス形式の設定を行ってください。

ライセンス形式の設定については、[V.4. ライセンス形式の設定(クライアント)] をご参照ください。

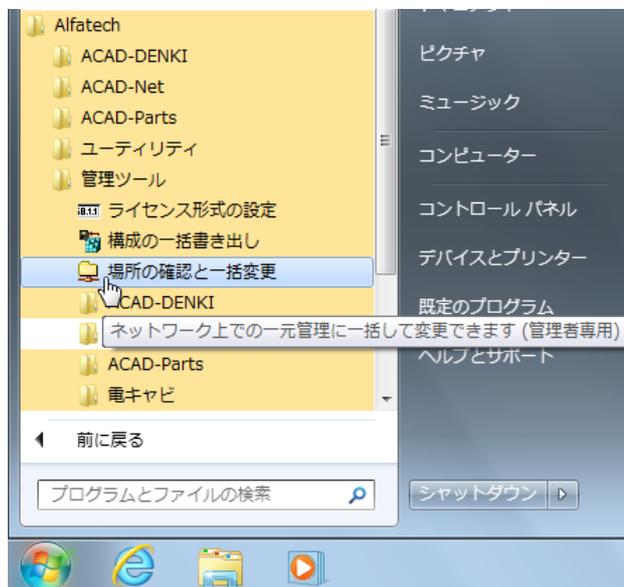
※ スタンドアロンライセンスの場合は、インストール作業後、クライアントごとにライセンス形式の設定を行ってください。詳細は、[IV.2. ライセンス形式の設定 (クライアント)] をご参照ください。

3. 場所の変更と構成の書き出し

親機へのインストール後、場所の一括変更と構成の一括書き出しを行います。

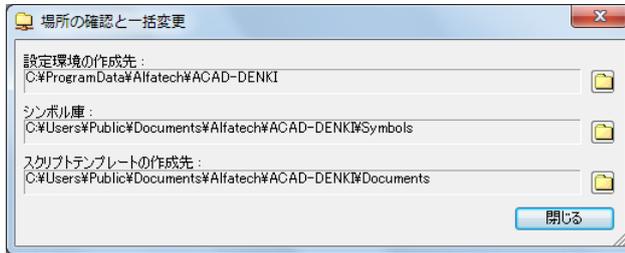
1) 場所の確認と一括変更の起動

スタートメニューから管理ツールに含まれる「場所の確認と一括変更」を起動します。



2) 場所の一括変更

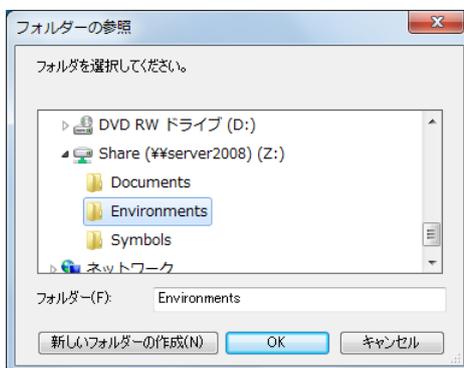
「場所の確認と一括変更」ダイアログが表示されます。



「設定環境の作成先」の横にある  ボタンをクリックすると、「場所の一括変更」ダイアログが表示されます。



「変更後の場所」の横にある  ボタンをクリックすると、「フォルダの参照」ダイアログが表示されます。



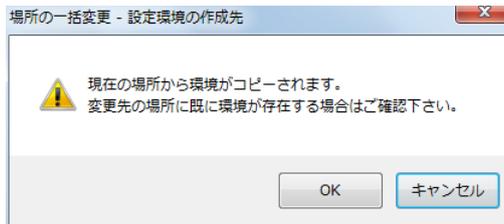
設定環境を作成するフォルダ(ここでは Z:¥Environments)を選択し、[OK]ボタンをクリックしてください。

選択したフォルダが「変更後の場所」に表示されます。

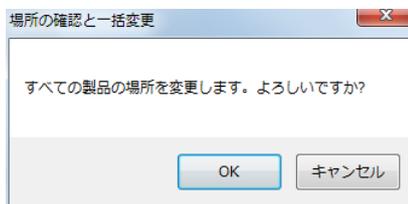


「変更後の構成」を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。

[場所を変更するだけで内容はコピーしない] を選択した場合、参照先の変更のみです(初期値)。
 [現在の場所から内容をコピーする] を選択した場合は、既存のファイルを変更後の場所にコピーします。
 現在の設定情報を活用する場合は [現在の場所から内容をコピーする] を選択してください。
 間違って選択する場合がありますので、確認のための警告メッセージが表示されます。
 コピーする場合は [OK] ボタンをクリック、間違っていた場合は [キャンセル] ボタンをクリックします。

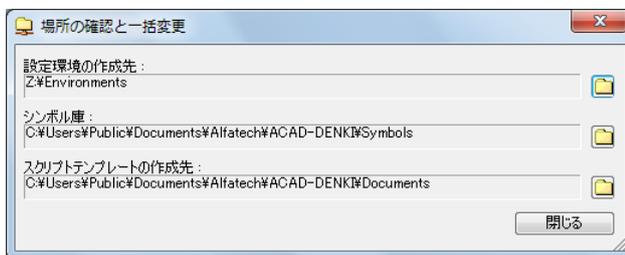


一括変更により、確認のメッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてください。



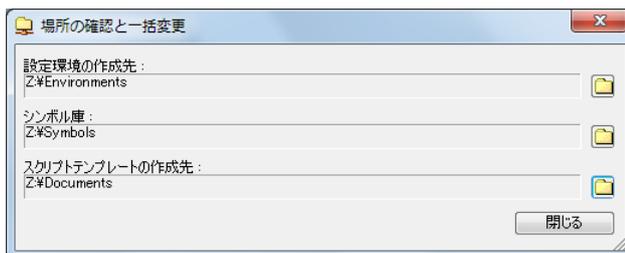
選択した[変更後の構成]の内容に基づいて処理を行います。

ファイルのコピーが終了すると「場所の確認と一括変更」ダイアログに戻ります。



同様な手順でシンボル庫とドキュメント(図面)の作成先をそれぞれ変更します。

シンボル庫とドキュメント(図面)の作成先に関しては「場所の一括変更」ダイアログの [変更後の構成] で、[サンプルをコピーする] を選択した場合は、インストール先に存在するサンプルフォルダからファイルがコピーされます。



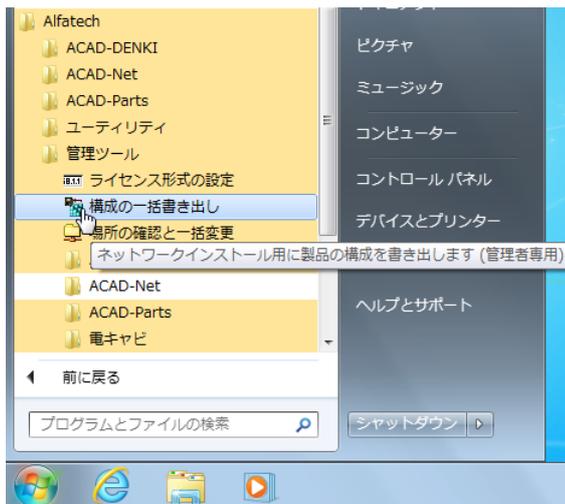
「設定環境の作成先」、「シンボル庫」、「スクリプトテンプレートの作成先」をネットワーク上のフォルダに設定変更し終えたら、[閉じる]ボタンをクリックします。

(お願い)

管理ツールの製品ごとのフォルダにある「場所の確認と変更」では、場所の変更作業を行わないでください。

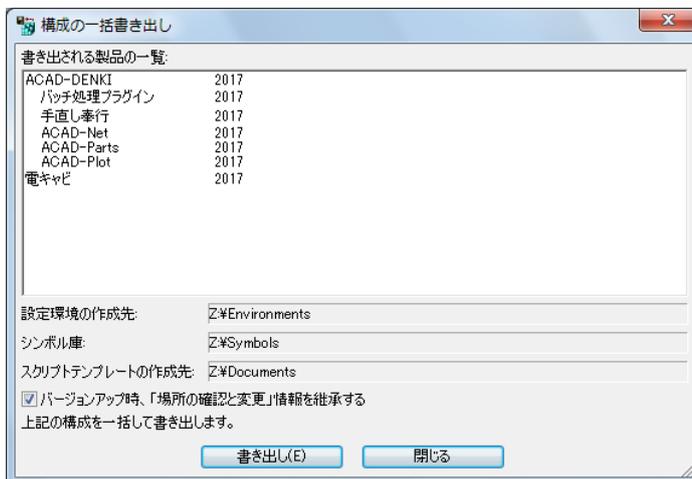
3) 構成の一括書き出しの起動

スタートメニューから管理ツールに含まれる「構成の一括書き出し」を起動します。



4) 構成の一括書き出し

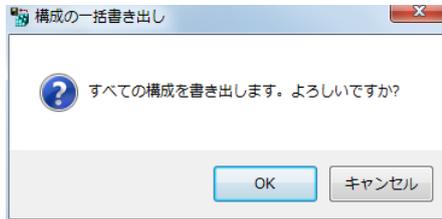
「構成の一括書き出し」ダイアログが表示されます。



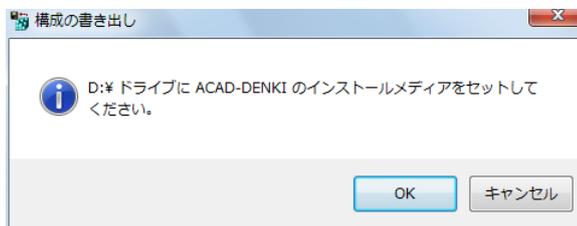
「構成の一括書き出し」の [書き出し]ボタンをクリックします。

(注 1) 「構成の一括書き出し」ダイアログに表示されている「設定環境の作成先」、「シンボル庫」、「スクリプトテンプレートの作成先」のすべてのフォルダが、ネットワーク上のフォルダを表示していなければ実行されません。

(注2)バージョンアップ時、「設定環境の作成先」などのフォルダ情報を、新しく書き出す情報で更新する場合、(例えば、今後割り付けドライブを変更するなどの可能性がある場合)「バージョンアップ時、「場所の確認と変更」情報を継承する」のチェックを外してから[書き出し]を行ってください。



(注) インストールメディアから構成の書き出しに必要なモジュールをコピーしますので、DVDドライブに本ソフトのメディアをセットしておいてください。

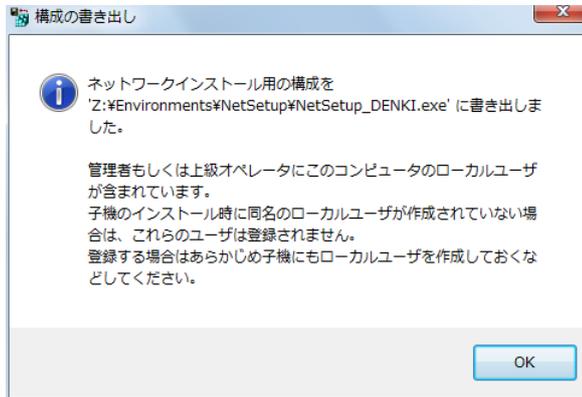


(注) 複数枚のメディアにてインストールされている場合、構成の書き出しに必要なメディアを要求するメッセージが表示されますので、指示に従ってください。



構成の書き出しが完了すると、上記メッセージボックスが表示されます。
子機ではこのファイルを実行し、本ソフトをネットワークインストールします。

(注) 管理者ツールをインストール、設定している場合は、下記のようなメッセージボックスが表示されます。

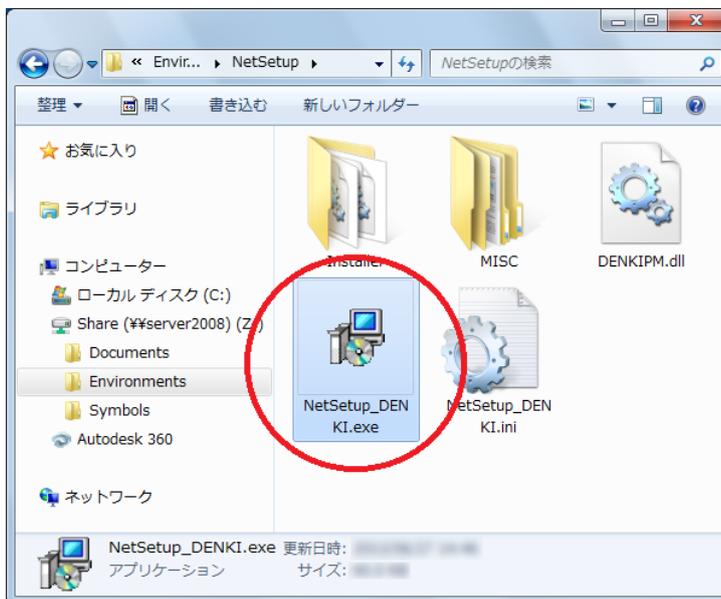


構成の書き出し完了後、「構成の一括書き出し」ダイアログの [閉じる] ボタンをクリックして終了します。

4. 子機へのインストール

親機で書き出された構成で、その他の端末(子機)に本ソフトをインストールします。

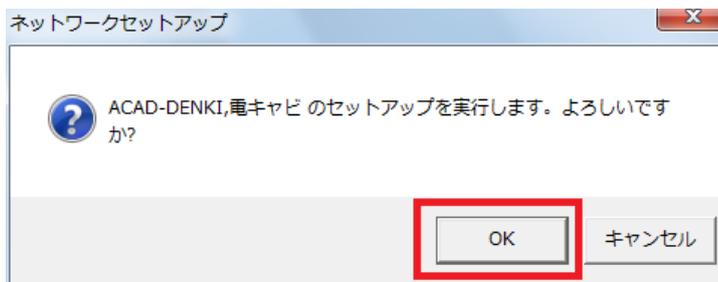
エクスプローラ等で親機から書き出された NetSetup_DENKI.exe をダブルクリックしてネットワークインストーラを起動します。



“セキュリティの警告”の確認メッセージが表示されることがあります。
この場合、[実行]ボタンをクリックします。



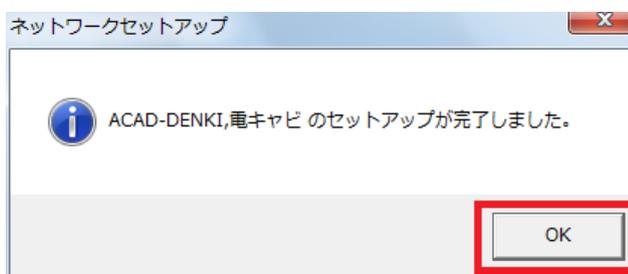
[OK] ボタンをクリックし、セットアップを開始します。



インストーラが正しく認識されると本ソフトのインストールが行われます。



インストールが終了するとメッセージが表示されます。



[OK] ボタンをクリックしてインストーラを終了してください。

5. 共有データベースの作成

電キャビのデータベース情報を複数端末で共有してご使用される場合、共有データベースを準備していただく必要があります。また、ACAD-Parts の部品マスタデータベースとして使用することもできます。

共有データベースの構築、接続設定につきましては、別冊の「データベース 接続設定 マニュアル」をご参照の上、準備願います。

1) マイデータベースと共有データベースの違い

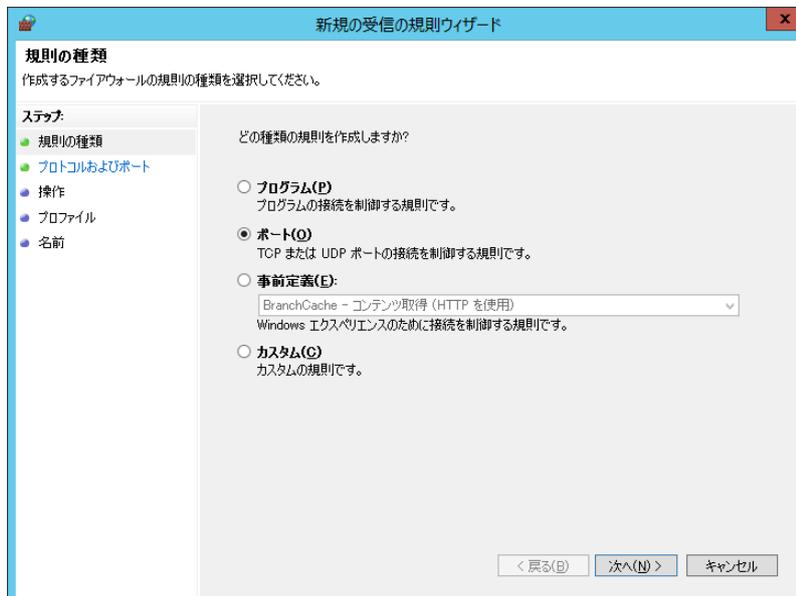
- マイデータベースとは
ひとつの端末内でユーザーが各自の作業用として使用する場合のデータベースです。
- 共有データベースとは
複数端末で電キャビのデータベースを共有して使用する場合のデータベースです。

2) Windows ファイアウォールにおける注意事項

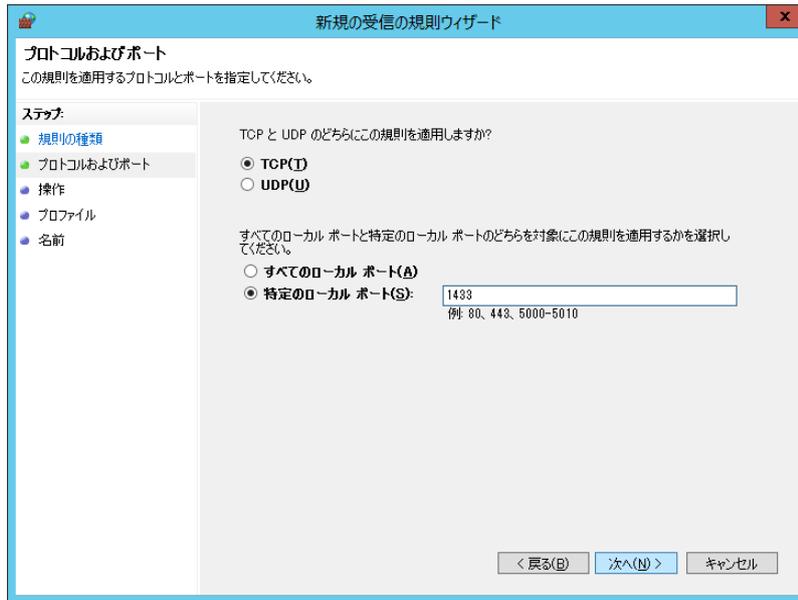
共有データベース用の「SQL Server」をインストールした Windows の OS 上で「Windows ファイアウォール」が有効な場合、他の端末からは認識することができません。この場合、Windows ファイアウォールの設定にて、プログラムまたはポートの例外を追加してください。

以下は、Windows Server 2012 での設定例です。

- ① コントロールパネルから「システムとセキュリティ」の「Windows ファイアウォール」を起動します。
- ② 「詳細設定」から「セキュリティが強化された Windows ファイアウォール」を起動します。
- ③ 「受信の規則」を選択し、[操作]-[新しい規則]から例外規則を追加します。
- ④ 規則の種類として“ポート”を選択します。



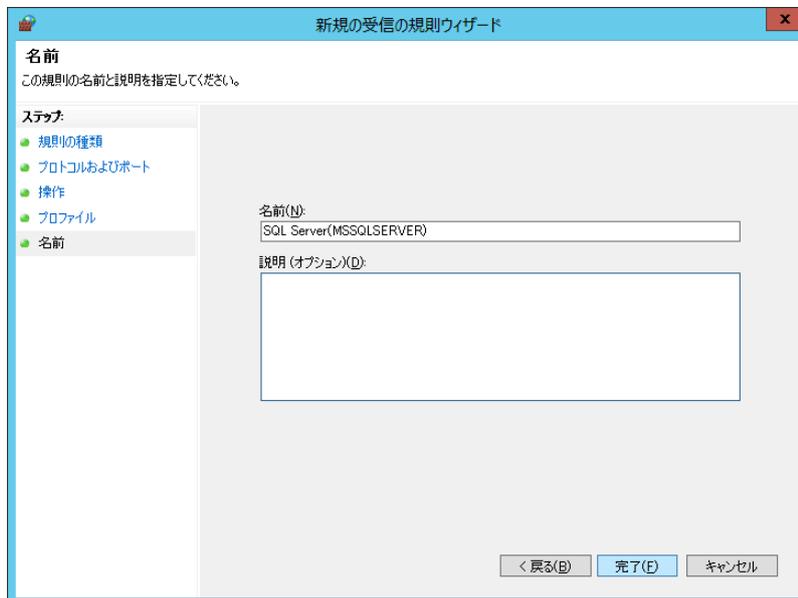
- ⑤ プロトコルおよびポートとして、“TCP”、“特定のローカルポート”を選択し、ポート番号として 1433 を入力します。



- ⑥ 操作として“接続を許可する”を選択します。
- ⑦ プロファイルとしては、社内規定が無い限りはすべてチェックオンとします。
- ⑧ 受信の規則の一覧に表示する名称を入力し、設定完了です。

(名前への入力例)

SQL Server(MSSQLSERVER)



<<このページは白紙です>>

IV. スタンドアロンライセンス (アクティベート)

1. 概要

Ver. 16 より、USB ドングルによるライセンス管理から、アクティベーション方式に変更となりました。これにより、スタンドアロンライセンスで購入された方は、必ず、「ライセンス形式の設定」から、アクティベートの作業が必要となります。

新規購入の際には、アクティベートファイルを含んだメディアが同梱されています。

ライセンスメディア内の a c f アクティベートファイルでアクティベートを行ってください。

※ アクティベートファイルは、E-Mail による添付ファイルでご提供する場合があります。

(ご注意)

アクティベートは、必ず、インターネットに接続できる環境で行って頂く必要があります。

インターネットにつながっていない場合、アクティベートはできません。

体験版で Alfatech 製品を使う場合も、必ずアクティベートの作業が必要です。

2. ライセンス形式の設定 (クライアント)

初期設定はスタンドアロンライセンス設定です。

1. ライセンスをアクティベート

1) アクティベートファイルの準備

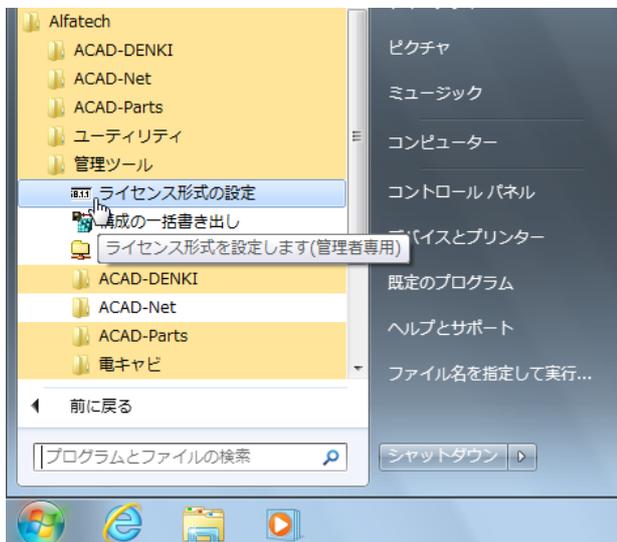
同梱されたアクティベートファイルを準備します。

※ 新規購入の際はメディアでの提供となります。再発行などでメール送付する場合があります。

2) 【ライセンス形式の設定】の起動

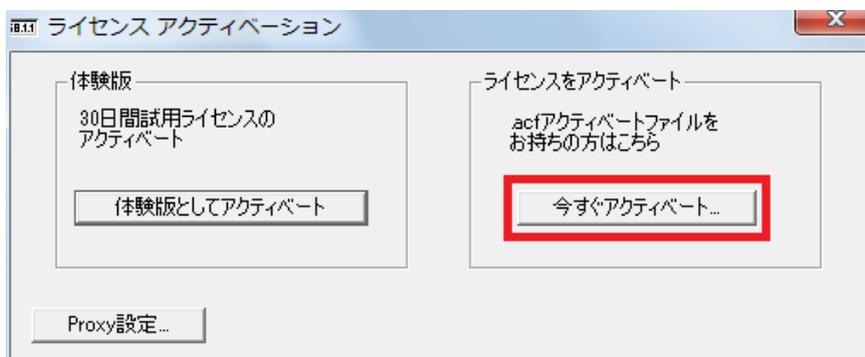
[スタート]→[すべてのプログラム]→[Alfatech]→[管理ツール]→[ライセンス形式の設定]を起動します。

(注意) 設定変更には管理者権限が必要です。



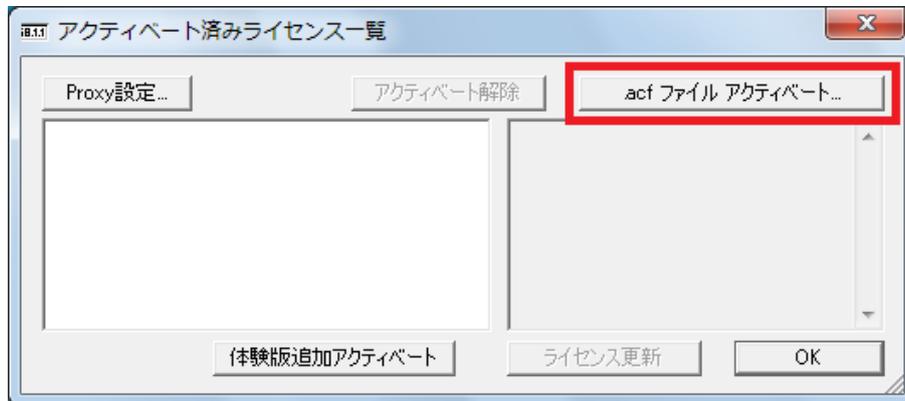
3) アクティベート作業の開始

[今すぐアクティベート]をクリックします。

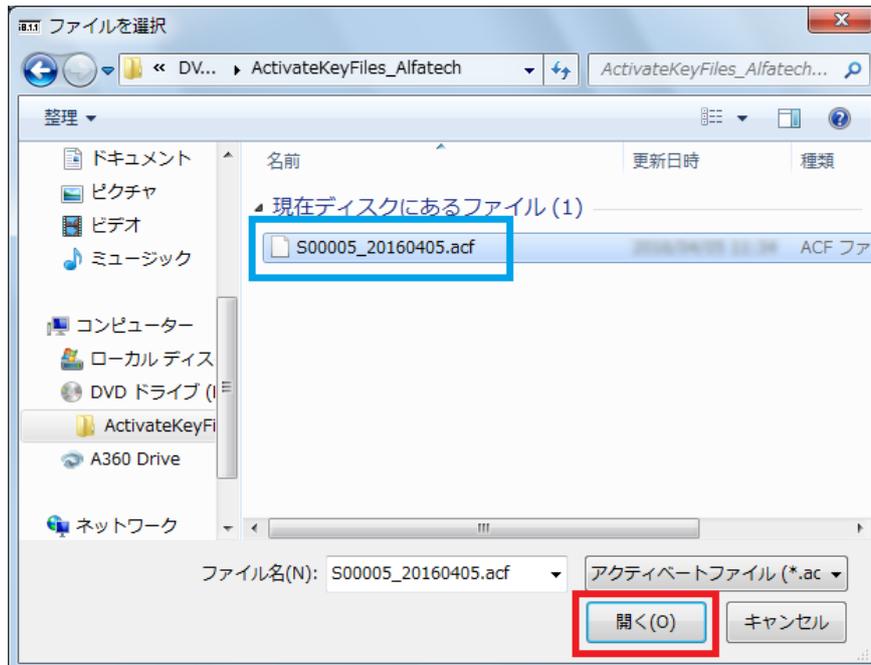


4) アクティベートファイルの選択

[.acf ファイル アクティベート]ボタンをクリックします。



[ファイルを選択]ダイアログより アクティベートファイルを選択し [開く]ボタンをクリックします。



ライセンスファイルのメディア内の license_list.txt に各アクティベートファイルに含まれる製品情報が記載されています。必ず、アクティベート作業の前に確認してください。

(補足)

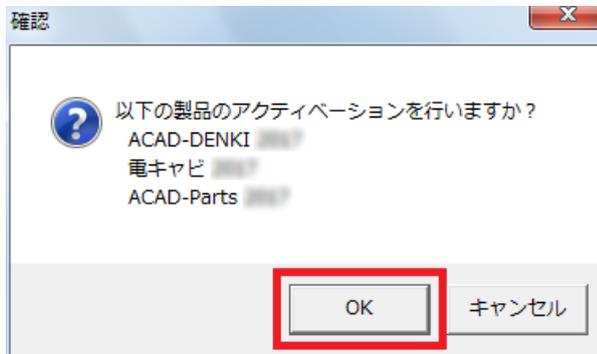
以下の製品は、1つのアクティベートファイルにまとめます。その他は、別シリアル No のアクティベートファイルを発行します。必要に応じてアクティベートファイルを読み込み、アクティベートを行ってください。

(1つのアクティベートファイルにまとめる対象製品)

ACAD-DENKI、電キャビ、ACAD-Parts、ACAD-IO、ホットマーカールink、ACAD-ELOP、
盤配線支援(2D/3D)

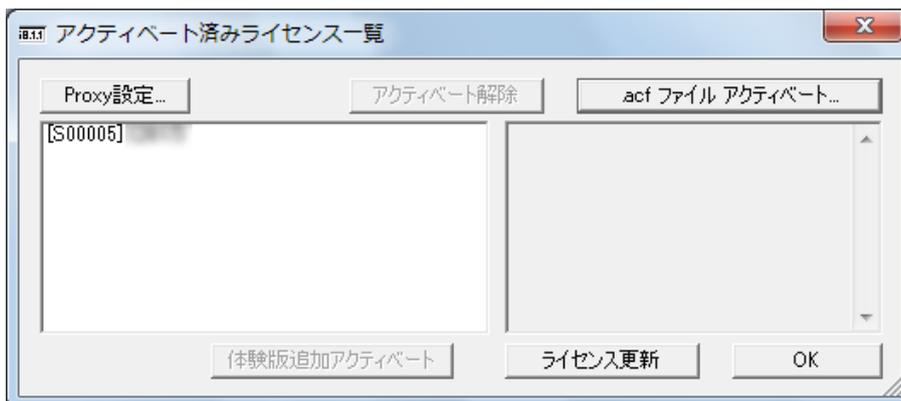
5) アクティベート製品の確認

選択したアクティベートファイルに含まれる製品名とライセンスバージョンを記載した確認メッセージが表示されます。[OK]ボタンをクリックし登録を行います。

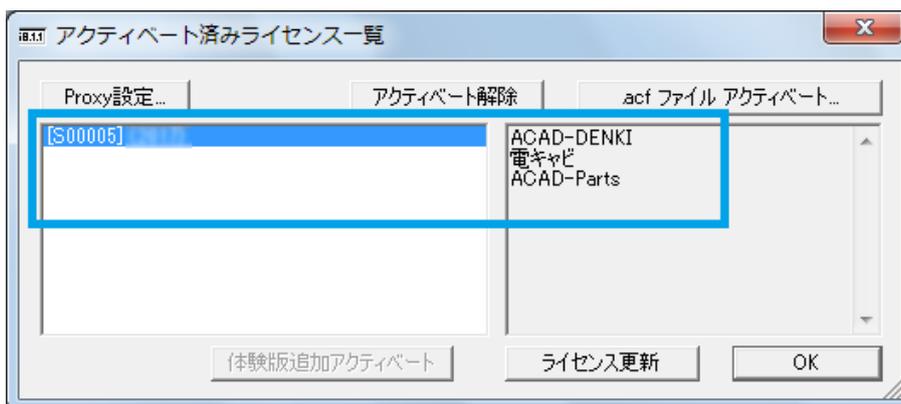


6) アクティベート情報

アクティベートされたライセンス情報が表示されます(ACAD-DENKI フルパックの例)。



左欄のシリアル番号を選択すると、右欄に含まれる製品情報が表示されます。



[OK]ボタンをクリックし、ダイアログを閉じます。

(ご注意)

インターネット接続に対して、プロキシサーバー経由の設定が必要な場合、アクティベートに失敗することがあります。

[Proxy 設定]ボタンをクリックし、プロキシサーバー設定のホスト名、ポート番号の欄に、ブラウザに登録したプロキシ設定と同じ値(種類:HTTP)の入力を行ってからアクティベートを再実行してください。



2. ライセンス更新

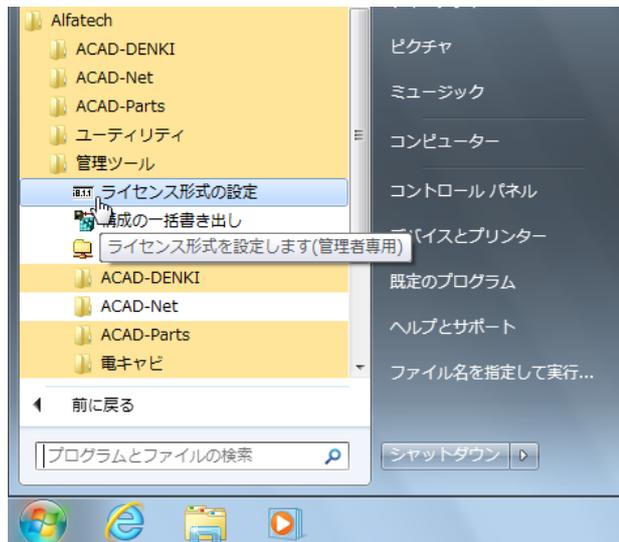
Ver.16 以降、バージョンアップ後には [ライセンス更新]の作業が必要になります。

※ 新規にインストールする場合、本作業は不要です。

1) [ライセンス形式の設定]の起動

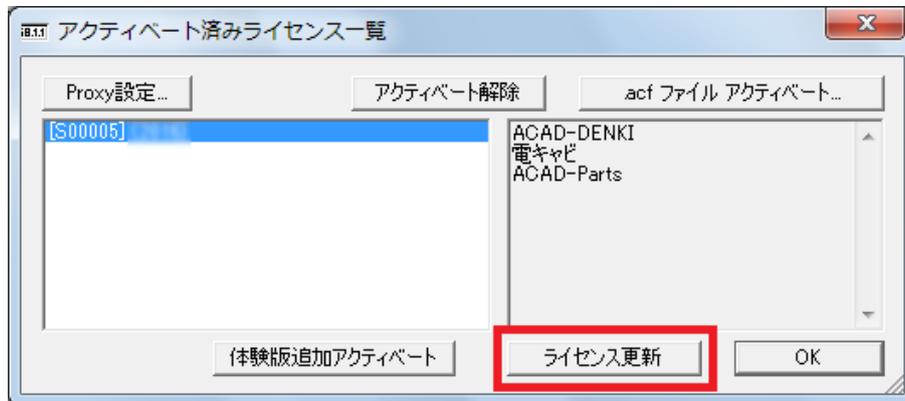
[スタート]→[すべてのプログラム]→[Alfatech]→[管理ツール]→[ライセンス形式の設定]を起動します。

(注意) 設定変更には管理者権限が必要です。



2) アクティベート済みのライセンスの更新

アクティベートされているライセンス情報が表示されます(ACAD-DENKI フルパックの例)。



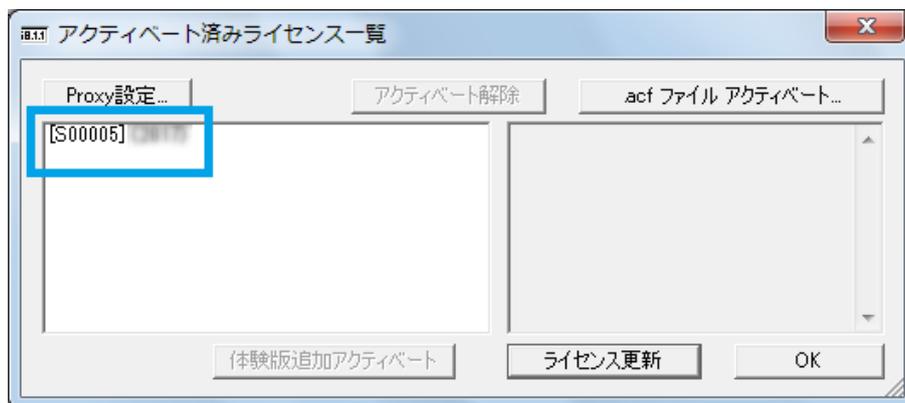
左欄のシリアル番号の右側に現在のライセンスバージョンが表示されます。

ライセンスを更新する行を選択し、[ライセンス更新]ボタンをクリックします。

※ 複数行を選択し、同時に更新することもできます。

3) アクティベート情報

左欄のシリアル番号の右側のバージョン情報が更新されます。



作業完了後、[OK]ボタンをクリックし、ダイアログを閉じます。

(ご注意)

ライセンス更新を実行してもインストール製品のバージョンに変わらない場合、ライセンスを購入(バージョンアップ)されていないか、アクティベーションサーバーにトラブルが発生している可能性があります。ご不明な点、および購入ライセンスの確認については、弊社サポート宛までご連絡ください。

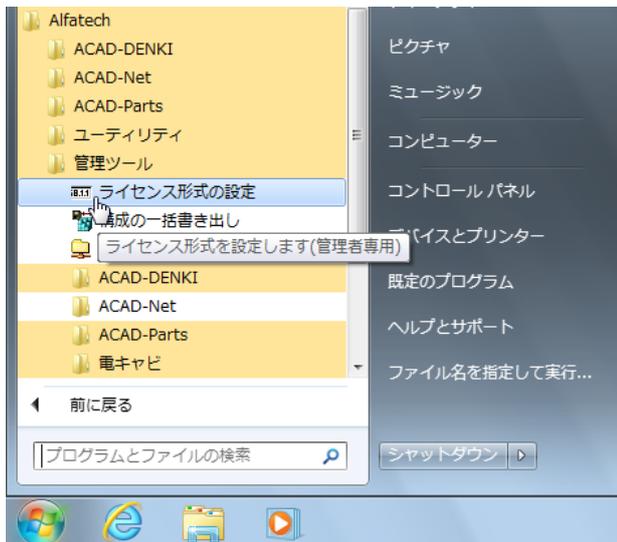
3. アクティベート解除

別の PC にライセンスを移動する場合にアクティベート解除の作業を行います。

1) 【ライセンス形式の設定】の起動

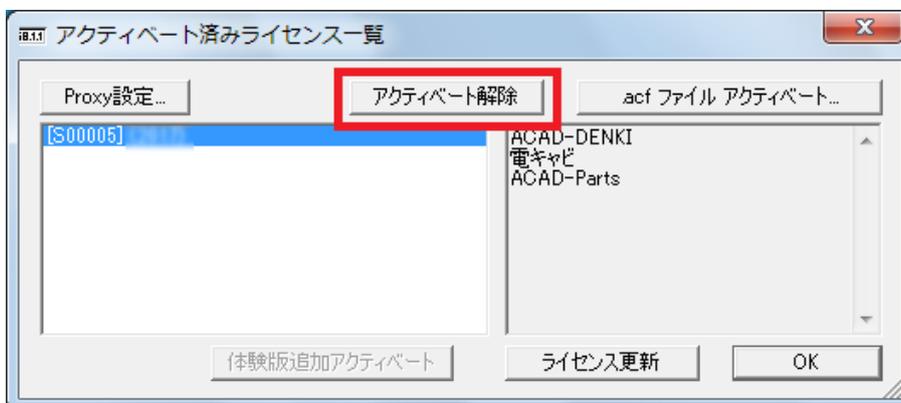
[スタート]→[すべてのプログラム]→[Alfatech]→[管理ツール]→[ライセンス形式の設定]を起動します。

(注意) 設定変更には管理者権限が必要です。



2) アクティベート解除するライセンスの選択

アクティベートされているライセンス情報が表示されます(ACAD-DENKI フルパックの例)。



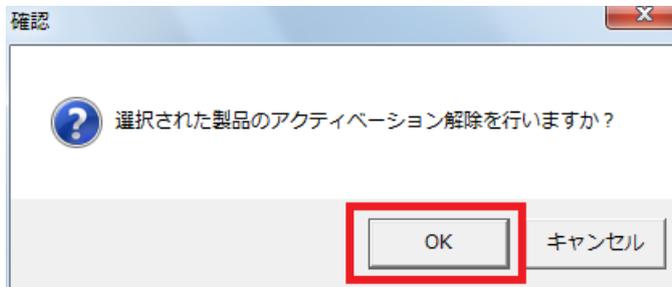
解除するライセンス情報の行を選択し、[アクティベート解除]ボタンをクリックします。

※ 複数行を選択し、同時に解除することもできます。

3) アクティベート解除の確認

アクティベート解除の実行確認のメッセージを表示します。

[OK]ボタンをクリックすると、解除されます。



4) アクティベート情報

選択したライセンス情報のアクティベートが解除され、一覧から削除されます。



作業完了後、[OK]ボタンをクリックし、ダイアログを閉じます。

(ご注意)

アクティベート解除しないで、PCを破棄などした場合、新しいPCでのアクティベートはできません。

必ず、アクティベート解除の作業を行ってください。

もし、お客様の方でアクティベート解除ができない状況が発生した場合、書面によるアクティベート解除の手続きを行っていただくことになります。

ご不明な点は、弊社サポート宛までご連絡ください。

(アクティベート強制解除の手続きの概要)

- 1) 弊社ホームページより解除申請書をダウンロードする。
- 2) 必要事項を記入し、捺印後にメールまたは FAX 送信する。
- 3) 弊社にて申請内容を確認した後、アクティベートの強制解除を実施する。
- 4) メールにて解除を連絡する。

<<このページは白紙です>>

V. フローティングライセンス
(FlexNet ライセンス管理サービス)

1. インストール(サーバー)

1. 動作環境

ネットワークライセンス管理として FlexNet Publisher (Version 11.13.1.2) を採用しています。

- OS : 以下の OS の 32 ビット版及び 64 ビット版をそれぞれサポートします。
- 日本語版 Windows Server 2012 R2
 - 日本語版 Windows Server 2012
 - 日本語版 Windows Server 2008 R2 SP1 以降
 - 日本語版 Windows Server 2008 SP1 以降 (64 ビットは SP2 以降)
 - 日本語版 Windows 10
 - 日本語版 Windows 8 / 8.1
 - 日本語版 Windows 7 SP1 以降
- OS は、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2008、Windows Server 2008 の各サーバー OS を推奨します。
- 冗長型ライセンスサーバーは、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008 環境のみサポートします。Windows 10 / Windows 8, 8.1 / Windows 7 はサポートしていません。
- CPU : Pentium 4 以上 1.2GHz (最低)
- ネットワーク インターフェース カード (NIC) 必須
- プロトコル : TCP/IP (IPv4)
- 仮想環境 : FlexNet Publisher のリリースノート記載サポート
- VMware Workstation 10
 - VMware ESXi 5.5
 - Citrix XenServer 6.2
 - Microsoft Hyper-V
 - Windows Server 2012

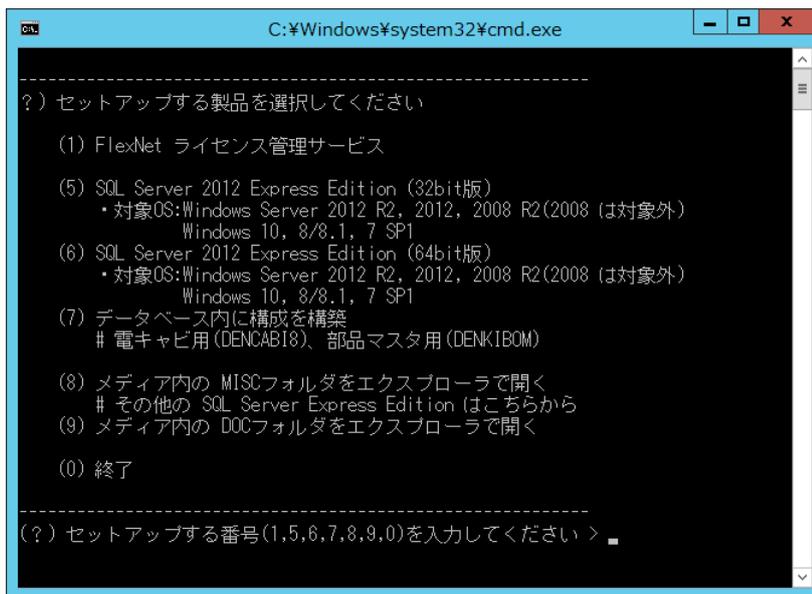
2. FlexNet ライセンス管理サービスのインストール

※分散、冗長サーバー構成で運用する場合、すべての対象サーバーに対してインストール作業を行ってください。

1) コマンドプロンプトの起動

FlexNet ライセンス管理サービスをインストールするサーバーDVDドライブに「ライセンス管理サービス」のメディア※を挿入します。

Install.bat の起動後、以下の画面を表示します。



```
C:\Windows\system32\cmd.exe

? ) セットアップする製品を選択してください

(1) FlexNet ライセンス管理サービス
(5) SQL Server 2012 Express Edition (32bit版)
    ・対象OS:Windows Server 2012 R2, 2012, 2008 R2(2008 は対象外)
      Windows 10, 8/8.1, 7 SP1
(6) SQL Server 2012 Express Edition (64bit版)
    ・対象OS:Windows Server 2012 R2, 2012, 2008 R2(2008 は対象外)
      Windows 10, 8/8.1, 7 SP1
(7) データベース内に構成を構築
    # 電キャビ用 (DENCABI8)、部品マスタ用 (DENKIBOM)
(8) メディア内の MISCフォルダをエクスプローラで開く
    # その他の SQL Server Express Edition はこちらから
(9) メディア内の DOCフォルダをエクスプローラで開く

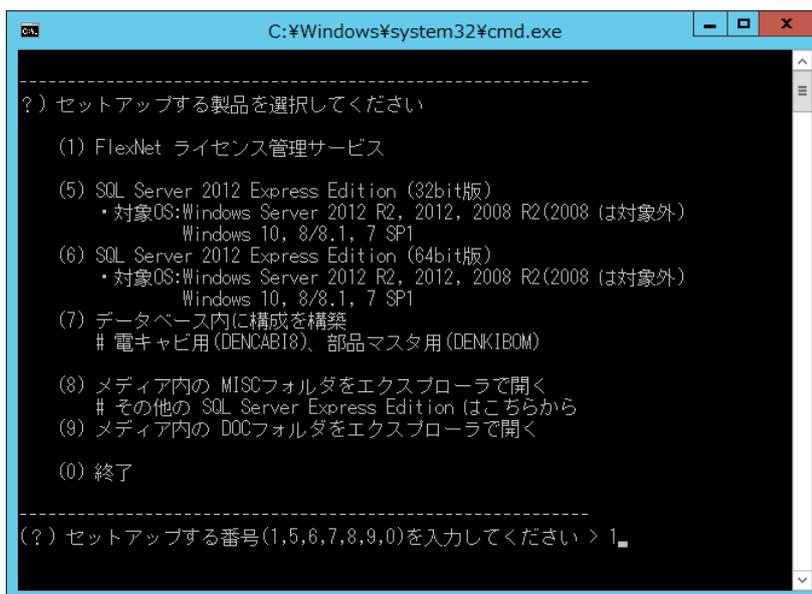
(0) 終了

( ? ) セットアップする番号(1,5,6,7,8,9,0)を入力してください > _
```

※ 上記は「SQLServer 接続設定を含む」のメディアの画面構成です。

2) セットアップする番号を入力

セットアップする番号に 1 を入力し、Enter を押します。



```
C:\Windows\system32\cmd.exe

? ) セットアップする製品を選択してください

(1) FlexNet ライセンス管理サービス
(5) SQL Server 2012 Express Edition (32bit版)
    ・対象OS:Windows Server 2012 R2, 2012, 2008 R2(2008 は対象外)
      Windows 10, 8/8.1, 7 SP1
(6) SQL Server 2012 Express Edition (64bit版)
    ・対象OS:Windows Server 2012 R2, 2012, 2008 R2(2008 は対象外)
      Windows 10, 8/8.1, 7 SP1
(7) データベース内に構成を構築
    # 電キャビ用 (DENCABI8)、部品マスタ用 (DENKIBOM)
(8) メディア内の MISCフォルダをエクスプローラで開く
    # その他の SQL Server Express Edition はこちらから
(9) メディア内の DOCフォルダをエクスプローラで開く

(0) 終了

( ? ) セットアップする番号(1,5,6,7,8,9,0)を入力してください > 1_
```

以下の確認メッセージを表示することがあります。

[はい]ボタンをクリックし、実行してください。



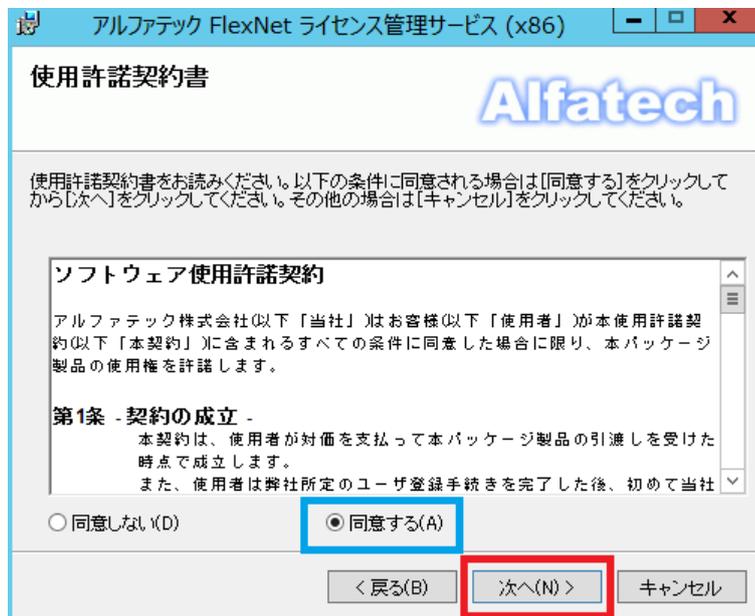
3) インストーラの起動

次に、以下のウィンドウが表示されますので、[次へ(N)>]ボタンをクリックします。



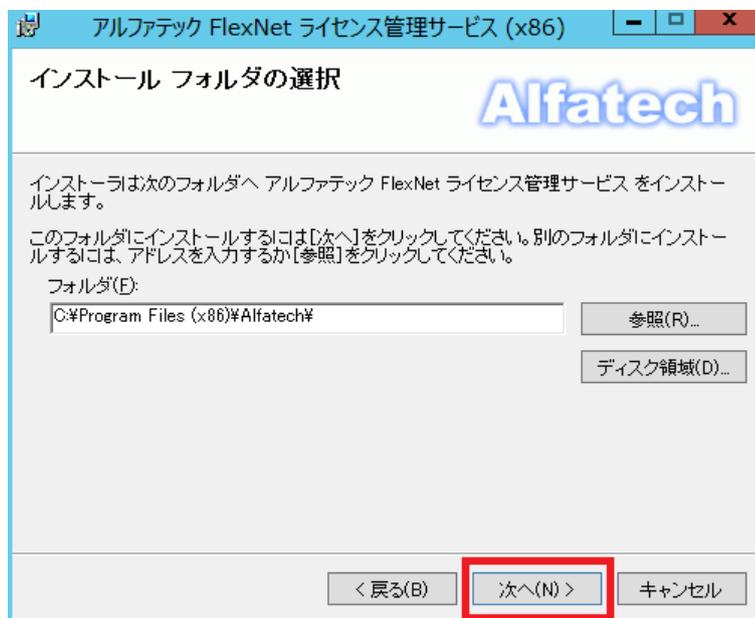
4) 使用許諾契約

本ソフトをご使用いただくためには、ソフトウェア使用許諾契約のすべての条項に同意していただく必要があります。ソフトウェア使用許諾契約を注意深くお読みください。



すべての条項に同意いただける場合は **[同意する (A)]** を選択し、**[次へ (N) >]** ボタンをクリックします。

5) インストールするフォルダの選択



インストールするフォルダを選択し、**[次へ (N) >]** ボタンをクリックします。

※上図は 64bitOS 上にインストールした場合のインストールフォルダ名です。

6) インストールの確認



【次へ (N) >】ボタンをクリックすると、インストールが始まります。

7) インストールの完了



FlexNet ライセンス管理サービスのインストールは完了です。

【閉じる (C)】ボタンをクリックし、インストーラを終了します。

なお、コンピュータの状態によっては再起動を促す画面が表示されることがあります。

このときは必ず OS を再起動してください。

また、最初のセットアップする製品の選択画面に戻りますので、終了してください。

2. ライセンスサービスの起動(サーバー)

※分散、冗長サーバー構成で運用する場合、すべての対象サーバーで作業してください。

1. ライセンスファイルのコピー

取得したライセンスファイルを、各サーバーの「アルファテック FlexNet ライセンス管理サービス」のインストール先フォルダ (64bitOS での例 : C:\Program Files (x86)\Alfatech\AlfatechFL) 以下にコピーします。

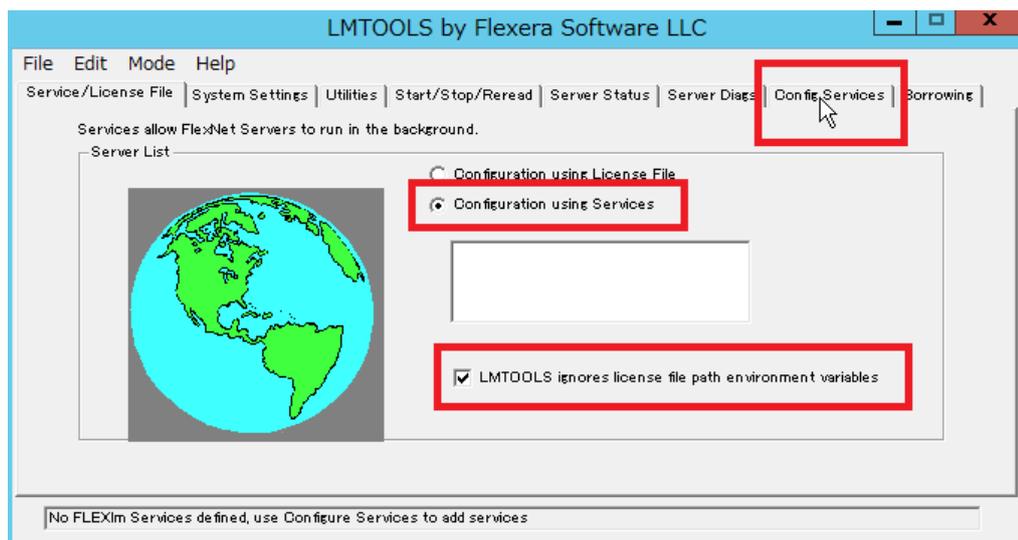
2. LMTOOLS の実行

[スタート]ボタンから [Alfatech]-[アルファテック FlexNet ライセンス管理サービス]-[LMTOOLS] または、アプリの一覧から [Alfatech]-[LMTOOLS] をクリックします。

3. LMTOOLS の設定開始

「Service/License File」タブにて「Configuration using Services」が選択されていることを確認し、「LMTOOLS ignores license file path environment variable」にチェックを入力します。

「Config Services」タブをクリックします。



4. Config Services の設定

以下のとおり各種設定を行います。

「Service Name」として任意の名前を入力する。(例 : Alfatech Flexlm)

「Path to the lmgrd.exe file」の [Browse] ボタンをクリックし、lmgrd.exe を選択する。
(64bitOS の例 : C:\Program Files (x86)\Alfatech\AlfatechFL\lmgrd.exe)

「Path to license file」の [Browse] ボタンをクリックし、ライセンスファイルを選択する。
(64bitOS の例 : C:\Program Files (x86)\Alfatech\AlfatechFL\Lic\licfile.lic)

「Path to the debug log file」の欄に、デバッグログファイルの出力先を入力する。
(例： C:\ProgramData\AlfatechFL\log.log)

指定された .log ファイルが存在しない場合は新たに作成されます。

※ 開くダイアログで新規のログファイル名を入力する場合、ファイル名の入力欄には、拡張子(.log)を含むファイル名(例：log.log)を入力してください。

すでに存在する場合はサービスの再起動時に既存ファイルを上書きします。
また、ログファイルの出力先フォルダは実在する必要があります。

※ 追加書き込みを行う場合は、パス名の先頭に + を付与してください。
ただし、[View Log...]ボタンからのログ内容の確認が出来なくなります。
(例： +C:\ProgramData\AlfatechFL\log.log)

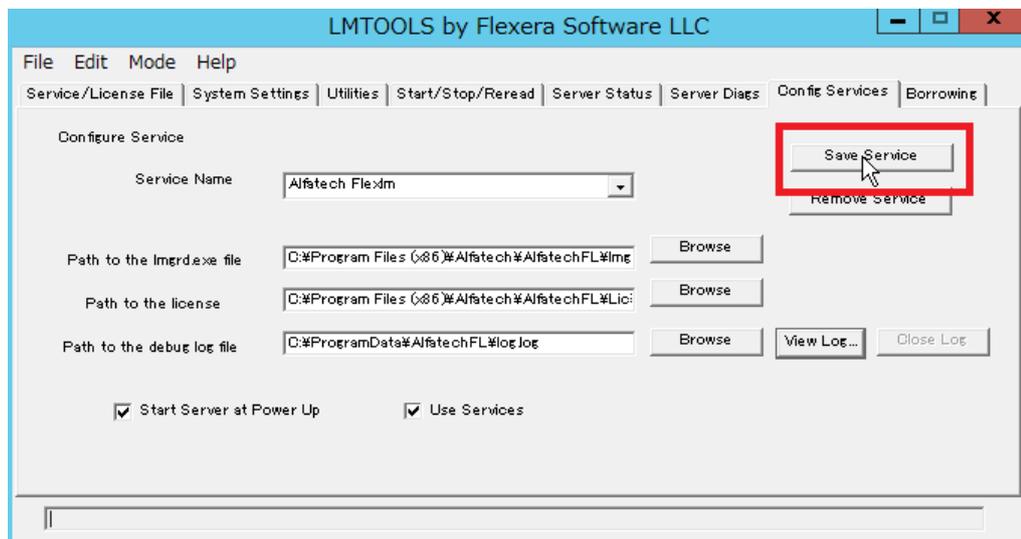
「Use Services」をチェックする。

「Use Services」をチェックすることにより、Network License Manager がサービスとして動作します。

「Start Server at Power Up」をチェックする。

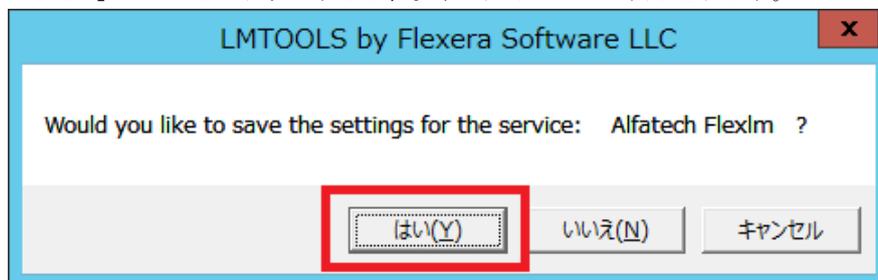
「Start Server at Power Up」をチェックすることにより、OS 起動時に Network License Manager が自動的に起動されます。

[Save Service] ボタンをクリックする。



5. サービスの設定値の保存

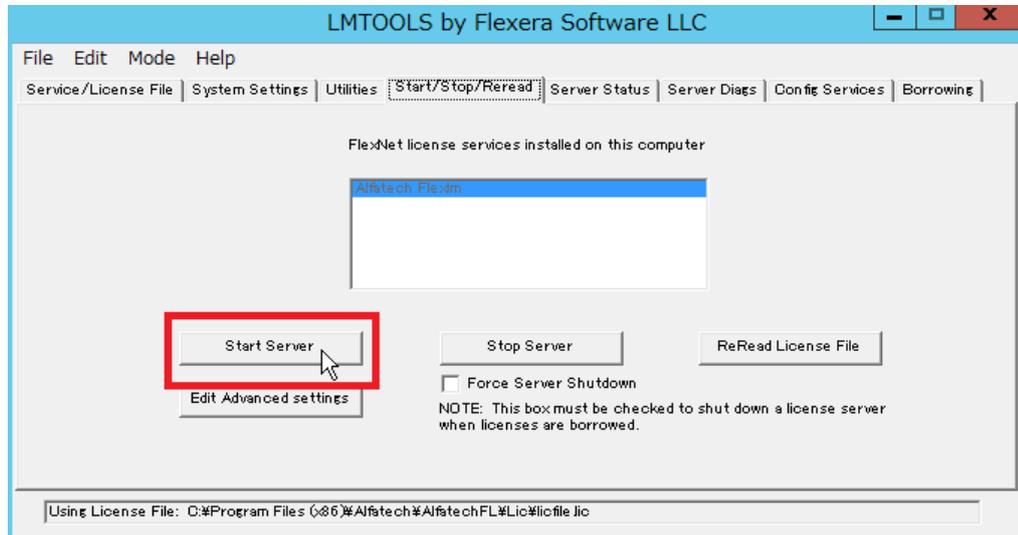
[Save Service] ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示されます。



[はい(Y)]ボタンをクリックし、設定値を保存します。

6. サービスの開始

「Start/Stop/Reread」タブを選択して、「Start Server」ボタンをクリックする。



ここまでの作業を、すべての対象サーバーにて実施し、次の動作確認を行ってください。

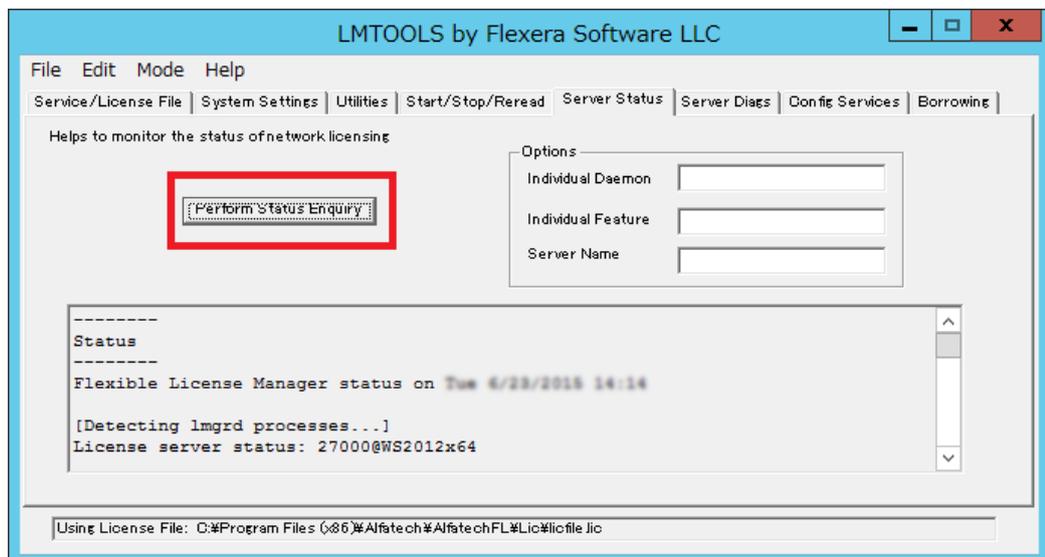
7. 動作確認

ライセンスサービスが正常に起動しているかを確認します。

※冗長サーバー構成の場合は、すべてのサーバーの設定を終えてから確認してください。

「Server Status」タブを選択する。

「Perform Status Enquiry」ボタンをクリックする。



ライセンスの状態が表示されます。正常な場合、トータルのライセンス数などが確認できます。

3. Windows ファイアウォールの設定(サーバー)

ライセンスサーバー上の Windows ファイアウォールが有効な場合、インストール先の 2 つのプログラム (lmgrd.exe、alfaflex.exe) の例外登録が必要です。

alfaflex.exe については、ライセンスファイル内に使用するポート番号が記載されています。

lmgrd.exe については、原則として冗長構成の場合のみライセンスファイル内に使用するポート番号が記載されています。シングル、分散構成の場合は LMT00L にて使用ポート番号を確認してください。

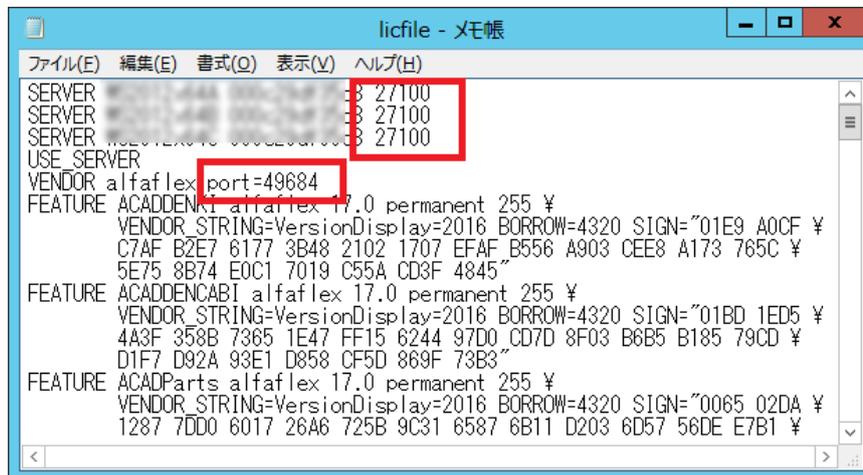
※分散、冗長サーバー構成で運用する場合、すべての対象サーバーで作業してください。

1. ポート番号の確認

取得したライセンスファイル(.lic)をメモ帳で開き、ポート番号を確認します。

(冗長サーバー構成の例)

SERVER の行末に lmgrd.exe 用のポート番号、VENDOR の行末に alfaflex.exe 用のポート番号



```
licfile - メモ帳
ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
SERVER 27100
SERVER 27100
SERVER 27100
USE_SERVER
VENDOR alfaflex port=49684
FEATURE ACADDENK1 alfaflex 17.0 permanent 255 ¥
VENDOR_STRING=VersionDisplay=2016 BORROW=4320 SIGN="01E9 A0CF ¥
C7AF B2E7 6177 3B48 2102 1707 EFAF B556 A903 CEE8 A173 765C ¥
5E75 8B74 E0C1 7019 C55A CD3F 4845"
FEATURE ACADDENCABI alfaflex 17.0 permanent 255 ¥
VENDOR_STRING=VersionDisplay=2016 BORROW=4320 SIGN="01BD 1ED5 ¥
4A3F 358B 7365 1E47 FF15 6244 97D0 CD7D 8F03 B8B5 B185 79CD ¥
D1F7 D92A 93E1 D858 CF5D 869F 73B3"
FEATURE ACADParts alfaflex 17.0 permanent 255 ¥
VENDOR_STRING=VersionDisplay=2016 BORROW=4320 SIGN="0065 02DA ¥
1287 7DD0 6017 26A6 725B 9C31 6587 6B11 D203 6D57 56DE E7B1 ¥
```

(シングル構成の例)



```
licfile - メモ帳
ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
SERVER
USE_SERVER
VENDOR alfaflex port=49684
FEATURE ACADDENK1 alfaflex 17.0 permanent 255 ¥
VENDOR_STRING=VersionDisplay=2016 BORROW=4320 SIGN="01E9 A0CF ¥
C7AF B2E7 6177 3B48 2102 1707 EFAF B556 A903 CEE8 A173 765C ¥
5E75 8B74 E0C1 7019 C55A CD3F 4845"
FEATURE ACADDENCABI alfaflex 17.0 permanent 255 ¥
VENDOR_STRING=VersionDisplay=2016 BORROW=4320 SIGN="01BD 1ED5 ¥
4A3F 358B 7365 1E47 FF15 6244 97D0 CD7D 8F03 B8B5 B185 79CD ¥
D1F7 D92A 93E1 D858 CF5D 869F 73B3"
FEATURE ACADParts alfaflex 17.0 permanent 255 ¥
VENDOR_STRING=VersionDisplay=2016 BORROW=4320 SIGN="0065 02DA ¥
1287 7DD0 6017 26A6 725B 9C31 6587 6B11 D203 6D57 56DE E7B1 ¥
```

※ご注意※

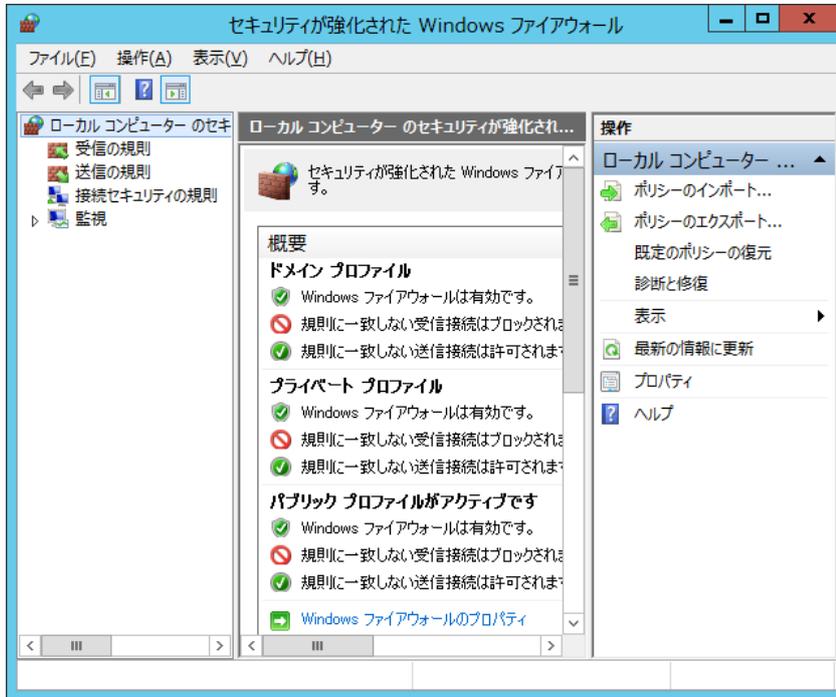
確認後のファイルは必ず破棄終了してください。

上書き保存すると、ライセンスが認識できなくなり、ライセンスファイルの再発行が必要となります。

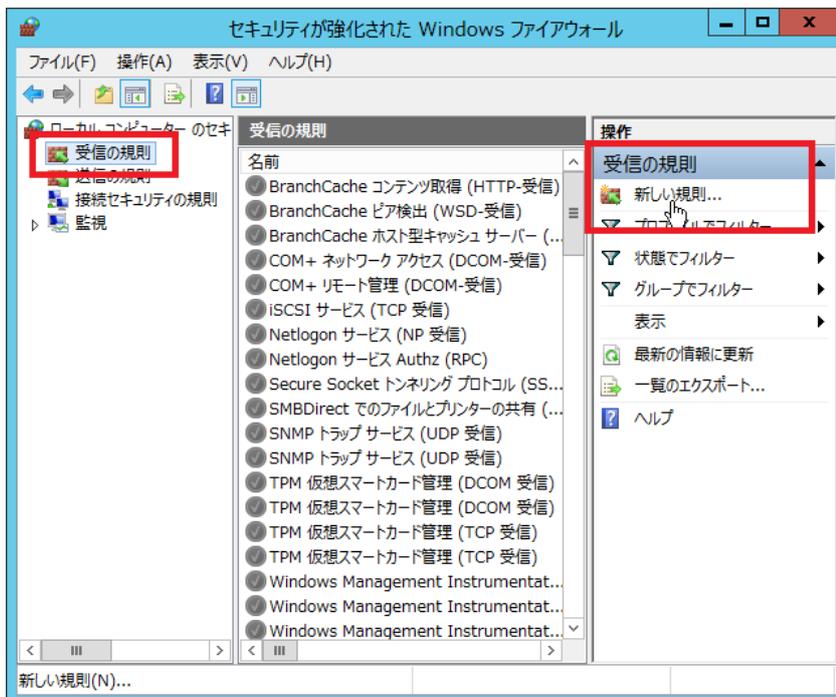
2. Windows ファイアウォールへの例外登録

以下は Windows Server 2012 での操作例です。

[管理ツール] から [セキュリティが強化された Windows ファイアウォール] を実行します。

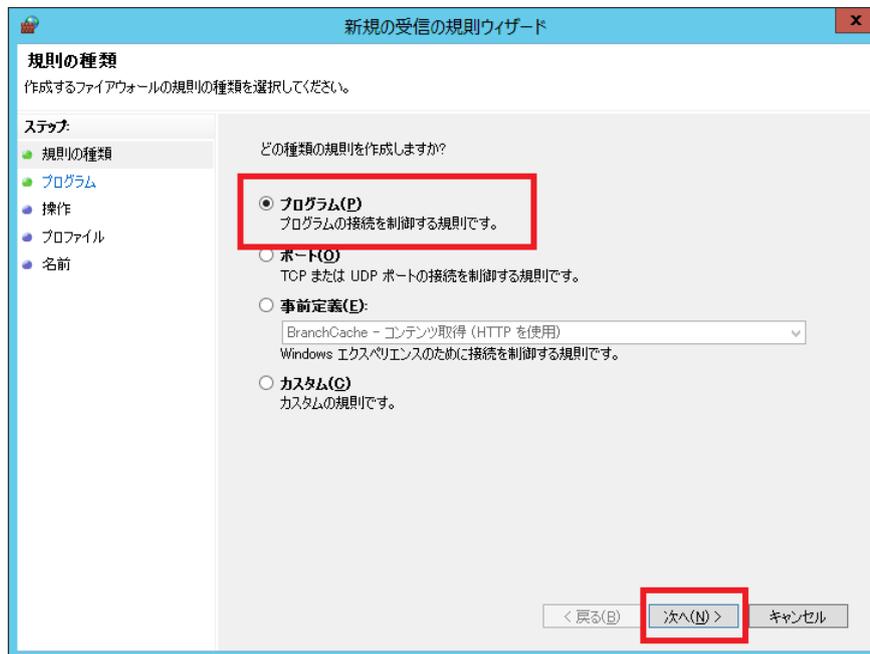


[受信の規則] を選択し [新しい規則] をクリックします。



画面にしたがって登録作業を行います。

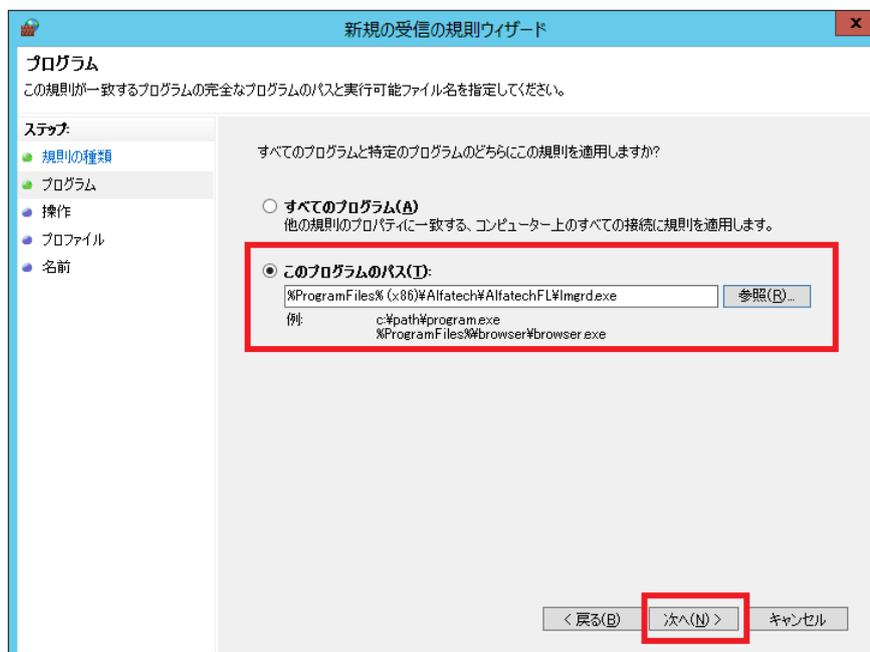
[プログラム(P)]を選択し [次へ] ボタンをクリックします。



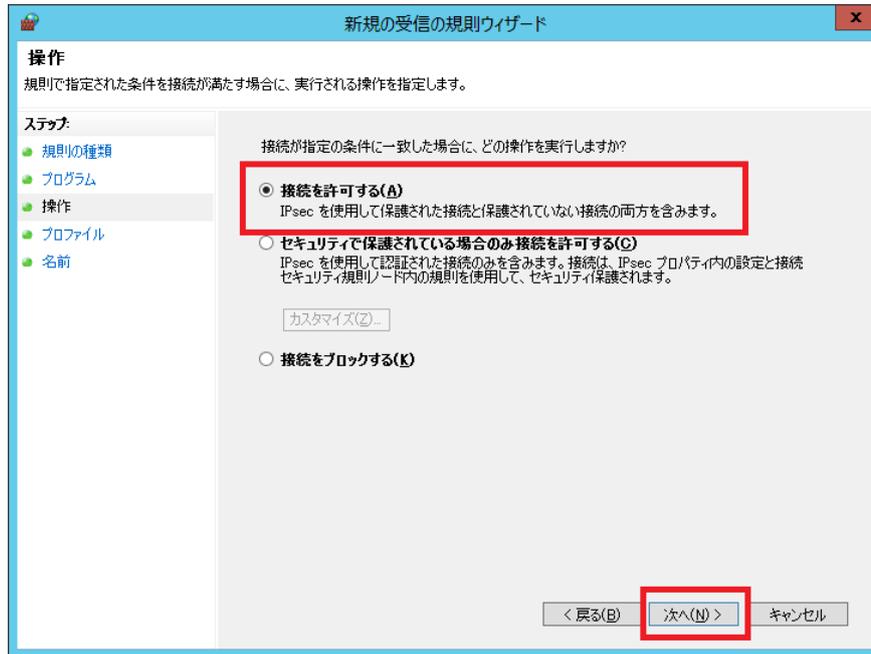
[このプログラムのパス(T)]を選択、[参照]ボタンをクリックしインストール先の lmgrd.exe を選択します。

パスの指定後、[次へ]ボタンをクリックします。

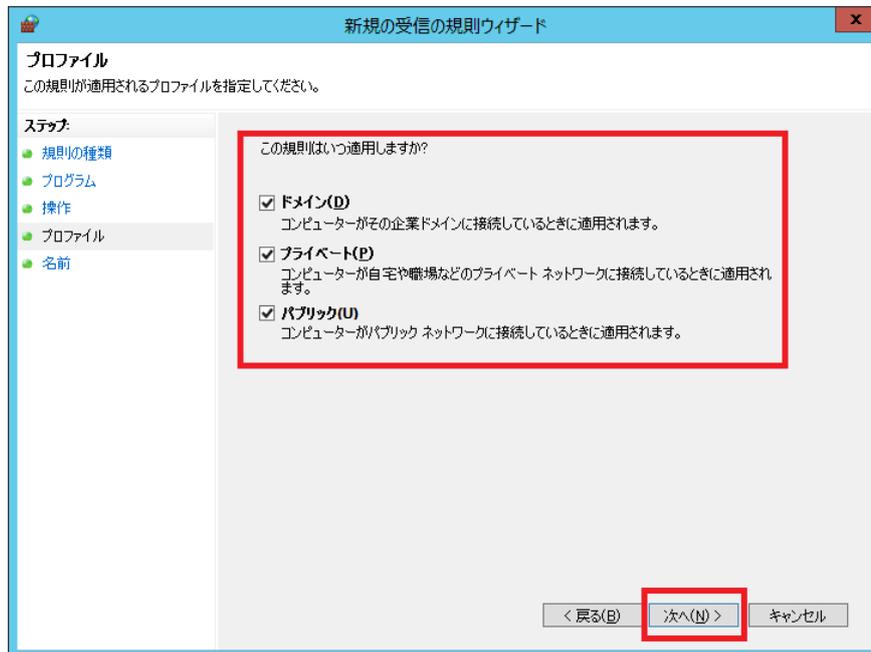
(64bitOS の例) C:\Program Files (x86)\Alfatech\AlfatechFL\lmgrd.exe



[接続を許可する] を選択し [次へ] ボタンをクリックします。

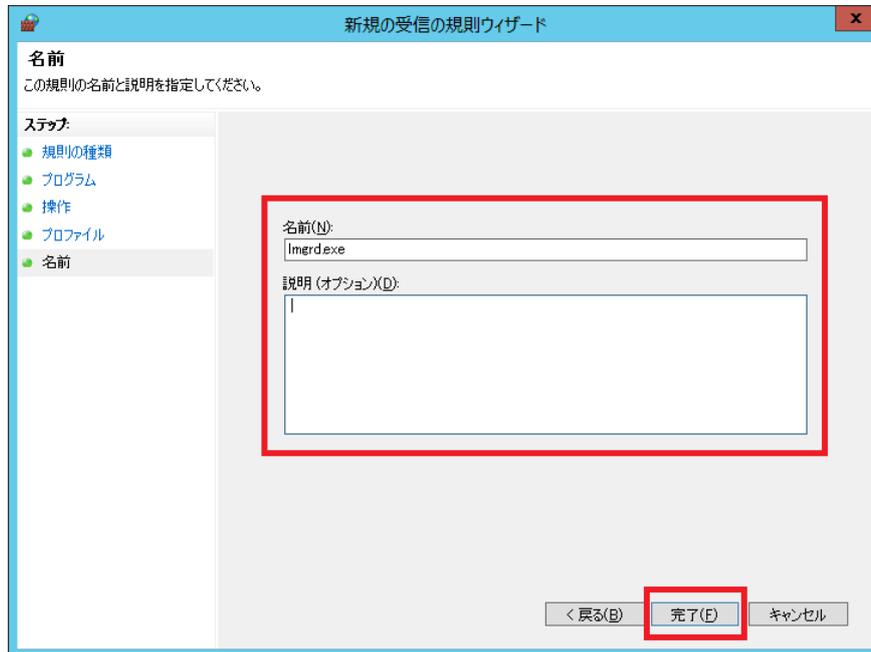


適用するプロファイルにチェックを付け [次へ] ボタンをクリックします。

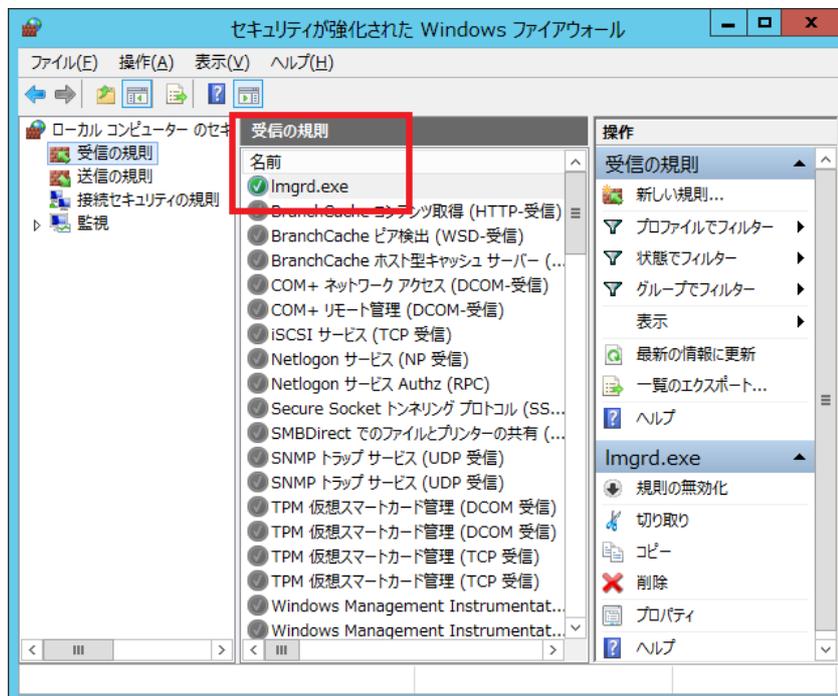


[受信の規則]の一覧に表示する [名前] と [説明] を入力し、[完了] ボタンをクリックします。

(例 : 名前 : lmgrd.exe)



[受信の規則] の名前の一覧に規則が登録されます。

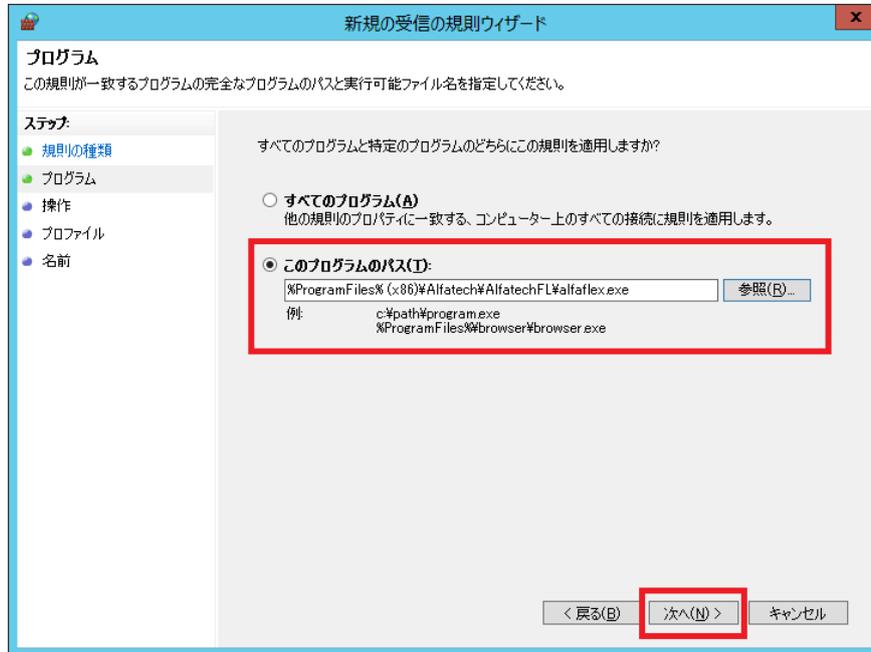


alfaflex.exe も同様に [受信の規則] に対して [新しい規則] として登録します。

[プログラム]の[このプログラムのパス(T)] を選択、[参照]ボタンをクリックしインストール先の alfaflex.exe を選択します。

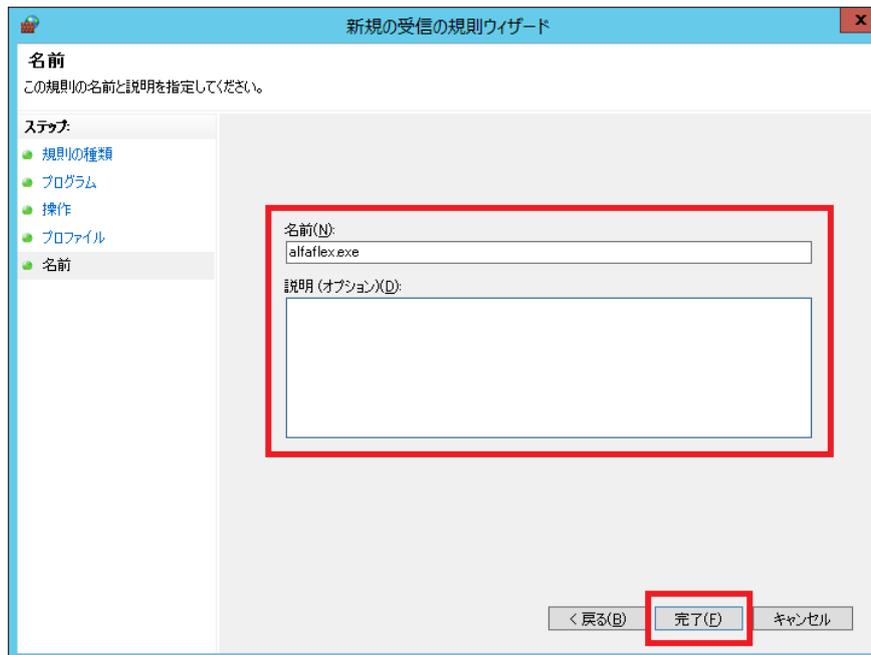
パスの指定後、[次へ]ボタンをクリックします。

(64bitOS の例) C:\Program Files (x86)\Alfatech\AlfatechFL\alfaflex.exe

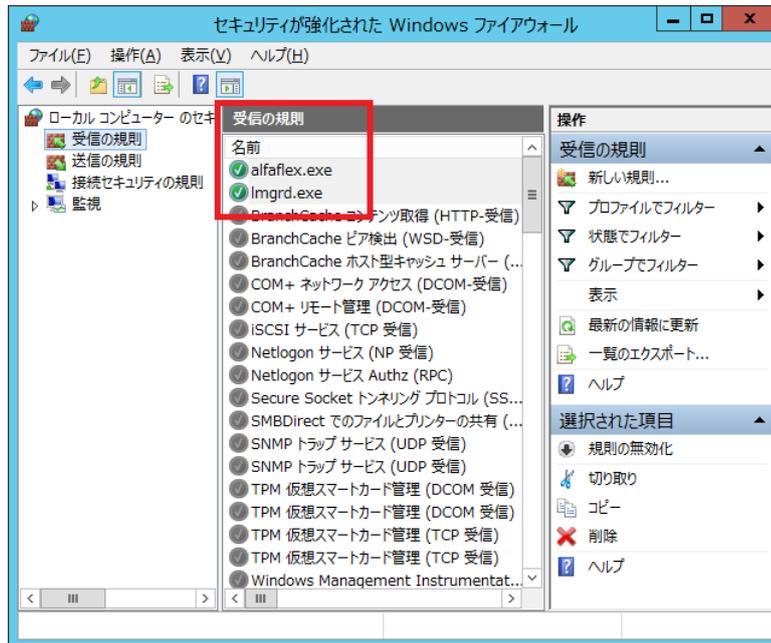


[受信の規則]の一覧に表示する [名前] と [説明] を入力し、[完了]ボタンをクリックします。

(例： 名前： alfaflex.exe)



[受信の規則] の名前の一覧に規則が登録されます。



4. ライセンス形式の設定(クライアント)

初期設定はスタンドアロンライセンス設定です。

ネットワークライセンス (FlexNet) で使う場合、ライセンスサーバーの構成の指定、ライセンスサーバーの入力などの設定を行います。

本設定はクライアントごとに行う必要があります。

ただし、本設定情報を含んだネットワークインストーラでインストールした場合、以降の設定作業は不要です。

1. フローティングライセンスの設定

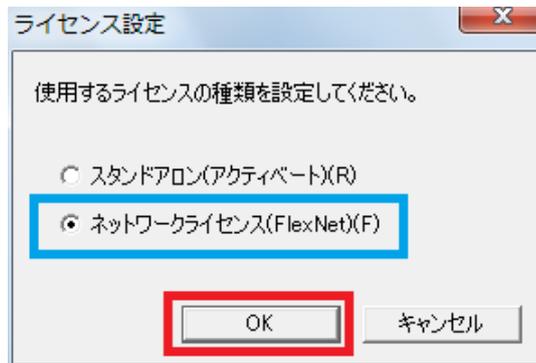
1) ライセンス設定の変更

以下のファイルを実行し、ライセンス設定の変更を行ないます。

(実行ファイル)

32bit 版の場合:C:\Program Files\Common Files\Alfatech\alfaNetworkLicenseType_v16.exe

64bit 版の場合:C:\Program Files (x86)\Common Files\Alfatech\alfaNetworkLicenseType_v16.exe

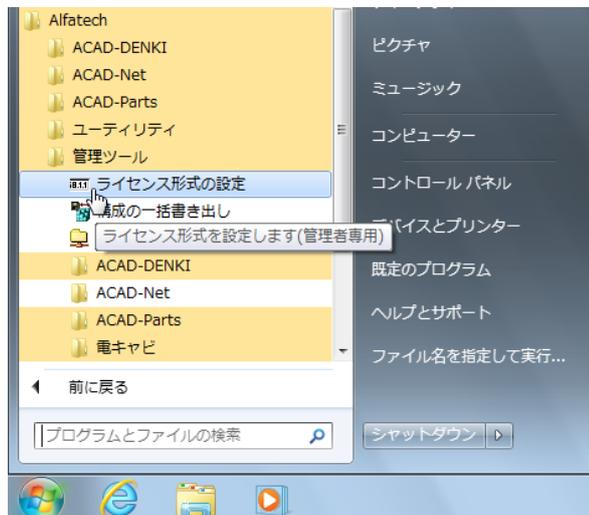


2) 【ライセンス形式の設定】の起動

[スタート]→[すべてのプログラム]→[Alfatech]→[管理ツール]→[ライセンス形式の設定]を起動します。

(注意)

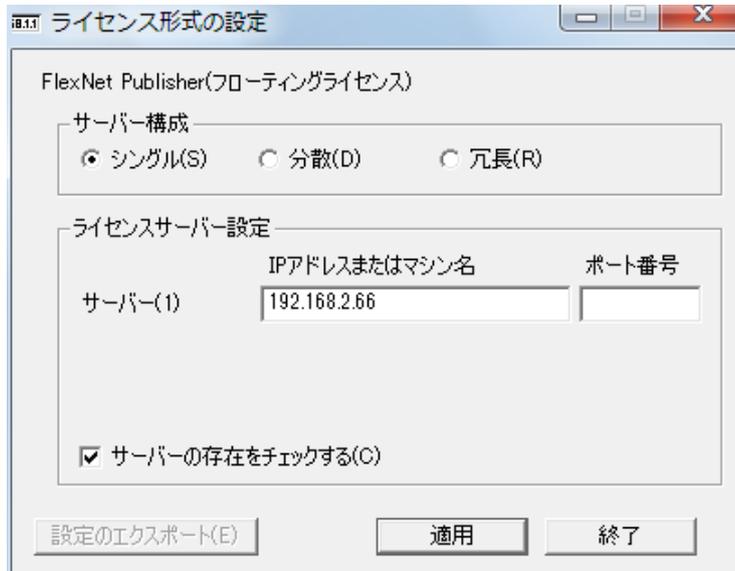
設定変更には管理者権限が必要です。



「サーバー構成」、「ライセンスサーバー設定」の指定作業を行い、[適用]ボタンをクリックします。

※ご注意※

[終了]ボタンは編集した設定内容を保存しないでダイアログを閉じます。



(例)シングルサーバー構成、IP アドレス: 192.168.2.66 、ポート番号: 指定なし の場合

[サーバー構成]

“シングル”、“分散”、“冗長” から選択します。

発行されているライセンス情報に基づいて選択してください。

[ライセンスサーバー設定]

ライセンスサーバーの IP アドレス(マシン名)とライセンスファイル記載のポート番号を入力します。

ライセンスファイルにポート番号の記載がない場合はポート番号の入力は不要です。

サーバー構成によって、登録するサーバー情報の数が変わります。

[サーバーの存在をチェックする]

適用ボタンをクリックした際に登録サーバー上で適切にサービスが起動しているかを確認します。

チェックを付けずに適用ボタンをクリックした場合、登録情報を作業クライアントに適用するだけです。

[適用]のあと、[閉じる]ボタンをクリックして、ライセンス形式の設定を終了してください。

2. ライセンスモニタによる確認

[スタート]→[プログラム]→[Alfatech]→[ユーティリティ]→[ライセンスモニタ]を起動します。
サーバと通信が正常に行われている場合、ライセンスサーバの状態が表示されます。

アプリケーション名	バージョン	ライセン...	使用数
<input checked="" type="checkbox"/> ACAD-DENKI	2017	255	2
<input type="checkbox"/> 電キヤビ	2017	255	2
<input type="checkbox"/> ACAD-Parts	2017	255	0
<input type="checkbox"/> ACAD-IO	2017	255	0
<input type="checkbox"/> ACAD-DENKI ホットマーカリンク	2017	255	0
<input type="checkbox"/> ACAD-DENKI コンバータ(E)	2017	255	0
<input type="checkbox"/> ACAD-EL(オプション版)	2017	255	0

ライセンスサーバ : @192.168.2.66 最終更新時刻 : 2016/12/22 15:24:00

※お客様の環境や購入ライセンス数によって、「アプリケーション名」、「ライセンス数」、「ライセンスサーバ」などの表示情報は異なります。

ライセンスモニタはアプリケーションごとのライセンス数を表示します。

(借用中のライセンス表示について)

「ライセンスの借用」が行われている場合、使用数の欄には借用分のライセンスを常にカウントした値が表示されます。

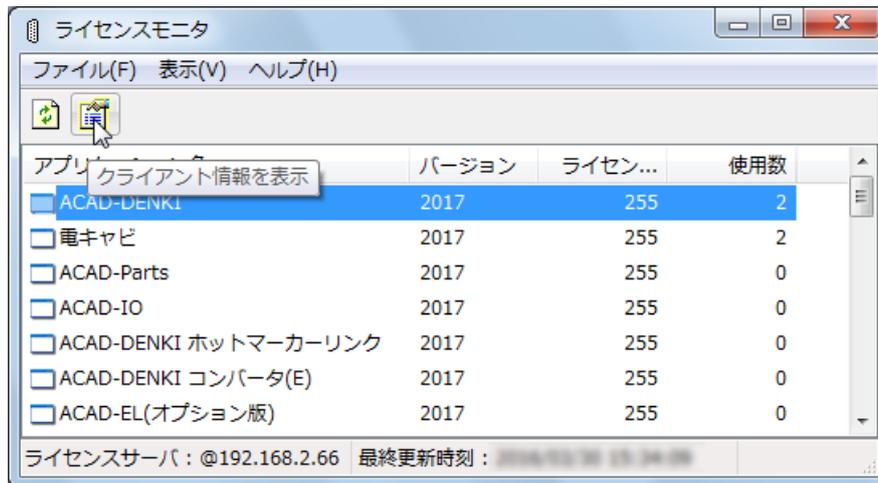
ただし、借用したライセンスかどうかの区別はつきません。クライアント情報から使用端末の確認を行ってください。

(ライセンスサーバーの表示について)

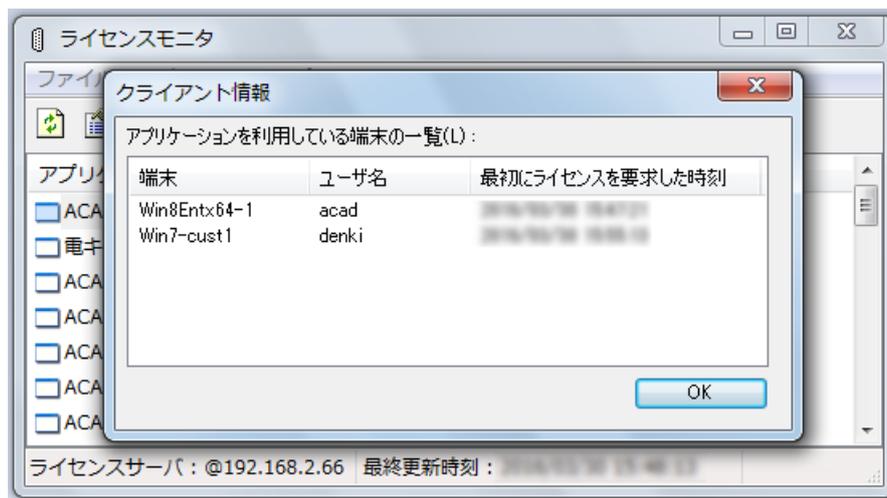
複数のライセンスサーバーを使用している場合、すべての登録サーバー名称を表示します。

また、分散サーバー構成の場合、「アプリケーション名」、および「ライセンス数」の欄には、各ライセンスサーバーに登録されているライセンスの総数を表示します。

「使用数」が 1 以上のアプリケーションに対して、「クライアント情報を表示(C)」でライセンスを使用している端末情報を確認することができます。



表示される情報は、「端末名」、「ログオンユーザー名」、「ライセンスを要求した時刻」です。



3. ライセンスの自動回収について

操作をしていないクライアントからのライセンスの自動回収について説明します。

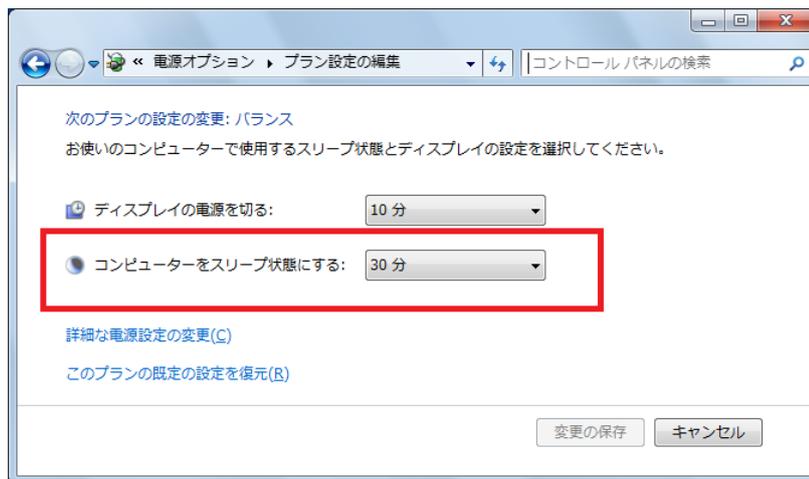
クライアント OS がスリープまたはサスペンド状態になる直前、サーバーにライセンスを返却します。

その後、スリープやサスペンド状態が解除されたとき、ライセンスを再取得します。再取得に失敗した場合は、エラーメッセージを表示すると共に、ライセンスが取得できるまで、1分おきに再取得を行います。

ライセンスが再取得できない場合、1分おきにエラーメッセージが表示されます。

スリープ設定は、OS の電源オプションにて行います。

[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]-[電源オプション] から、現在のプランの[プランの設定変更]から設定を編集します。



5. ライセンスの借用・返却(クライアント)

1. 概要

「FlexNet Publisher オプション」を別途インストールすることで、ライセンスの借用機能を使うことができます。

ライセンス借用にて、クライアントマシンがサーバーからネットワークライセンスを借用し(これにより使用可能なネットワークライセンス数が1つ減ります)、そのライセンスを指定した期間(最長180日間)クライアントマシンで使用することができます。借用期限になると、ライセンスは自動的にクライアントマシンから削除され、サーバーのライセンス数は1つ増えます(借用を行う前のライセンス数に戻ります)。

(ご注意)

ライセンスの借用・返却は同一のログオンユーザーで行います。

ライセンス借用中、借用処理を行ったアカウント名を変更すると、借用期限が切れるまでライセンスの返却ができなくなります。

2. ライセンス借用の手順

ライセンスの借用を行うには、ライセンスを借用するクライアントマシンにて以下の手順を実行します。

1) ライセンスの借用・返却の起動

[スタート]→[すべてのプログラム]→[Alfatech]→[管理ツール]→[ライセンスの借用・返却]を起動します。



2) ライセンスの借用申請

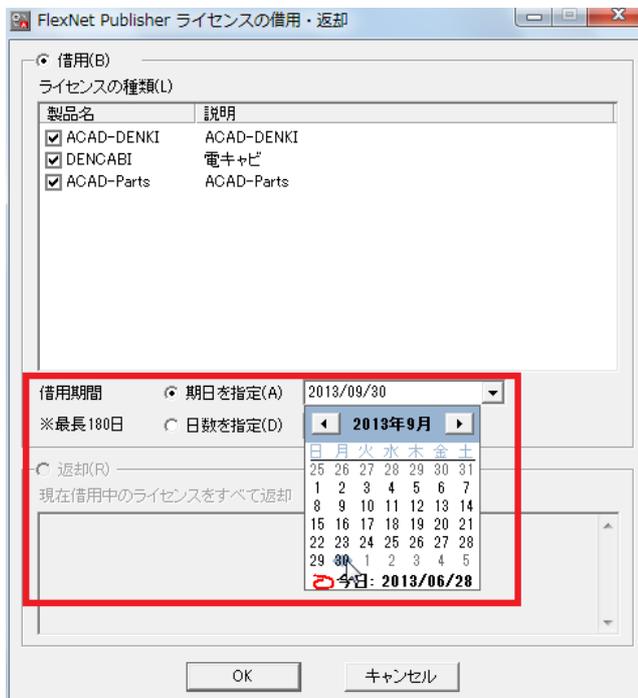
ライセンスを借用する製品にチェックをつけます。



3) 借用期間の指定

指定方法として、カレンダーを使った期日指定と、日数指定があります。

(カレンダーを使った期日指定)



(使用する日数を指定)

FlexNet Publisher ライセンスの借用・返却

借用(B)

ライセンスの種類(L)

製品名	説明
<input checked="" type="checkbox"/> ACAD-DENKI	ACAD-DENKI
<input checked="" type="checkbox"/> DENCABI	電キャビ
<input checked="" type="checkbox"/> ACAD-Parts	ACAD-Parts

借用期間

期日を指定(A) 2013/07/27

日数を指定(D) 30

※最長180日

返却(R)

現在借用中のライセンスをすべて返却

OK キャンセル

※ 最長の借用日数は 180 日です。

4) ライセンスの借用

借用期間の指定後、[OK]ボタンをクリックし、借用を申請します。

FlexNet Publisher ライセンスの借用・返却

借用(B)

ライセンスの種類(L)

製品名	説明
<input checked="" type="checkbox"/> ACAD-DENKI	ACAD-DENKI
<input checked="" type="checkbox"/> DENCABI	電キャビ
<input checked="" type="checkbox"/> ACAD-Parts	ACAD-Parts

借用期間

期日を指定(A) 2013/09/30

日数を指定(D) 95

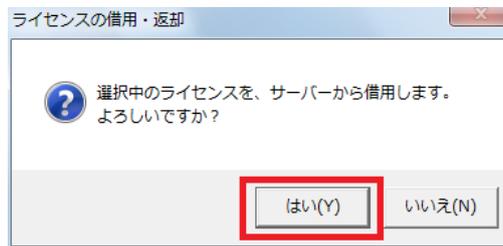
※最長180日

返却(R)

現在借用中のライセンスをすべて返却

OK キャンセル

借用申請の実行確認のメッセージを表示しますので、[はい]ボタンをクリックします。



借用が許可されると、以下のメッセージが表示されますので [OK]ボタンをクリックします。



ライセンスの借用・返却ダイアログが再表示され、借用中のライセンスを確認することができます。

ライセンスを借用しましたので、[キャンセル]ボタンをクリックし、ダイアログを閉じます。



ライセンスの借用期限を再確認したい場合は、[ライセンスの借用・返却]を再実行してください。

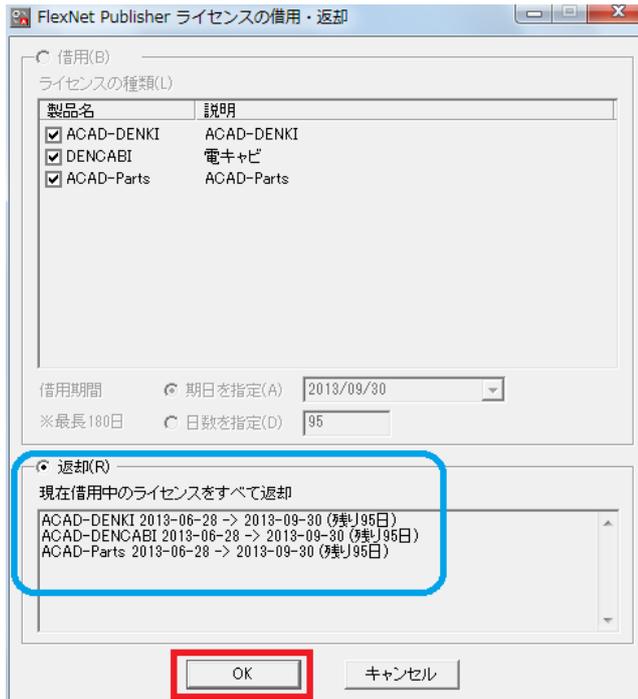
借用期限になると、ライセンスは自動的にクライアントマシンから削除され、サーバーのライセンス数は1つ増えます(借用を行う前のライセンス数に戻ります)。

3. 借用期限前にライセンスを返却

クライアントマシンにて以下の手順を行うことにより、借用したライセンスを借用期限前にサーバーに返却することができます。

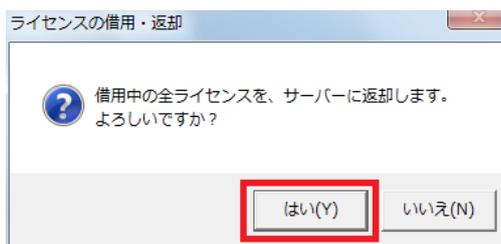
1) ライセンスの借用・返却の起動

ライセンスを借用したライセンスサーバーが存在するネットワークに接続してから、[スタート]→[すべてのプログラム]→[Alfatech]→[管理ツール]→[ライセンスの借用・返却]を起動し、借用内容を確認してから [OK]ボタンをクリックします。



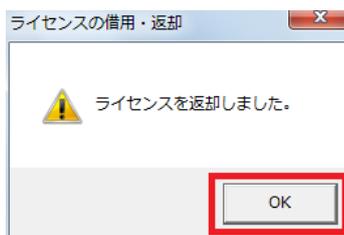
2) ライセンスの返却申請

返却の実行確認メッセージが表示されますので [はい]ボタンをクリックします。

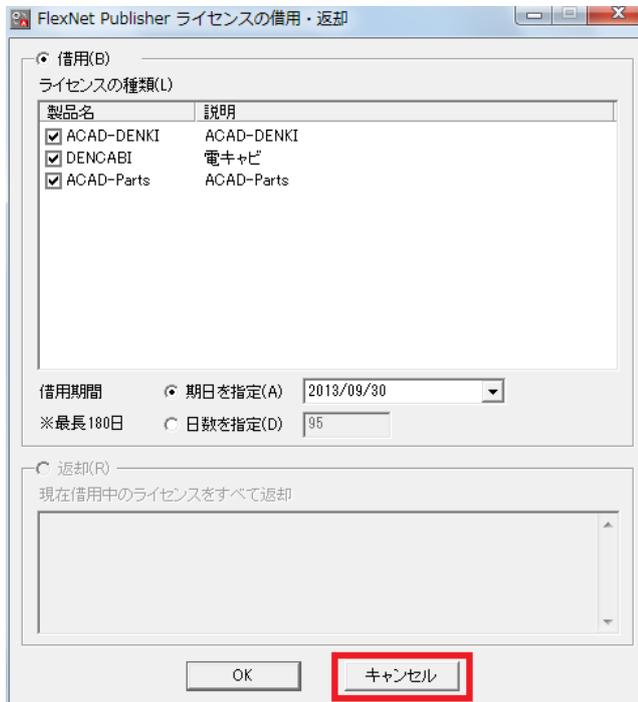


3) ライセンスの返却

借用ライセンスが返却されると、以下のメッセージが表示されますので [OK]ボタンをクリックします。



ライセンスの借用・返却ダイアログが再表示され、借用中のライセンスが無いことが確認できます。
[キャンセル]ボタンをクリックし、ダイアログを閉じます。



6. その他

1. FlexNet オプションファイル

FlexNet Publisher では、オプションファイルを設定することにより、特定のマシンにのみライセンスを許可するなど、細かい制御を行うことができます。

オプションファイルは、FlexNet ライセンスサーバー上に作成します。

1) オプションファイルの作成

任意のエディタを使って、オプションファイルを UTF-8 形式で作成してください。
作成するファイル名と配置場所は以下のとおりです。

ファイル名 : alfaflex.opt
配置場所 : alfaflex.exe と同じフォルダ
(例:C:\Program Files\Alfatech\AlfatechFL)

※ オプションファイルを有効にするには、本サービスの再起動が必要です。

2) オプションファイルの書式

オプションファイルは UTF-8 形式のテキストファイルで、以下のような書式となります。
各項目はスペースにて区切ります。

※ オプションファイルの 1 行目には、必ず、コメント行を入れてください。
半角のシャープ記号(#) から始めた行がコメント扱いとなります。

また、オプションファイル内ではすべて、大文字と小文字が区別されますので、ご注意ください。

(書式)

キーワード 対象機能 対象の種類 対象の名前
記述例: 特定のマシンにのみ、使用を許可する場合

```
INCLUDE BCADNW_PRO HOST PC1  
INCLUDE BCADNW_PRO HOST PC2
```

(解説)

PC1 と PC2 以外のマシンからはライセンスの取得はできません。

記述例:特定のマシンのみ、貸し出しを禁止する場合

```
EXCLUDE_BORROW BCADNW_PRO HOST PC3  
EXCLUDE_BORROW BCADNW_PRO HOST PC4
```

(解説)

PC3 と PC4 からは、ライセンスの借用はできません。

記述例:対象のマシンまたはユーザーが多い場合、グループを定義し、グループ名で指定

```
HOST_GROUP GROUP_A PC1 PC2 PC3 PC4  
INCLUDE HOST_GROUP BCADNW_PRO GROUP_A
```

“キーワード” は、その行が何を表すかを指定します。
現在、本製品で使用できるキーワードは以下のとおりです。

INCLUDE	指定した対象にのみ、使用を許可する。
INCLUDE_BORROW	指定した対象にのみ、貸し出しを許可する。
EXCLUDE	指定した対象に対し、使用を禁止する。
EXCLUDE_BORROW	指定した対象に対し、貸し出しを禁止する。

MAX	指定した対象に対し、ライセンス数の上限を設定する。
RESERVE	指定した対象に対し、ライセンスを予約する。
GROUP	ユーザーグループを定義する。
HOST_GROUP	マシングループを定義する。

“対象機能” は、グレードによって以下のように決まります。

グレード	機能名
BricscadNW Classic	BCADNW
BricscadNW Pro	BCADNW_PRO
BricscadNW Platinum	BCADNW_PT
ACAD-DENKI	ACADDENKI
電キャビ	ACADDENCABI
ACAD-Parts	ACADParts
ACAD-IO	ACADIO
ホットマーカーリンク	ACADHMLINK
EL オプション	ACADELOP
盤配線支援(布線処理)	ACADWP
(盤配線支援(作図コマンド))	ACADWPCMD
盤配線支援(測長処理)	ACADWM
盤配線支援(CSV データ変換処理)	ACADWC
電線加工 CTK	ACADWCT
電線加工 KODERA	ACADWKO
電線加工 LION	ACADWLI
データコンバータ (E)	ACADE2A
図面 DENKI 化ツール	ITTOOL
朱書奉行(フォルダ間比較)	ACADCMPF
朱書奉行(図面間比較)	ACADCMP
ケーブル FromTo リンク	ACADCBLFTLINK
シートワークスリンク	ACADSHTWLINK
手直し奉行	ACADTB
検索奉行	ACADKB
比較奉行	ACADHB
WIM	WIM

“対象の種類” は、識別する名前の種類をキーワードで定義します。以下のような種類があります。

USER	プログラムを実行しているユーザー名 (Windows のログイン名)
HOST	アプリケーションを実行しているクライアントのマシン名
GROUP	オプション行の中で定義したユーザーグループ名
HOST_GROUP	オプション行の中で定義したマシングループ名

※ “GROUP”, “HOST_GROUP” は、対象が多いときに、グループ化するために使用します。

2. ライセンスログ解析ツール

本ツールはライセンス使用のログを解析して1日あたりの使用数、平均使用数、ユーザーごとの使用時間、拒否数をCSVファイルに作成するものです。

1) プログラム名

プログラム名 : AlfatechLicenseLogAnalyze.exe
※ ACAD-DENKI インストールメディアの MISC\FLTTools に入っています。

2) 環境

OS: Windows 7、Windows 8/8.1、Windows 10、Windows Server2008 以降

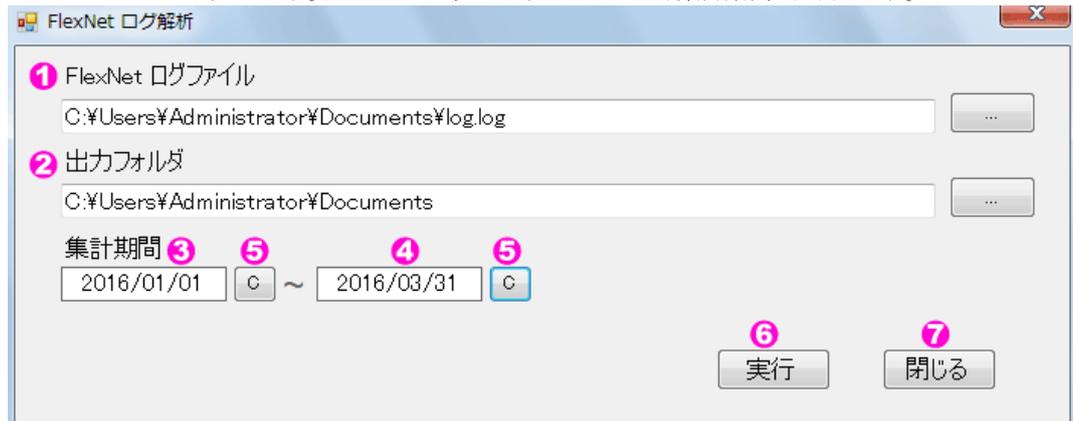
※ 本ツールを使用するためには、Microsoft .NET Framework 2.0 Service Pack 1 または Microsoft .NET Framework 4.0 がインストールされている必要があります。

3) 操作手順

デスクトップなどに AlfatechLicenseLogAnalyze.exe をコピーします。

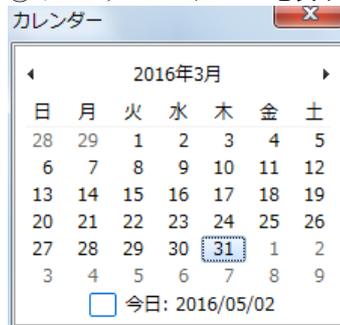


アイコンをダブルクリックします。ダイアログに、ログファイルのパスや集計期間を入力します。



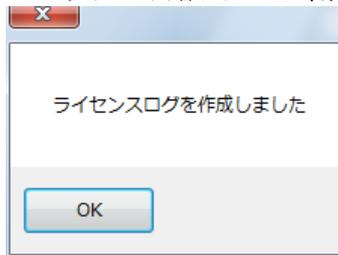
【ダイアログ説明】

- ① FlexNet ライセンスサービスログファイルを指定します。
- ② 集計ファイルを出力するフォルダを指定します。
- ③ 集計を行う開始日を指定します。(yyyy/mm/dd)
- ④ 集計を行う終了日を指定します。(yyyy/mm/dd)
- ⑤ カレンダーコントロールを表示します。



- ⑥ 出力ファイルを作成します。
- ⑦ ダイアログを閉じる。

[実行]ボタンをクリックして集計処理を実行します。
ログファイルの内容によっては、解析に時間がかかる場合があります。



4) ライセンス使用のログ解析に関して

概要

ネットワークライセンスの管理を、FlexNet ライセンス管理サービスで管理することができます。
※FlexNet ライセンス管理サービスは、サーバーにインストールするソフトです。

使用状況は FlexNet ライセンス管理サービスのログに記録できます。

FlexNet ライセンス管理サービスについて

FlexNet ライセンス管理サービスで作成されるログファイルをログ解析で使用します。

■ログファイルの設定

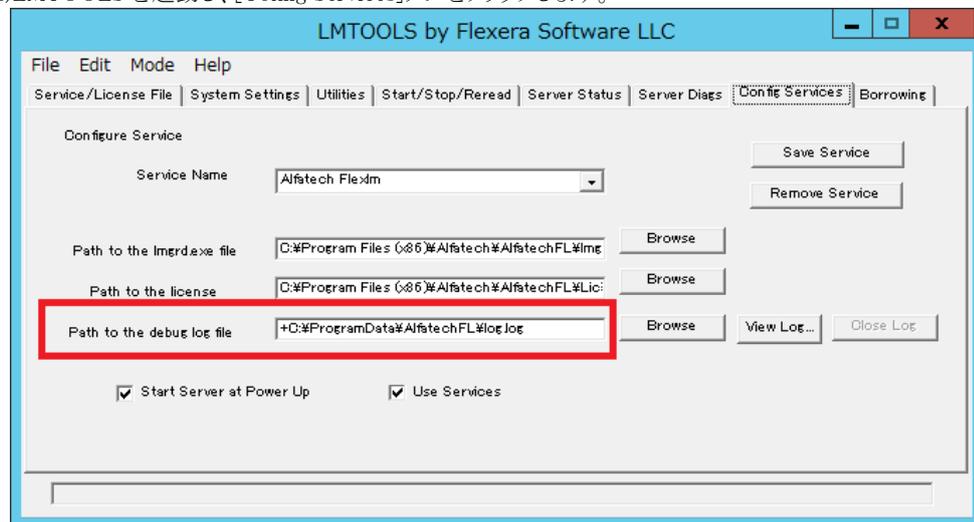
ライセンス管理サービスがライセンスの発行記録をログファイルとして出力する機能です。
ログファイルの内容を解析することにより、日々のライセンス使用状況を確認することが可能です。

ログファイルの出力につきましては、下記の設定を行う必要があります。

※設定は、FlexNet ライセンス管理サービス初期設定の作業時に行います。

(1)[スタート]-[プログラム]-[Alfatech]-[アルファテック FlexNet ライセンス管理サービス]-[LMTOOLS]を選択します。

(2)LMTOOLS を起動し、[Config Services]タブをクリックします。



「Path to the debug log file」で指定した場所にログファイルが作成されます。

※ 「Path to the debug log file」については一番前に「+」をつけてパスの指定を行ってください。
「+」が付いていない場合、FlexNet が再起動するたびにファイルの中身が初期化されます。
(ご注意)

[View Log...]ボタンからのログ内容の確認はできません。

ログファイルの書式
書式は Flexlm 仕様に準拠しています。

時刻 (デーモン) 動作(*2) "ライセンス名" ログオンユーザー名(*1)@コンピュータ名
(*1)ログオンユーザー名は、コンピュータ名が表示される場合もあります。

(*2) 動作種類

OUT: ライセンス付与

IN: ライセンス回収

DENIED: ライセンス拒否

TIMESTAMP 月/日/年 表示

(例)

<pre>8:00:00 (lmgrd) Started alfaflex (pid 176) 8:00:00 (alfaflex) TIMESTAMP 5/7/2010 10:28:26 (alfaflex) OUT: "BCADNW" administrator@PC1 10:29:26 (alfaflex) OUT: "BCADNW_PT" administrator@PC2 10:30:26 (alfaflex) OUT: "BCADNW_PRO" administrator@PC3 . 11:30:26 (alfaflex) IN: "BCADNW_PT" administrator@PC2 11:31:26 (alfaflex) IN: "BCADNW" administrator@PC1 11:32:26 (alfaflex) IN: "BCADNW_PRO" administrator@PC3 11:35:45 (alfaflex) DENIED: "BCADNW" GUEST@PC10</pre>
--

5) CSVファイルフォーマット

集計処理にて作成される各ファイルのフォーマットを記述します。

使用数.csv

各製品の使用数の平均と最大値を日付ごとに出力します。

平均値の計算方法(平均値は、小数点 2 桁で出力します。)

ライセンス使用時間を 1 時間ごとに区切ります。

各 1 時間ごとの最大使用数の合算/使用時間数

最大値は各日付での最大値を採用します。

※集計時間内で最大の使用数を最大値として出力します。

<ファイルフォーマット>

“日付”, “製品名(平均)”, “製品名(最大)”, “製品名(平均)”, “製品名(最大)”, “製品名(平均)”, “製品名(最大)” <- ヘッダー行

“2016/01/05”, “1.9”, “2”, “0”, “0”, “1.9”, “2” <-集計データ

“2016/01/06”, “3”, “5”, “1.9”, “2”, “0”, “0”

<例> 使用数.csv

```
“日付”, 日付, “BricscadClassic NW(平均)”, “BricscadClassic NW(最大)”, “BricscadPro NW(平均)”, “BricscadPro NW(最大)”, “BricscadPlatinum NW(平均)”, “BricscadPlatinum NW(最大)”
```

```
“2016/01/01”, “1.9”, “2”, “0”, “0”, “4.3”, “5”
```

```
“2016/01/05”, “3”, “5”, “7.2”, “10”, “0”, “0”
```

```
:
```

```
“2016/03/31”, “3”, “3”, “0”, “0”, “0”, “0”
```

ユーザー毎使用時間.csv

各製品の使用時間の合計をユーザーごとに集計し、出力します。

<ファイルフォーマット>

“ユーザー名”, “製品名”, “製品名”, “製品名” <-ヘッダー行

“Administrator@CAD1”, “13:50:20”, “00:00:00”, “00:00:00” <-集計データ

“Administrator@CAD2”, “00:00:00”, “00:00:00”, “20:10:00”

<例> ユーザー毎使用時間.csv

```
ユーザー名, “BricscadClassic NW”, “BricscadPro NW”, “BricscadPlatinum NW”
```

```
“Administrator@CAD1”, “13:50:50”, “00:00:00”, “00:00:00”
```

```
“Administrator@CAD2”, “00:00:00”, “00:00:00”, “20:50:20”
```

```
:
```

```
“Administrator@CAD5”, “00:00:00”, “44:22:00”, “00:00:00”
```

拒否数.csv
各製品の拒否数を日付ごとに出力します。

<ファイルフォーマット>

“日付”, “製品名”, “製品名”, “製品名” <-ヘッダー行
“2016/01/05”, “1”, “0”, “0” <-集計データ
“2016/01/06”, “0”, “0”, “1”

<例> 拒否数.csv

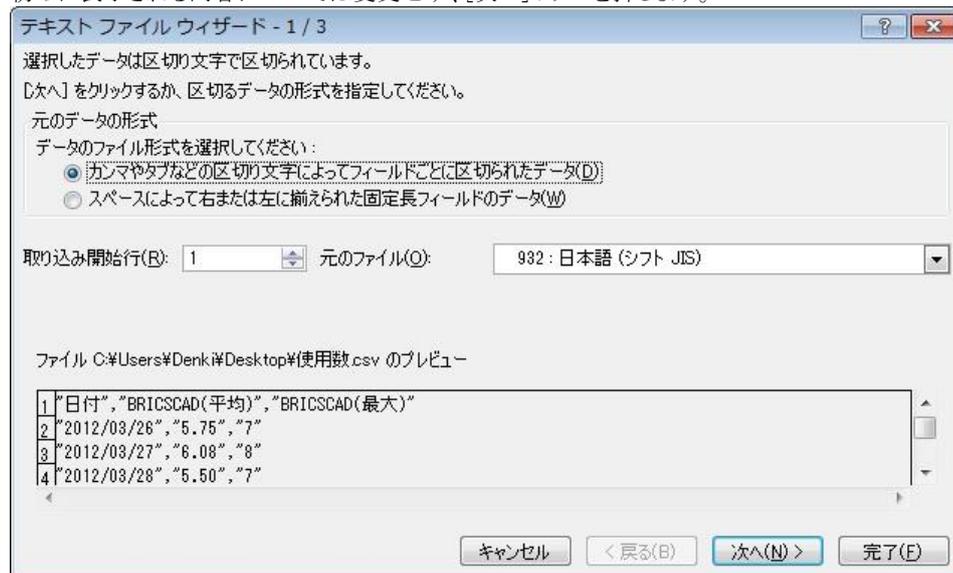
```

日付,"BricscadClassic NW","BricscadPro NW","BricscadPlatinum NW"
"2016/01/05", "1", "0", "0"
"2016/01/06", "0", "0", "1"
"2016/01/07", "1", "0", "1"
:
"2016/03/31", "0", "1", "0"
    
```

6) EXCEL でグラフ化する手順

作成した CSV ファイルの内容をグラフ化する手順を説明します。

作成した使用数.CSV を EXCEL のファイルメニュー[開く]から開きます。
ファイルを開く際にテキストファイルウィザードが表示されます。
初めに表示される内容については変更せず、[次へ]ボタンを押します。



カンマのチェックボックスにチェックを入れて[次へ]ボタンを押します。

テキスト ファイル ウィザード - 2 / 3

フィールドの区切り文字を指定してください。データのプレビュー ボックスには区切り位置が表示されます。

区切り文字

タブ(T)

セミコロン(M)

カンマ(C)

スペース(S)

その他(O):

連続した区切り文字は 1 文字として扱う(B)

文字列の引用符(Q):

データのプレビュー(P)

日付	BRICSCAD(平均)	BRICSCAD(最大)
2012/03/26	5.75	7
2012/03/27	6.08	8
2012/03/28	5.50	7

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(E)

日付の列のみ列のデータ形式を「日付」に変更し、[次へ]ボタンを押します。

テキスト ファイル ウィザード - 3 / 3

区切ったあとの列のデータ形式を選択してください。

列のデータ形式

G/標準(G)

文字列(I)

日付(D) YMD

削除する(O)

[G/標準] を選択すると、数字は数値に、日付は日付形式の値に、その他の値は文字列に変換されます。

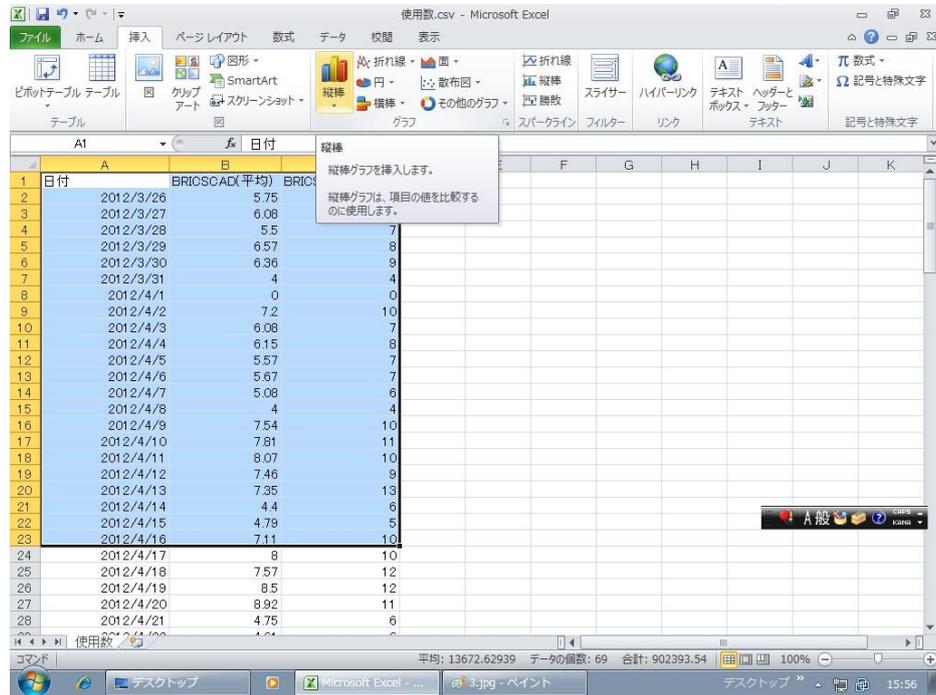
詳細(A)...

データのプレビュー(P)

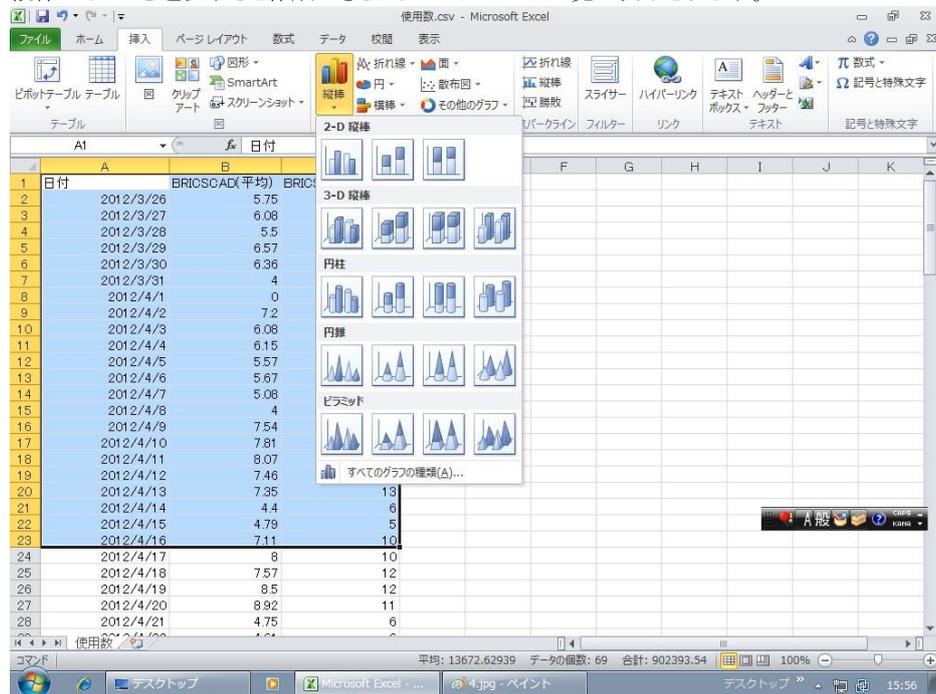
YMD	G/標準	G/標準
日付	BRICSCAD(平均)	BRICSCAD(最大)
2012/03/26	5.75	7
2012/03/27	6.08	8
2012/03/28	5.50	7

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(E)

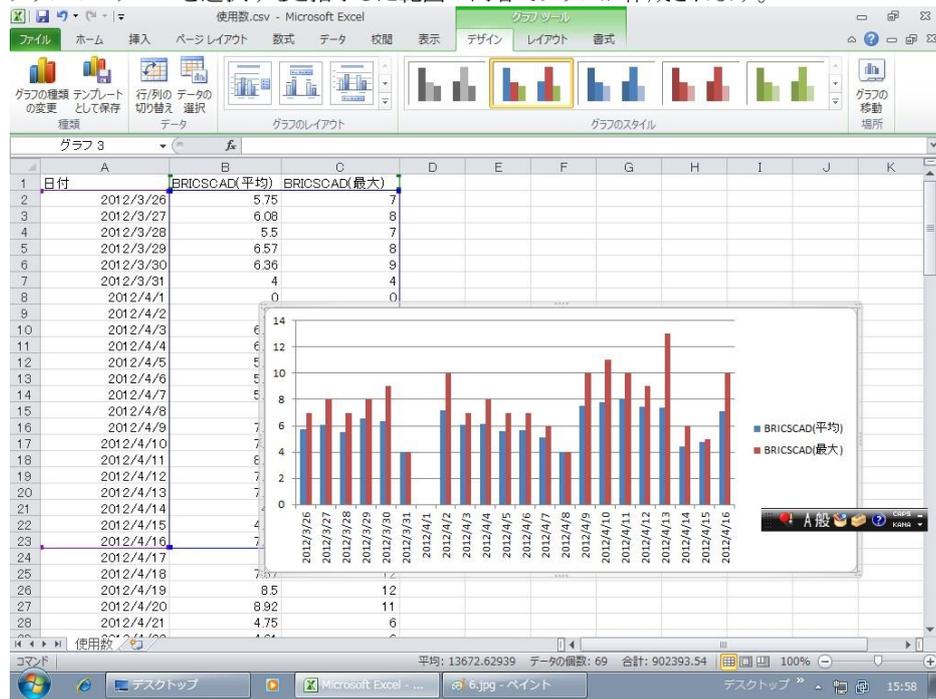
データが EXCEL に取り込まれます。
 グラフに表示したいデータ範囲を指示します。
 指示した後、挿入タブで表示されているグラフ内の縦棒アイコンを選択します。



縦棒アイコンを選択すると作成できるグラフパターンの一覧が表示されます。



グラフのパターンを選択すると指示した範囲の内容でグラフが作成されます。



<<このページは白紙です>>

VI. 付録

1. インストールメディアの内容について

本インストールメディアには以下のものが含まれています。

ディレクトリ	内容
DOC¥	トレーニングマニュアル、管理者向けマニュアルやシンボル一覧表などが含まれています。
バージョンアップ機能概要¥	
MISC¥	
ACAD-ADMIN¥	管理者グループ情報を削除するファイル
ACAD-DENKI_SamplePak¥	サンプル環境ファイル
ACAD-E2A¥	データコンバータ(E)用の環境ファイル
ACAD-Parts¥	部品マスタデータベースの更新ツール ⁽¹⁾
DENCABI¥	電キャビのサンプル環境管理ファイル
DENKIEBK¥	設定環境のバックアップツール
FLTools¥	FlexNet ライセンスログ解析ツール
ItTool_Sample¥	ユーザー定義属性の自動配置設定ファイル(シンボル登録)
MSSQL¥	MSDE 用の「構成の構築」バッチファイル
MYDB¥	電キャビのマイデータベースセットアップ
Symbols¥	その他のサンプルシンボル
Tools¥	ツール
Kb937624¥	Vista 以降で使用する場合のレジストリ修正ファイル

(1) Ver.6.x および 7.0 の部品マスタデータベースのフォーマットを、最新形式へ更新するツールです。

2. ディレクトリ構成

1. 製品プログラムディレクトリ構成

インストールが終了すると、次のような構成でディレクトリが作成されます。

C:¥ (OS のインストール先ドライブ)

Program Files	
Alfatech	各種プログラム
ACAD-ADMIN	管理者ツール ⁽¹⁾
ACAD-BP	(内部使用)
ACAD-BUGYO	手直し奉行
ACAD-DENKI	ACAD-DENKI
ACAD-E2A	データコンバータ(E)
ACAD-ELOP	ACAD-ELOP ⁽¹⁾
ACAD-HMLINK	ACAD-HMLINK ⁽¹⁾
ACAD-IO	ACAD-IO ⁽¹⁾
ACAD-Net	ACAD-Net
ACAD-Parts	ACAD-Parts ⁽¹⁾
ACAD-Plot	(内部使用)
amd64	(内部使用:64bit 版のみ)
BJ-CRS_Net	BJ-CRS_Net ⁽¹⁾
DCAB-Bugyo	電キャビインストール時のみ
DCAB-Net	電キャビインストール時のみ
DCAB-Parts	電キャビ+ACAD-Parts インストール時のみ
DENCABI	電キャビ
EnvDefaults	製品ごとの設定
FNP	FlexNet オプションインストール時のみ
HelpFiles	各製品のヘルプファイル
i386	(内部使用)
SampleData	各製品のサンプル
SampleDrawings	ACAD-DENKI サンプル図面
SampleSymbols	シンボル庫用提供シンボル
Common Files	
Alfatech	共有モジュール(内部使用)
ProgramData	(隠しフォルダ)
Alfatech	
ACAD-DENKI	環境の作成先 ⁽²⁾

(1)ACAD-DENKI オプションとしてインストール時のみ

(2)インストール後にも変更可能

2. 提供サンプルディレクトリ構成

インストールが終了すると、次のような構成でディレクトリが作成されます。

提供サンプルディレクトリは、インストール後に変更が可能です。

また、「場所の確認と一括変更」の「スクリプトテンプレート作成先」の直下に作成されます。

```
C:¥ (OSのインストール先ドライブ)
  Users
    Public
      Documents
        Alfatech
          ACAD-DENKI (1)
            Documents スクリプトテンプレートの作成先(1)
              Drawings サンプル図面
                PlotTemplate プロットスクリプトテンプレート
                  TenaoshiTemplate 手直し奉行用スクリプトテンプレート
                    Symbols シンボル庫
```

(1)ACAD-DENKI インストール時のみ

3. 電キャビにおける仕様制限

データベースエンジンによる制約

1. 電キャビデータベースエンジンの特徴

現在の電キャビでは半角文字と全角文字、ひらがなとカタカナは同じ文字として扱われます。

これは、電キャビが内部で使用しているデータベースエンジンの仕様に依存します。

また、将来バージョンにおいてデータベースエンジンのバージョンアップによる仕様変更や、異なるデータベースエンジンへ変更されることがありますので、運用時にはあらかじめご注意ください。

2. 電キャビのオブジェクト名について

現在の電キャビでは半角文字と全角文字、ひらがなとカタカナは同じ文字として扱われます。

たとえば、「シーケンス」、「シ-ケ-ン-ス」、「シーけんす」は、同一文字として扱います。

電キャビにおいて「ボリューム名」、「フォルダ名」、「ファイル名」に同名のオブジェクトが1つだけしか登録できません。

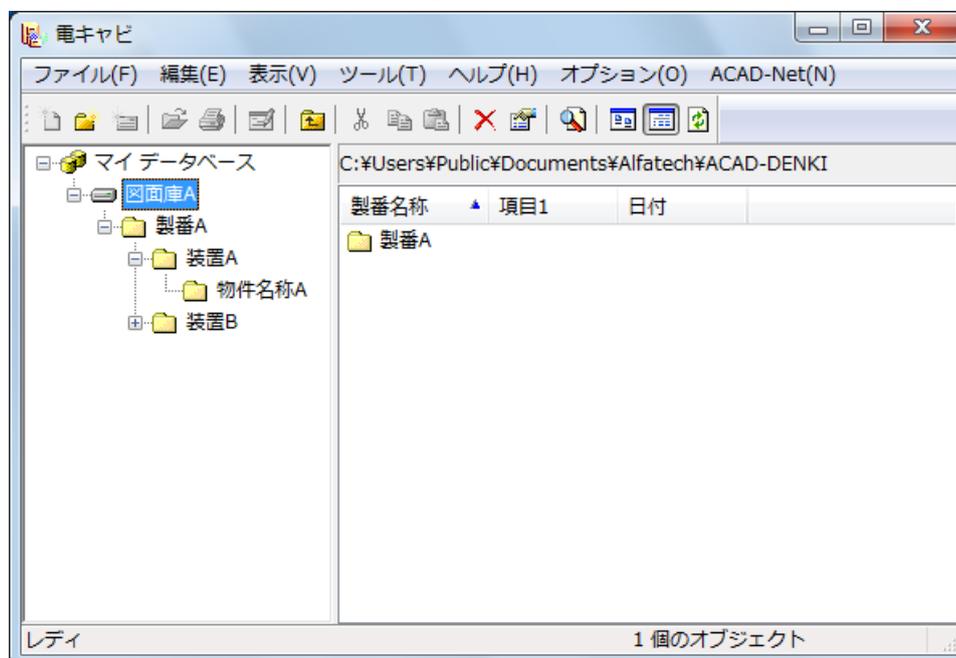
電キャビ編集画面においての新規登録、移動、コピー等の際はご注意ください。

3. 検索結果表示について

現在のバージョンの電キャビでは、半角文字と全角文字を同一文字として扱います。

[検索例：設計者が「やまだたろう」の図面ファイルを検索した場合]

検索したいボリューム、もしくはフォルダを選択します。



[編集(E)] - [検索(S)] を選択すると以下の検索ダイアログが表示されます。

検索 - 図面庫A

対象の接続: マイデータベース 探す場所(L): 現在のボリュームから

対象の階層: 3階層 探すもの(F): ファイル

以下の条件をすべて含む(A) 以下の条件のどれかを含む(O)

検索条件 1: 設計者 が やまだ と等しい

検索条件 2: が

検索条件 3: が

検索(S) キャンセル(C)

検索条件を入力し、[検索(S)]ボタンをクリックします。

検索結果が表示されます。

検索結果 - マイデータベース - 3階層

ファイル(F) 編集(E) 表示(V)

シート記号	盤No.	図種	用紙	スケール	図番	タイトル	図面内容	設計者
1	P1	電気図	展開接続区			制御回路図		やまだ
2	P1	電気図	展開接続区			制御回路図		ヤマダ
3	P1	電気図	展開接続区			制御回路図		ヤマダ
4	P2	電気図	展開接続区			制御回路図		やまだ
5	P2	電気図	IO図用A3t			制御回路図		ヤマダ
6	P2	電気図	IO図用A3t			制御回路図		ヤマダ
7	P1	その他図	盤図用A3t	1/10		盤実装図		やまだ
8	P1	その他図	盤図用A3t			部品明細表		ヤマダ

8 個のオブジェクト

電キャビでは、データベースエンジンの仕様により半角文字と全角文字は、同一文字として扱われます。

そのためデータベースエンジンの変更によって検索結果表示が異なる可能性があります。

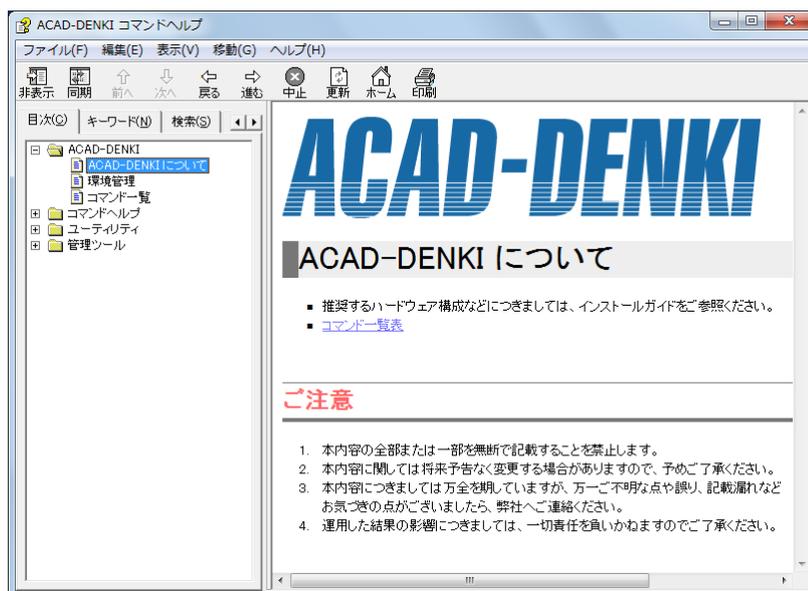
運用時にはあらかじめご注意ください。

4. オンラインマニュアル

各製品のマニュアルについて紹介します。画面は実際と異なる場合があります。

1. ACAD-DENKI のヘルプ

ACAD-DENKI を起動して、メニューの [?]-[ヘルプ] をクリックしてください。



本ソフトはトレーニングマニュアルを、冊子提供しております。

インストールメディアの¥DOC フォルダ内にある「ACAD-DENKIトレーニングマニュアル」をご覧ください。

2. 電キャビのヘルプ

電キャビのマニュアルはオンラインマニュアルです。

[ヘルプ (H)]メニューから起動します。



本ソフトはトレーニングマニュアルを、冊子提供しております。

インストールメディアの¥DOC フォルダ内にある「電キャビトレーニングマニュアル」をご覧ください。

3. データコンバータ(E)

本ソフトのマニュアルは、冊子提供しております。

インストールメディアの¥DOC フォルダ内にある「データコンバータ(E)マニュアル.pdf」をご覧ください。

4. 図面 DENKI 化ツール

本ソフトのマニュアルは、冊子提供しております。

インストールメディアの¥DOC フォルダ内にある「図面 DENKI 化ツール.pdf」をご覧ください。

5. 提供シンボル

1. インストールされるシンボル

ACAD-DENKI で提供しているシンボルは次の表のとおりです。

形状が「新 JIS」と「旧 JIS」の 2 種類あるシンボルは、そのプレビュー画像だけが異なります。

いずれの場合でも、各シンボルには両方の形状が含まれていますので、画層を切り替えれば、図面上でどちらの形状でも表示させることができます。

下表の「形状」欄に、シンボルパレットで表示されるプレビュー画像の形状を示します。

フォルダ	説明	インストール	形状
Sample	サンプル図面やトレーニングマニュアルなどで使用するシンボルです。	自動 ⁽¹⁾	新 JIS
IOSYM	入出力図用電気図記号です。		—
IOPAT	入出力図の回路図パターンです。		—
ELSym	電子回路用のサンプルシンボルです。	自動 ⁽²⁾	—

(1) II. 2. 2. ACAD-DENKI のインストールの [5]. インストールする製品の選択] で、” サンプルシンボル “ にチェックが付与されている場合、自動的にインストールされます。

(2) II. 2. 2. ACAD-DENKI のインストールの [5]. インストールする製品の選択] で、” ACAD-ELOP “ にチェックが付与され、” ACAD-ELOP “ 下のサンプルシンボル “ にチェックマークが付与されている場合、自動的にインストールされます。

2. その他のシンボル

インストールメディアの ¥MISC¥Symbols フォルダに以下のファイルを提供しています。

JIS-C-0617-L.zip (JISC0617 に準拠した電気図記号です。)

JIS-C-0617-R.zip (JISC0617 に準拠した電気図記号です。)

JSIA.zip (JSIA : 日本配電盤工業会 作成の JSIA118 に順序下電気図記号です。)

SQ.zip (シーケンス図作成にあたって最低限必要な電気図用記号です。画層を切り替えて、図面上で新 JIS 表示や旧 JIS 表示にできます。)

3. シンボル一覧表

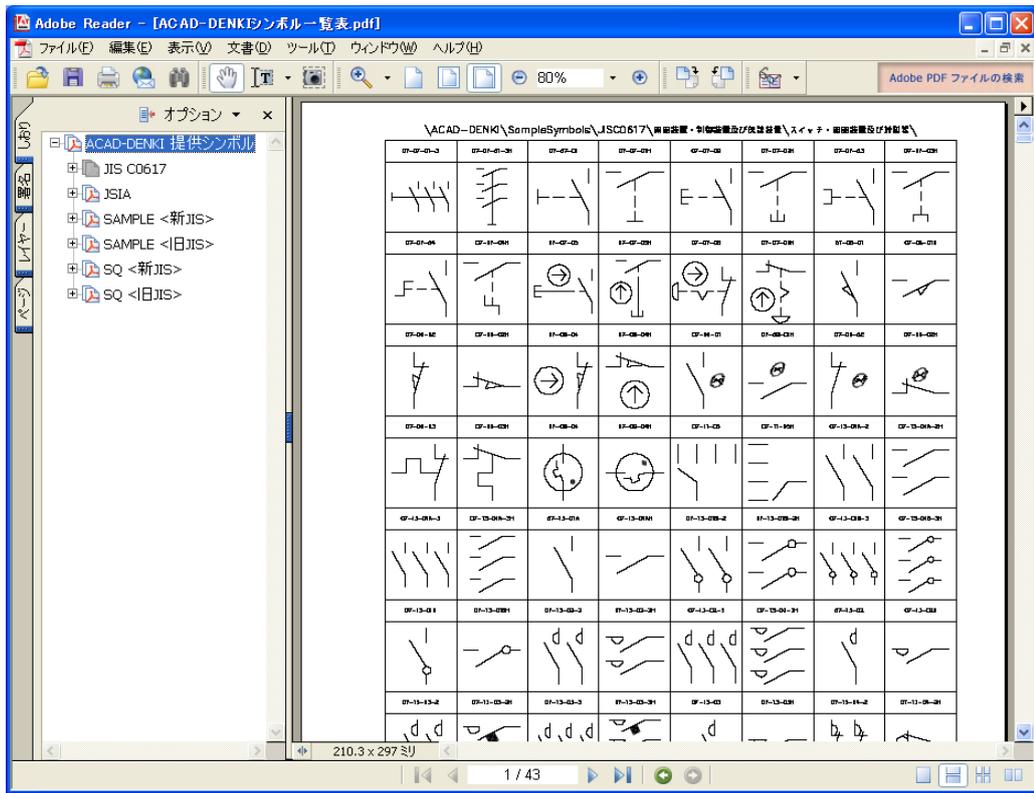
インストールメディアの ¥DOC フォルダにシンボル一覧表.pdf ファイルを提供しています。

シンボル一覧表は、インストールされるシンボル及びその他のシンボルの一覧となっています。

この一覧表は PDF 形式となっておりますので、ご覧頂くためには、アドビシステムズ株式会社様より無償で提供されております Adobe® Reader® が必要です。

Adobe® Reader® をお持ちでない場合は以下の URL の説明にしたがってダウンロードし、インストールしてください。

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>



6. 管理者ツール

1. 管理者ツールについて

管理者ツールとは、ACAD-DENKI の設定や操作をユーザーごとに管理・制限するツールです。

管理者ツールを使用する場合、ACAD-DENKI を ドメインネットワーク環境 で運用されることをお勧めします。

※ ドメインネットワークについては、システム管理者やディーラにお問い合わせください。

管理者ツールを使用すると、ユーザー別に本ソフトのコマンド、機能を使用制限することができます。

使用制限しない場合、管理者ツールのインストールは不要です。

運用例)

管理者：全てのコマンド、機能を使用可

上級オペレーター：各設定機能を使用不可、シンボル登録や部品マスタの登録・編集は可

一般オペレーター：使用制限可能なコマンド、機能は使用不可、決められた設定環境で作図・編集作業が可

※ 使用方法は、インストールメディアの ¥DOC 下の「管理者向けマニュアル.pdf」をご参照ください。

2. 「管理者ツール」を ACAD-DENKI と同時にインストールする場合

II.2. 2. ACAD-DENKI のインストールをご参照ください。



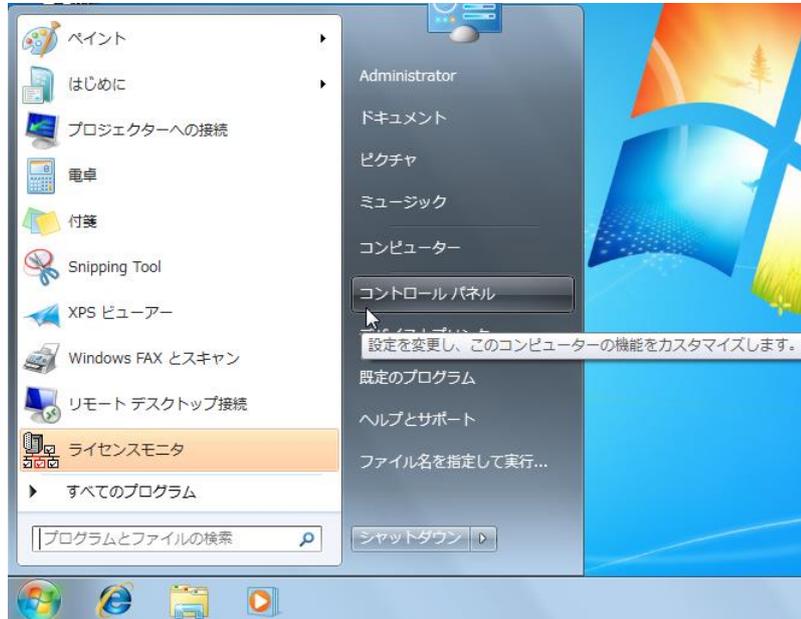
「追加機能の選択」で「管理者ツールをインストールする」を選択し、**[次へ (N) >]** ボタンをクリックします。

引き続きの作業を実行してください。

3. 「管理者ツール」の追加インストール

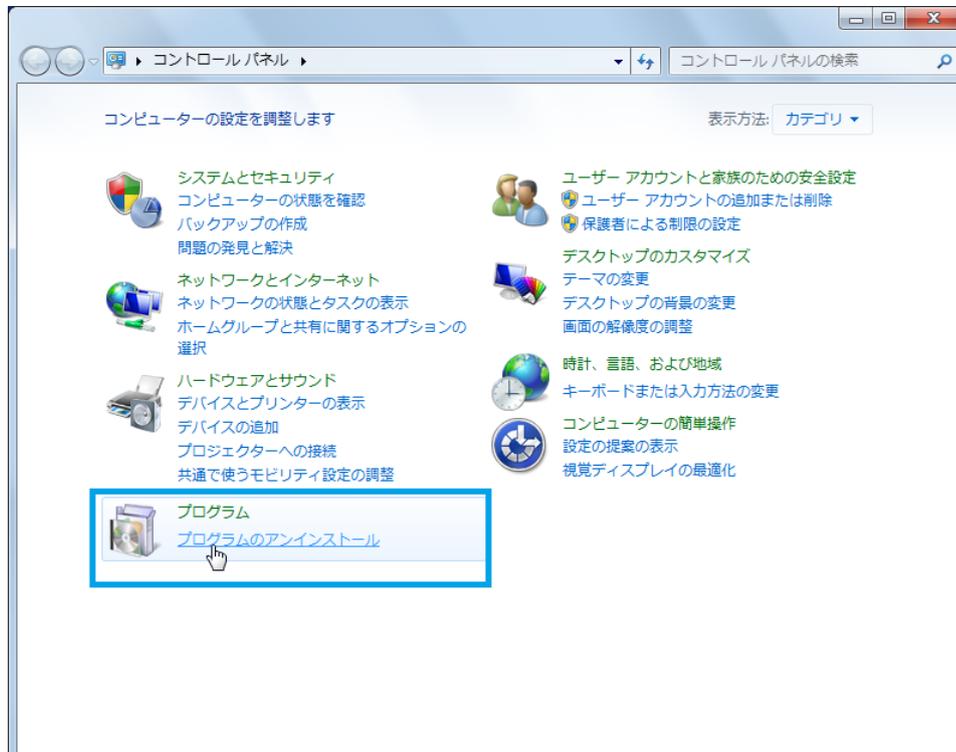
Administrator または管理者権限のあるユーザでログオンしてください。

1) コントロールパネルの起動



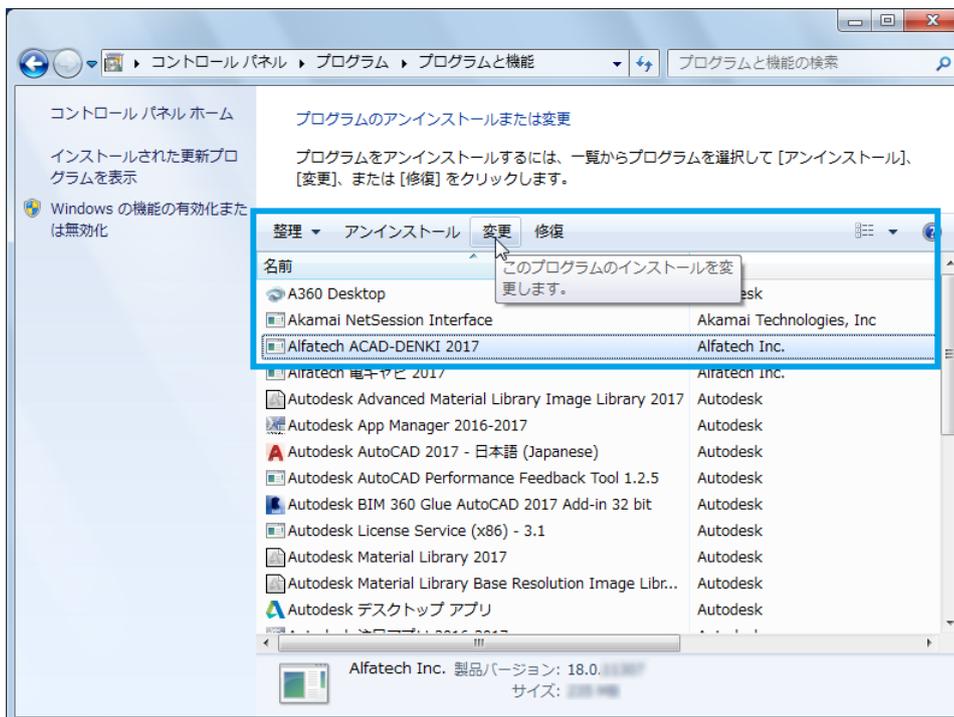
[スタート]-[コントロールパネル] をクリックします。

2) [プログラムの追加と削除]の起動



コントロールパネルの [プログラムの追加と削除] をクリックします。

3) プログラムの追加と削除



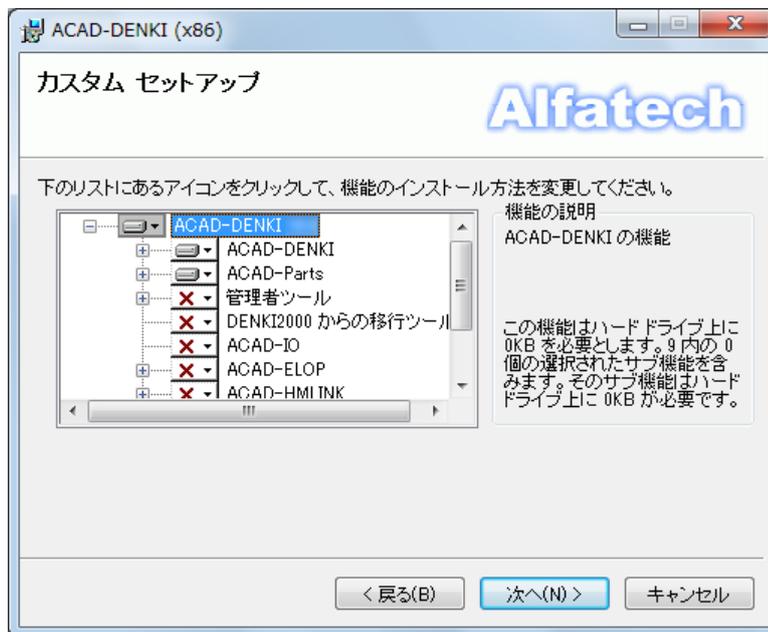
ACAD-DENKI を選択し [変更] をクリックします。

4) ACAD-DENKI セットアップウィザード



[ACAD-DENKI の変更] を選択し、[次へ(N)>] ボタンをクリックします。

5) カスタムセットアップ



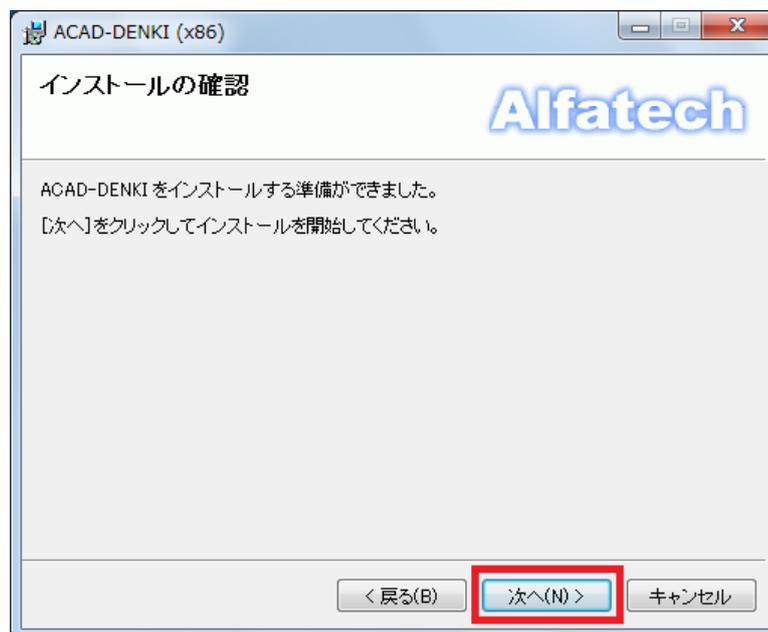
6) 管理者ツール



[管理者ツール] をクリックして表示されるメニューから[ローカル ハード ドライブにすべてインストール] を選択します。

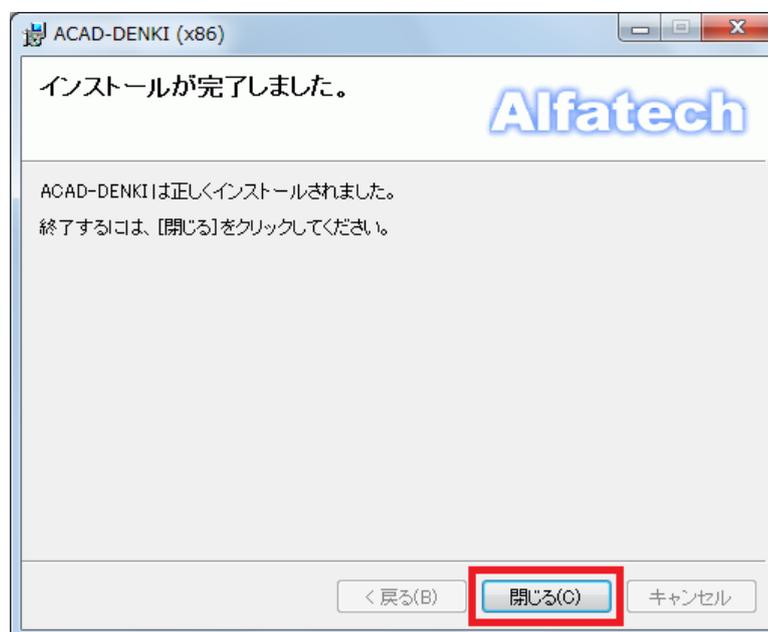
[次へ (N) >] ボタンをクリックします。

7) インストールの確認



[次へ (N) >] ボタンをクリックして、インストールを開始します。

8) インストールの完了



[閉じる (C)] ボタンをクリックします。

ACAD-DENKI 2017 (32bit / 64bit) インストールガイド

2016年6月

第1版発行

発行者

アルファテック株式会社
06-6300-0306(代表)
<http://www.alfatech.jp/>
[mail:support@alfatech.jp](mailto:support@alfatech.jp)
